

中期事業計画

第6次瀬戸市総合計画 令和5年度実施計画
(令和5年度～令和7年度)

瀬戸市

目次

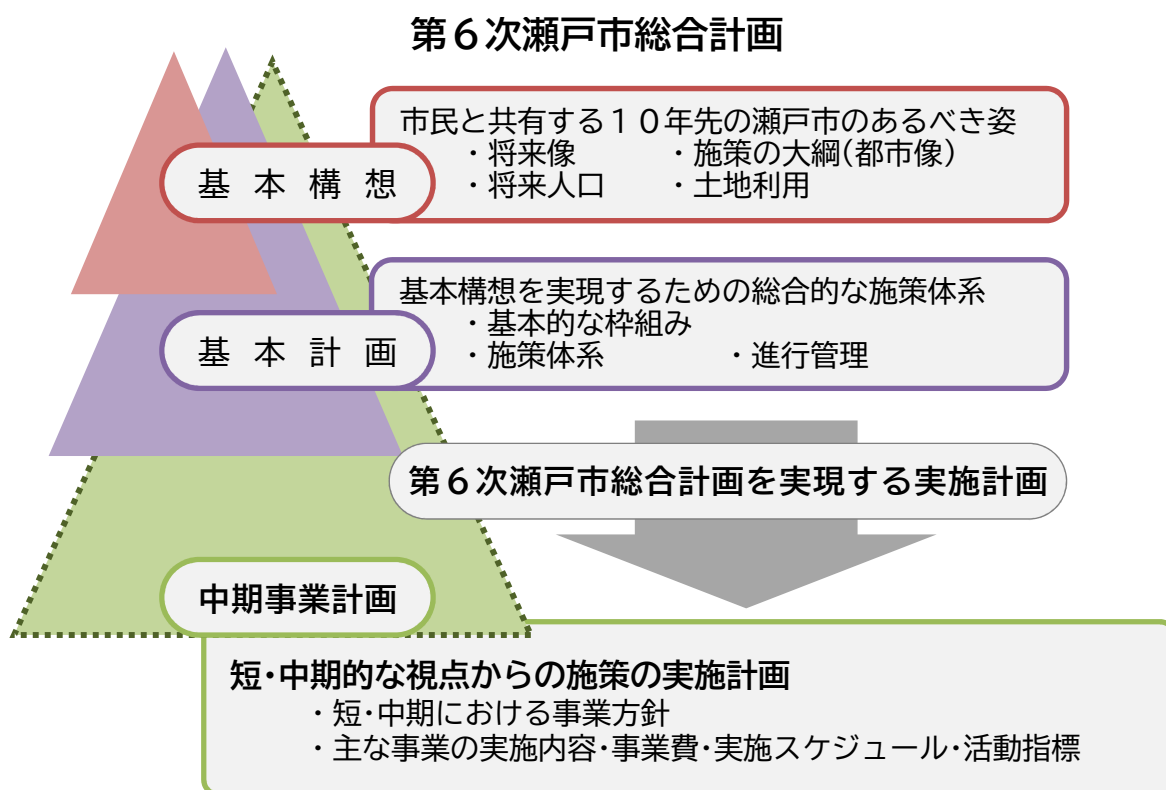
1. 序論	1
(1) 中期事業計画の位置づけ	1
(2) 第6次瀬戸市総合計画における将来像・都市像.....	1
(3) 中期事業計画（令和5年度実施計画）の策定方針.....	2
2. 施策体系と事業一覧	4
(1) 第6次瀬戸市総合計画の施策体系.....	4
(2) 事業一覧	6
3. 財政計画	13
4. 都市像の達成に向けた主な重点事業等	14
都市像1 活力ある地域経済と豊かな暮らしを実感できるまち.....	14
都市像2 安心して子育てができ、子どもが健やかに育つまち.....	16
都市像3 地域に住まう市民が自立し支え合い、笑顔あふれるまち.....	18
5. 重点事業の概要	20
都市像1 活力ある地域経済と豊かな暮らしを実感できるまち.....	21
都市像2 安心して子育てができ、子どもが健やかに育つまち.....	37
都市像3 地域に住まう市民が自立し支え合い、笑顔あふれるまち.....	54
6. 真に効果のある障害者施策の実施について	74
7. 都市像の達成に向けた施策の効果的・効率的な推進	76
(1) 市民満足度の向上と効果・効率の追求.....	76
(2) 公共施設等の総合管理	90

1. 序論

(1) 中期事業計画の位置づけ

中期事業計画は、第6次瀬戸市総合計画を実現する実施計画として、総合計画で掲げる将来像の実現及び都市像の達成に向けて実施する政策の展開方向を取りまとめ、政策において具体的に実施する事業ごとに事業費、活動指標を示します。

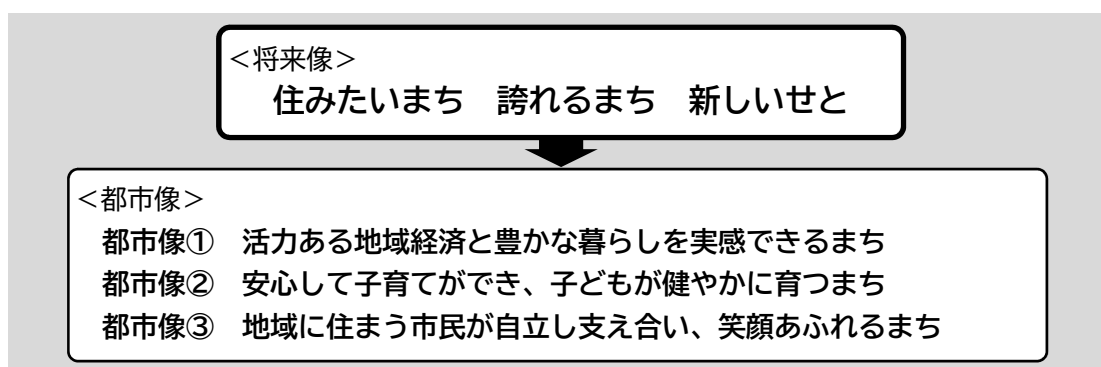
また、計画期間は3か年とし、計画期間の財政見通しを歳入歳出計画として示します。



(2) 第6次瀬戸市総合計画における将来像・都市像

第6次瀬戸市総合計画では、瀬戸市が、市民にとって暮らしたい、企業にとって活動したいと思われるまちへと、瀬戸市の持つ魅力を「まちの誇り」として世界に発信しながら、未来に向けて新しく変わっていくことを目指し、『住みたいまち 誇れるまち 新しいせと』を将来像に掲げています。

そして、この将来像を実現するため、具体的に達成を目指す都市の姿として、3つの都市像を掲げています。

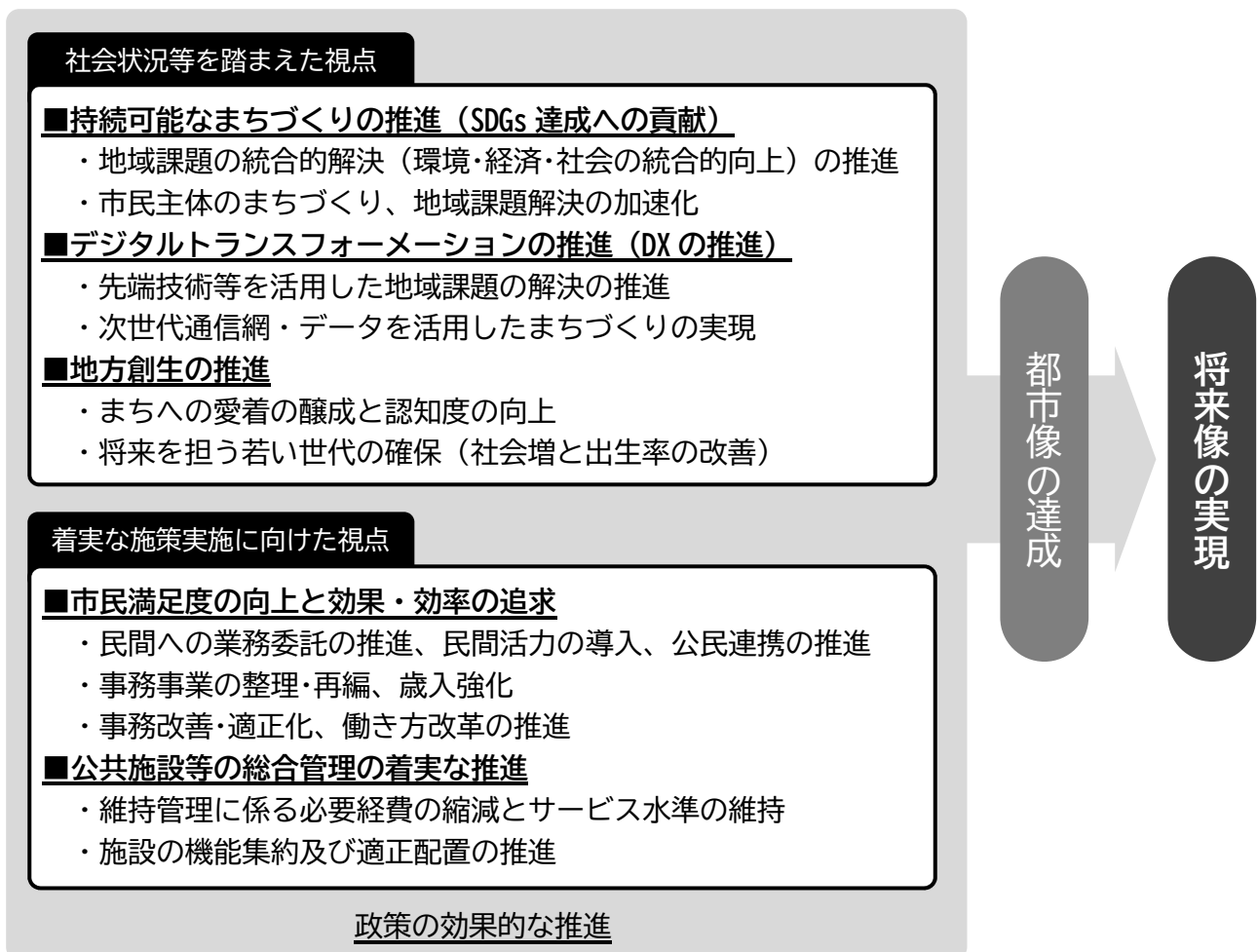


(3) 中期事業計画（令和5年度実施計画）の策定方針

総合計画の策定から5年が経過し、令和3年度からは、①自己評価、②内部評価、③外部評価、④政策議論と、政策レベルでの進行管理を実施することで、将来像の実現及び都市像の達成に向け、分野・組織横断的に、政策のより効果的な推進に取り組んでいます。

また、令和2年12月には、総合計画を実現する中で、中期事業計画と整合を図りながら地方創生に資する取組を効果的かつ具体的に推進していくため、第2期瀬戸市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、総合計画と一体的な推進、進行管理を図っています。

中期事業計画（令和5年度実施計画）の計画期間は令和5年度から令和7年度までの3か年であり、昨年度策定した令和4年度実施計画と一部計画期間が重なります。そのため、令和4年度実施計画の策定方針を踏まえつつ、前述のこれまでの取組状況や社会情勢の変化等を勘案し、以下に示す視点を持って策定することとします。



策定方針に掲げる、「持続可能なまちづくりの推進（SDG s 達成への貢献）」については、将来像『住みたいまち 誇れるまち 新しいせと』の実現に向けた取組がSDG s の理念と軌を一にするものとして、政策・施策にSDG s を明確に位置付け、これまでも取り組んできました。

2030年（令和12年）のSDG s 達成に向けて、以下に示す考え方にに基づき、持続可能なまちづくりを推進していきます。

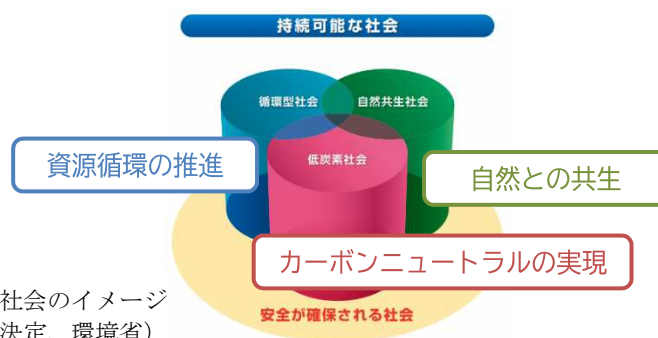
① SDG s 達成に向けた取組の強化

SDG s 達成に向けた取組の強化にあたっては、SDG s を意識して事業を実施することで職員の意識を高めるとともに、SDG s の取組をステップごとに整理したり、事業者の取組を促す仕組みを構築するなど、市民・事業者の取組を促進・後押ししていきます。

② 愛・地球博の理念の継承

2005年（平成17年）に開催された愛知万博「愛・地球博」の理念である『自然の叡智』は、「人間は自然の一部であることを認識し、自然が本来有している素晴らしい仕組みや生命の絶妙な営みを謙虚に学び、自然と人間の関係を見直し、自然と調和した新しい文明の構築を目指す」というものであり、持続可能な社会の実現、持続可能なまちづくりの重要性を示すものでした。

本市の持続可能なまちづくりを考える上においても、愛・地球博の理念を継承することは重要であり、特に、持続可能な社会を構成する「低炭素（＝脱炭素）」「循環」「自然共生」の各分野を統合的に達成することが重要です。



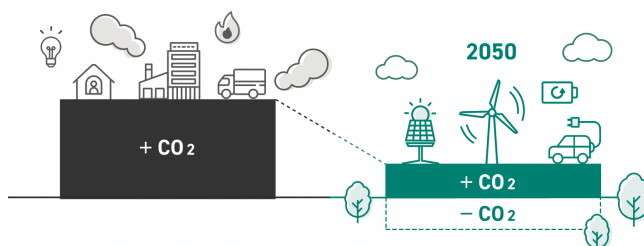
持続可能な社会のイメージ

出典：第四次環境基本計画（平成24年4月閣議決定、環境省）

③ カーボンニュートラル実現に向けた取組

「低炭素（＝脱炭素）」を実現するには、カーボンニュートラルの実現が重要です。カーボンニュートラルとは、温室効果ガスの排出を全体として実質的にゼロにすることであり、国としても2050年（令和32年）までにカーボンニュートラルを目指すことを宣言しています。

本市では、今後、温室効果ガス排出量の実態の把握及び削減目標の設定を行うとともに、徹底した省エネルギーの推進、再生可能エネルギー等の利用促進、脱炭素型の都市・地域づくりの推進、循環型社会の形成といった温室効果ガス排出量の削減、森林の適正管理、緑化・緑地保全、木材の長期利用といった温室効果ガス吸収量の確保に取り組んでいく必要があります。

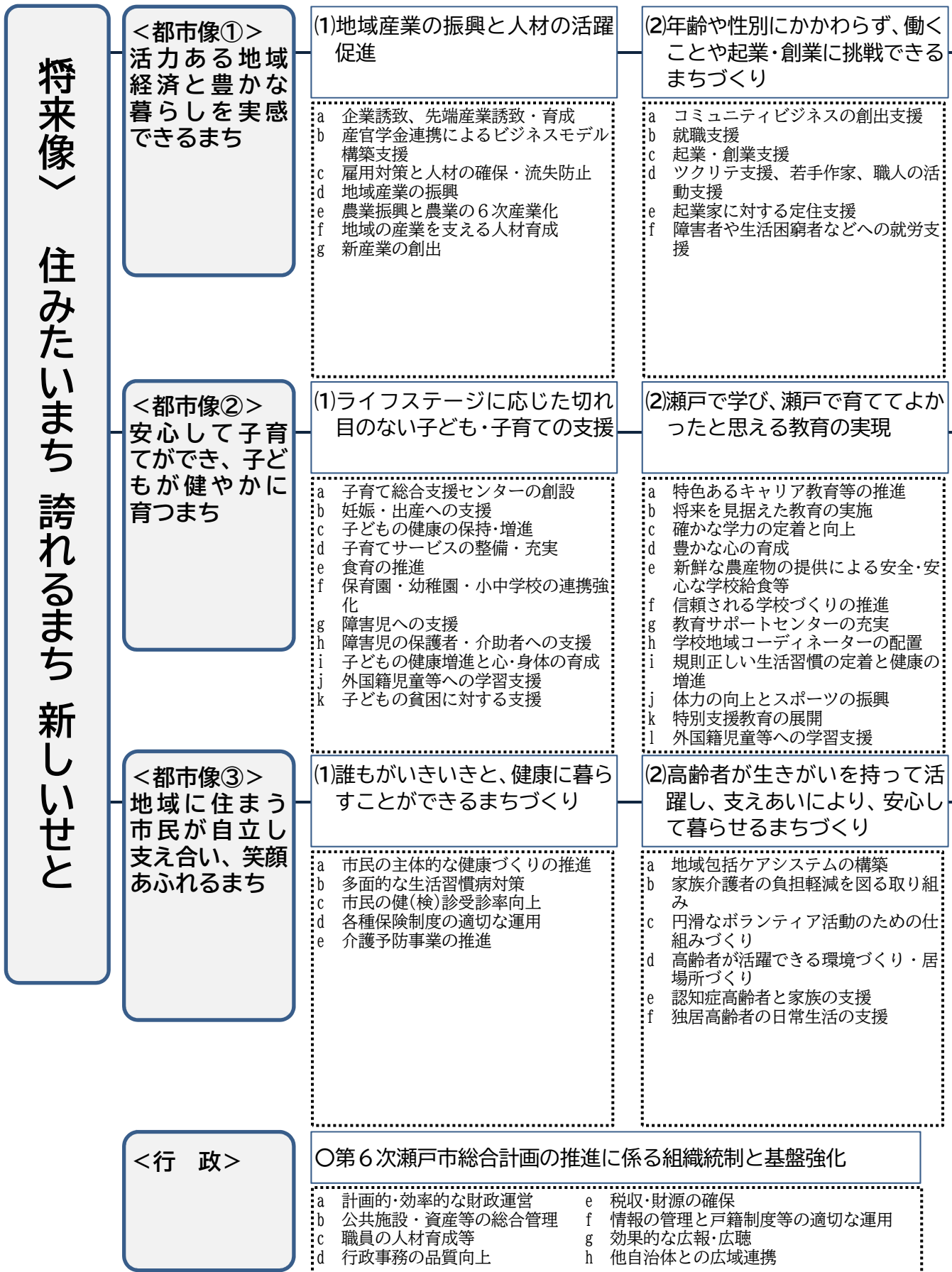


カーボンニュートラルのイメージ

出典：脱炭素ポータル（環境省）

2. 施策体系と事業一覧

(1) 第6次瀬戸市総合計画の施策体系



(3)地域経済の活性化につながる地域資源を活かしたシティプロモーションの展開

- a 観光産業の振興
- b 瀬戸らしい“暮らし”の創出
- c 市内外への「シティプロモーション」の展開
- d 戦略的な広報の推進
- e 陶磁器産業のブランド化
- f 姉妹都市などの都市間交流の促進

(4)誰もがいきいきと、安心して働くことができるまちづくり

- a 子育てサービスの整備・充実
- b 保育園・幼稚園・小中学校の連携強化
- c ワーク・ライフ・バランスの推進、女性活躍・男女共同参画推進
- d 高齢者人材の活躍支援
- e 各種セーフティネット整備・充実
- f 働く世代に対する健康増進

(5)市民生活の利便性を高め、企業活動の活性化につながる都市基盤の整備

- a 広域ネットワークを形成する幹線道路の整備
- b 道路・河川施設等の適切な維持管理
- c 地域資源を活かした都市景観の形成
- d 地域経済を支える有効な土地利用
- e 拠点を交通ネットワークでつないだコンパクトなまちづくり
- f 名古屋市へのアクセスの向上
- g 公共交通ネットワークの再構築
- h ICT推進のための基盤整備

(3)多世代が子育てに関わることのできるまちづくり

- a 地域住民と学校との連携
- b 育児サロンや保育園などを活用した子育て支援
- c 高齢者による子育てサポーターの養成と活動の場の創出
- d 多子世帯・障害児・外国籍市民への支援
- e 家庭教育の充実
- f 地域とともにある学校づくり
- g 子どもの健やかな心と身体の育成
- h 婚活支援

(4)子育て世代に向けた魅力あふれる子育て情報の発信と定住の促進

- a 子育て・教育に関するシティプロモーションの展開
- b 市民自らが情報を発信できる体制づくり
- c 移住・定住支援・総合相談
- d 3世代同居・近居の促進
- e 中心地区への住み替え支援

(5)都市基盤整備による居住環境の魅力向上と未来に向けた良好な環境の継承

- a 公園や歩道など子育てのための都市基盤の整備・維持管理
- b 面的整備事業による新たなまちづくり
- c コンパクトシティの推進
- d 鉄道駅のバリアフリー化
- e ユニバーサルデザインの推進
- f 水や緑との触れあいの場の創出
- g 自然環境の保護・保全
- h 安全で安心な水の供給
- i 日常生活を支える排水路施設の整備・維持管理
- j 污水处理人口普及率の向上
- k 空き家活用・解体等の支援

(3)誰もが自立し、地域で支え合いながら生きがいをもって安心して暮らせるまちづくり

- a 地域生活支援事業の効果的な実施
- b 福祉総合相談窓口の充実
- c 個人が気軽に社会参加できる仕組みづくり
- d 地域力向上に向けた活動の推進・支援
- e 地域活動を通じた健康と福祉施策推進の取り組み
- f 地域力・市民力を活かした障害者を支える仕組みづくり
- g 生活困窮者の自立に向けた支援
- h 市民活動の推進と拡充への支援

(4)地域の生活環境の向上と安全・安心な地域づくり

- a 温暖化防止・省エネ等への取り組み
- b 地域清掃・環境美化
- c ごみ減量の促進・一般廃棄物の収集運搬
- d し尿処理施設の適正な管理運営
- e 公衆衛生に関わる公共施設の適正な管理・運営
- f 消費生活センターの運営
- g 火災予防体制の充実
- h 消防・救急体制の充実
- i 地域防災力の向上
- j 防犯・交通安全の推進
- k 企業の地域活動参画などのCSR支援・促進

(5)誰もが生涯にわたって学び、郷土に対する誇りと愛着を深める豊かな地域づくり

- a 生涯学習の推進
- b 図書館サービスの充実
- c 生涯スポーツの振興
- d 文化財等の伝統文化の継承と陶芸文化の新しい活用
- e 郷土の祭や伝統・文化の継承
- f 文化芸術活動の支援や奨励
- g 多文化共生社会の推進
- h 姉妹都市などの都市間交流の促進

(2) 事業一覧

都市像	政策	施策	事業名	事業費(3か年)	主な関連施策	担当課	区分(頁)
<都市像①>活力ある地域経済と豊かな暮らしを実感できるまち							
<政策1>地域産業の振興と人材の活躍促進							
<施策a>企業誘致、先端産業誘致・育成							
			企業立地促進奨励金	805,151千円	①-1a	①-1b, ①-1c	産業政策課 重点(22)
			I T・スタートアップ企業等誘致補助金	9,100千円	①-1a	①-1c, ①-1g	産業政策課 重点(22)
<施策c>雇用対策と人材の確保・流失防止							
			U I J ターン就業・創業移住支援金	8,700千円	①-1c		産業政策課 主要
<施策d>地域産業の振興							
			地域産業振興	52,389千円	①-1d	①-1a, ①-1c	産業政策課 重点(23)
			市内企業再投資促進補助金	916,000千円	①-1d	①-1a, ①-1c	産業政策課 重点(23)
			せとまち人材応援助成金	9,820千円	①-1d	①-1c, ①-1f, ①-2b	産業政策課 重点(24)
			信用保証料補助金	69,000千円	①-1d	①-1c, ①-2c, ①-2d	ものづくり商業振興課 主要
			中小企業者事業資金利子補給補助金	3,600千円	①-1d	①-1c, ①-2c, ①-2d	ものづくり商業振興課 主要
			商業団体等事業費補助金	21,900千円	①-1d	①-2a, ①-2c, ①-2d	ものづくり商業振興課 主要
<施策e>農業振興と農業の6次産業化							
			アグリカルチャー推進	7,923千円	①-1e	①-2c, ②-2e	産業政策課 重点(24)
			道の駅管理運営	78,651千円	①-1e	①-3a	産業政策課 主要
<施策f>地域の産業を支える人材育成							
			次世代クリエイター育成	16,000千円	①-1f	②-2b, ②-2d	情報政策課 重点(25)
<政策2>年齢や性別にかかわらず、働くことや起業・創業に挑戦できるまちづくり							
<施策c>起業・創業支援							
			起業・創業支援	6,200千円	①-2c	①-1d, ①-1f, ①-2a, ①-2d	ものづくり商業振興課 重点(27)
			中心市街地商店街空き店舗対策事業費補助金	11,700千円	①-2c	①-1d, ①-2a, ①-2d	ものづくり商業振興課 重点(27)
<施策d>ツクリテ支援、若手作家、職人の活動支援							
			ツクリテ支援	22,959千円	①-2d	①-2a, ①-2c, ①-2e	ものづくり商業振興課 重点(28)
			ツクリテ支援補助金	3,600千円	①-2d	①-2a, ①-2c, ①-2e, ①-3f	ものづくり商業振興課 重点(28)
			空家等対策	2,532千円	①-2d	①-2e, ②-4c, ②-4d	都市計画課 主要
<政策3>地域経済の活性化につながる地域資源を活かしたシティプロモーションの展開							
<施策a>観光産業の振興							
			日本遺産魅力発信推進	2,757千円	①-3a	①-1d, ①-3c, ①-3d, ①-3e, ③-5d	ものづくり商業振興課 重点(30)
			ノベルティ・こども創造館管理運営	35,477千円	①-3a	①-3c, ③-5d	ものづくり商業振興課 主要
			まるっとミュージアム推進	108,867千円	①-3a	①-1f, ①-3c, ②-2d, ②-4a, ③-5e	観光課 重点(30)
			陶祖まつり協賛	3,900千円	①-3a	③-5e	観光課 主要
			せともの祭協賛	39,297千円	①-3a	③-5e	観光課 主要
<施策c>市内外への「シティプロモーション」の展開							
			シティプロモーション推進	16,522千円	①-3c	②-4b	シティプロモーション課 重点(31)
			ふるさと納税推進	193,469千円	①-3c		政策推進課 重点(31)
<施策e>陶磁器産業のブランド化							
			瀬戸焼振興	30,851千円	①-3e	①-1d, ①-1f, ①-3b, ①-3d	ものづくり商業振興課 重点(32)

都市像	政策	施策	事業名	事業費(3か年)	主な関連施策	担当課	区分(頁)	
<政策4>誰もがいきいきと、安心して働くことができるまちづくり								
<施策c>ワーク・ライフ・バランスの推進、女性活躍・男女共同参画推進								
			女性活躍・男女共同参画推進	3,205千円	①-4c	①-1c, ①-1f, ①-2b, ②-2b, ②-3g, ②-4d, ③-3g, ③-4k	まちづくり協働課	主要
<政策5>市民生活の利便性を高め、企業活動の活性化につながる都市基盤の整備								
<施策a>広域ネットワークを形成する幹線道路の整備								
			十三橋線整備	166,500千円	①-5a	①-5d, ②-5a, ②-5c	建設課	重点(34)
			陣屋線整備	937,100千円	①-5a	①-5d, ②-5c	建設課	重点(34)
			幡中南菱野線整備	151,000千円	①-5a		建設課	重点(35)
			水野中線渋滞対策	55,000千円	①-5a		建設課	重点(35)
<施策b>道路・河川施設等の適切な維持管理								
			農道整備	42,386千円	①-5b	①-1e	維持管理課	主要
			ため池整備	53,320千円	①-5b	①-1e	維持管理課	主要
			用排水路整備	103,523千円	①-5b	①-1e	維持管理課	主要
			道路橋りょう予防保全	827,180千円	①-5b	①-5a	維持管理課	主要
<施策c>地域資源を活かした都市景観の形成								
			景観形成助成金	3,000千円	①-5c	①-3c	都市計画課	主要
<施策e>拠点を交通ネットワークでつないだコンパクトなまちづくり								
			公共交通維持・活性化	658,007千円	①-5e	①-5g	都市計画課	重点(36)
<施策h>ICT推進のための基盤整備								
			DX推進	92,839千円	①-5h	②-4b	情報政策課	重点(36)

都市像	政策	施策	事業名	事業費(3か年)	主な関連施策	担当課	区分(頁)	
<都市像②>安心して子育てができ、子どもが健やかに育つまち								
<政策1>ライフステージに応じた切れ目のない子ども・子育ての支援								
<施策a>子育て総合支援センターの創設								
			子ども・若者センター運営	25,122千円	②-1a	②-1i, ②-1k, ②-3d	こども未来課	重点(38)
<施策b>妊娠・出産への支援								
			妊産婦・乳児健康診査	282,210千円	②-1b	②-1c, ③-1c	健康課	重点(38)
			産前・産後支援	5,283千円	②-1b		健康課	重点(39)
			不育症治療費助成金	900千円	②-1b		健康課	主要
<施策c>子どもの健康の保持・増進								
			児童生活習慣病対策	2,388千円	②-1c	②-1i, ②-3g, ③-1b	健康課	重点(39)
			こんにちは赤ちゃん訪問	2,298千円	②-1c	②-1d	健康課	主要
			乳幼児健康診査(3か月、6か月、1歳6か月、3歳)	28,980千円	②-1c	③-1c	健康課	主要
			子ども医療費支給	1,708,959千円	②-1c	②-1d, ②-1i	国保年金課	主要
			母子・父子家庭等医療費支給	180,317千円	②-1c	②-1i, ②-1k	国保年金課	主要
<施策d>子育てサービスの整備・充実								
			児童クラブ運営・児童クラブ活動補助金	721,611千円	②-1d	①-4a	こども未来課	重点(40)
			放課後学級運営	215,661千円	②-1d	②-3f, ②-3g	こども未来課	重点(40)
			子どもの権利擁護委員	3,768千円	②-1d		こども未来課	重点(41)
			病児保育	55,458千円	②-1d		こども未来課	主要

都市係	政策	施策	事業名	事業費(3か年)	主な関連施策	担当課	区分(頁)	
			子ども総合計画策定	6,300千円	②-1d	こども未来課	主要	
			地域型保育事業所運営費等補助金	17,043千円	②-1d	①-4a	保育課	重点(41)
			休日保育	21,000千円	②-1d	①-4a	保育課	重点(42)
			民間保育所運営費補助金	604,078千円	②-1d	①-4a	保育課	重点(42)
			保育所管理運営	820,428千円	②-1d	①-4a, ②-1e	保育課	主要
			地域型保育給付	380,601千円	②-1d	①-4a	保育課	主要
			施設型保育給付	130,912千円	②-1d	①-4a	保育課	主要
			民間保育所入所	4,412,343千円	②-1d	①-4a	保育課	主要
			公立保育所運営	576,813千円	②-1d	①-4a	保育課	主要
			私立幼稚園授業料等軽減補助金	1,332,687千円	②-1d	①-4a	保育課	主要
			子育て支援施設等利用補助金	75,960千円	②-1d	①-4a	保育課	主要
			各園施設整備	125,737千円	②-1d	①-4a	保育課	主要
<施策g>障害児への支援								
			のぞみ学園管理運営	101,787千円	②-1g	②-1f, ②-1h, ②-1i, ②-3d, ②-3g	児童発達支援センター	主要
			障害児相談支援	90,672千円	②-1g	②-1f, ②-1h, ②-3d, ②-3g	児童発達支援センター	主要
			発達支援室管理運営	2,568千円	②-1g	②-1f, ②-1h, ②-3d, ②-2k	児童発達支援センター	主要
			家族支援	14,437千円	②-1g	②-1f, ②-1h, ②-3d, ②-2k	児童発達支援センター	主要
			相談支援	5,169千円	②-1g	②-1f, ②-1h, ②-3d, ②-2k	児童発達支援センター	主要
			地域支援	7,248千円	②-1g	②-1f, ②-1h, ②-3d, ②-2k	児童発達支援センター	主要
<施策i>子どもの健康増進と心・身体の育成								
			子ども・若者会議	3,348千円	②-1i		こども未来課	重点(43)
			児童館管理運営	6,964千円	②-1i	②-1d, ②-3b, ②-3g	こども未来課	主要
			せとっ子ファミリー交流館管理運営	11,151千円	②-1i	②-1d, ②-3b, ②-3g	こども未来課	主要
			プレイルーム運営	40,977千円	②-1i	②-3b, ②-3g	こども未来課	主要
<施策k>子どもの貧困に対する支援								
			学習支援	5,175千円	②-1k	②-2c	社会福祉課	主要
			母子家庭等自立支援給付金支給	16,281千円	②-1k		こども未来課	主要
<政策2>瀬戸で学び、瀬戸で育ててよかったと思える教育の実現								
<施策a>特色あるキャリア教育等の推進								
			せと・まるっとキャリア教育推進	12,000千円	②-2a	②-1f, ②-2b	学校教育課	主要
<施策b>将来を見据えた教育の実施								
			小学校施設整備	3,354,212千円	②-2b		教育政策課	重点(45)
			中学校施設整備	233,547千円	②-2b		教育政策課	重点(45)
			菱野団地小中一貫校整備	1,223,228千円	②-2b		教育政策課	重点(46)
			小中一貫教育推進	7,830千円	②-2b	②-2d, ②-3a	学校教育課	重点(46)
<施策d>豊かな心の育成								
			適応指導推進	33,852千円	②-2d	②-2c, ②-2g, ②-2h, ②-2k, ②-2l	学校教育課	重点(47)
			学校支援	22,785千円	②-2d	②-2c, ②-2g, ②-2h, ②-2k, ②-2l	学校教育課	重点(47)
<施策j>体力の向上とスポーツの振興								
			体育施設整備	354,458千円	②-2j	②-1i, ②-3g, ③-1a, ③-5a, ③-5c	スポーツ課	主要

都市像	政策	施策	事業名	事業費(3か年)	主な関連施策	担当課	区分(頁)
<政策3>多世代が子育てに関わることのできるまちづくり							
<施策b>育児サロンや保育園などを活用した子育て支援							
			異年齢交流	840千円	②-3b	①-4a, ②-1b, ②-3e	保育課 主要
<施策e>家庭教育の充実							
			育児講座	582千円	②-3e	②-1d, ②-3b, ②-3g	こども未来課 主要
<施策f>地域とともにある学校づくり							
			コミュニティ・スクール推進	25,299千円	②-3f	②-2f, ②-2g, ②-2h, ②-3a, ②-3g	学校教育課 重点(49)
<政策5>都市基盤整備による居住環境の魅力向上と未来に向けた良好な環境の継承							
<施策a>公園や歩道など子育てのための都市基盤の整備・維持管理							
			菱野中線歩道整備	60,000千円	②-5a	①-5a, ①-5b, ③-4j	建設課 重点(51)
			品野曽野線整備	42,100千円	②-5a	①-5a, ①-5b	建設課 重点(51)
			公園施設整備	598,055千円	②-5a		建設課 重点(52)
			上ノ切萩殿線歩道整備	75,000千円	②-5a	①-5a, ①-5b, ③-4j	建設課 主要
			萩殿春雨線整備	89,400千円	②-5a	①-5a, ①-5b, ③-4j	建設課 主要
			陣屋川線整備	110,000千円	②-5a		建設課 主要
<施策b>面的整備事業による新たなまちづくり							
			中水野駅地区区画整理	1,155,718千円	②-5b	②-4c, ②-5a, ②-5c, ②-5j	都市計画課 重点(52)
			公共施設再生整備	350,984千円	②-5b	③-3f, 行政-b	政策推進課 重点(53)
<施策c>コンパクトシティの推進							
			都市計画等策定	71,889千円	②-5c	①-5d, ①-5e	都市計画課 重点(53)
<施策f>水や緑との触れあいの場の創出							
			都市緑化推進事業補助金	30,000千円	②-5f		建設課 主要
<施策g>自然環境の保護・保全							
			オオサンショウウオ保護	1,397千円	②-5g	③-5d	文化課 主要
			環境基本計画推進	9,464千円	②-5g	②-5f, ③-4b	環境課 主要
<施策h>安全で安心な水の供給							
			水道老朽管布設替【水道事業会計】	1,522,800千円	②-5h		水道課 主要
<施策i>日常生活を支える排水路施設の整備・維持管理							
			河川・排水路整備	498,560千円	②-5i	①-5b	建設課 主要
			河川環境整備	155,400千円	②-5i	①-5b, ③-4b, ③-4i	維持管理課 主要
			排水路維持	193,975千円	②-5i	①-5b, ③-4b, ③-4i	維持管理課 主要
<施策j>汚水処理人口普及率の向上							
			西部処理区管渠整備【下水道事業会計】	2,875,500千円	②-5j	②-5g	下水道課 主要
			西部浄化センター整備【下水道事業会計】	4,100,000千円	②-5j	②-5g	下水道課 主要

都市像	政策	施策	事業名	事業費(3か年)	主な関連施策	担当課	区分(頁)
<都市像③>地域に住まう市民が自立し支え合い、笑顔あふれるまち							
<政策1>誰もがいきいきと、健康に暮らすことができるまちづくり							
<施策a>市民の主体的な健康づくりの推進							
			健康づくり推進	13,381千円	③-1a	①-4f, ③-1b	健康課 重点(55)
			予防接種	1,202,623千円	③-1a	②-1c	健康課 主要
			休日診療	13,956千円	③-1a		健康課 主要
			疾病予防(糖尿病性腎症重症化予防事業等) 【国民健康保険事業特別会計】	79,536千円	③-1a	③-1b, ③-1c, ③-1d	国保年金課 重点(55)
			高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施	8,589千円	③-1a	③-1b, ③-1c, ③-1d	国保年金課 重点(56)
			後期高齢者医療費支給	4,980,009千円	③-1a	③-1b, ③-1c, ③-1d	国保年金課 主要
			障害者医療費支給	662,689千円	③-1a		国保年金課 主要
			精神障害者医療費支給	414,848千円	③-1a		国保年金課 主要
			後期高齢者福祉医療費支給	1,123,391千円	③-1a		国保年金課 主要
<施策b>多面的な生活習慣病対策							
			訪問指導	1,998千円	③-1b	①-4f, ③-1a	健康課 主要
<施策c>市民の健(検)診受診率向上							
			がん検診	910,920千円	③-1c	①-4f, ②-1b, ③-1a	健康課 重点(56)
			肝炎ウイルス検診	18,058千円	③-1c	③-1a, ③-1b	健康課 主要
			歯科健康診査	3,207千円	③-1c	③-1a	健康課 主要
<施策e>介護予防事業の推進							
			介護予防・生活支援サービス(介護予防・日常生活支援総合事業)【介護保険事業特別会計】	1,024,749千円	③-1e	③-2a, ③-2d	高齢者福祉課 重点(57)
<政策2>高齢者が生きがいを持って活躍し、支えあいにより、安心して暮らせるまちづくり							
<施策a>地域包括ケアシステムの構築							
			介護予防普及啓発(介護予防・日常生活支援総合事業)【介護保険事業特別会計】	13,473千円	③-2a	③-1e, ③-2d	高齢者福祉課 重点(59)
			地域介護予防活動支援【介護保険事業特別会計】	28,482千円	③-2a	③-1e, ③-3e, ③-2d	高齢者福祉課 重点(59)
			高齢者移動支援推進	6,450千円	③-2a	③-2d, ③-2f	高齢者福祉課 重点(60)
			高齢者見守りシステム構築【介護保険事業特別会計】	53,688千円	③-2a	③-2e, ③-2f, ③-4h, ③-4i	高齢者福祉課 重点(60)
			地域リハビリテーション活動支援【介護保険事業特別会計】	3,678千円	③-2a	③-1a	高齢者福祉課 主要
<施策c>円滑なボランティア活動のための仕組みづくり							
			地域福祉ボランティア活動助成金	3,000千円	③-2c	③-3e	社会福祉課 主要
<施策d>高齢者が活躍できる環境づくり・居場所づくり							
			高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定	5,900千円	③-2d		高齢者福祉課 主要
<施策e>認知症高齢者と家族の支援							
			認知症総合支援【介護保険事業特別会計】	44,082千円	③-2e	③-2a, ③-2b	高齢者福祉課 重点(61)
			認知症個人賠償責任保険	1,326千円	③-2e	③-2a, ③-2b	高齢者福祉課 重点(61)
			ピアサポーター育成支援	588千円	③-2e	③-2a, ③-2b	高齢者福祉課 重点(62)
<政策3>誰もが自立し、地域で支え合いながら生きがいをもって安心して暮らせるまちづくり							
<施策a>地域生活支援事業の効果的な実施							
			在宅医療介護連携推進	4,644千円	③-3a	②-1g, ②-1h	社会福祉課 重点(64)
			障害者相談支援	112,782千円	③-3a	②-1g, ②-1h, ③-3b	社会福祉課 重点(64)
			交通料金補助金	108,420千円	③-3a	③-3c, ②-1g, ②-1h	社会福祉課 主要

都市像	政策	施策	事業名	事業費(3か年)	主な関連施策	担当課	区分(頁)	
			<施策d>地域力向上に向けた活動の推進・支援					
			地域交流センター管理運営	133,806千円	③-3d	③-3e, ③-3h, ③-5a	まちづくり協働課	主要
			<施策g>生活困窮者の自立に向けた支援					
			自立相談支援	1,419千円	③-3g	①-2f, ①-4e	社会福祉課	主要
			就労準備支援	1,152千円	③-3g	①-2f, ①-4e	社会福祉課	主要
			住居確保給付	21,600千円	③-3g	①-2f, ①-4e	社会福祉課	主要
			一時生活支援	210千円	③-3g	①-2f, ①-4e	社会福祉課	主要
			<施策h>市民活動の推進と拡充への支援					
			まちの課題解決活動応援補助金	45,000千円	③-3h	②-3a, ②-3h, ③-2c, ③-2d, ③-3d, ③-3e, ③-4b, ③-4i, ③-4j, ③-5f	まちづくり協働課	重点(65)
			市民公益活動促進	28,265千円	③-3h	①-2a, ②-3h, ③-2c, ③-3c, ③-3d, ③-3e, ③-4k, ③-5f	まちづくり協働課	主要
			菱野団地再生計画推進	6,775千円	③-3h	②-5c	都市計画課	重点(65)
			<政策4>地域の生活環境の向上と安全・安心な地域づくり					
			<施策c>ごみ減量の促進・一般廃棄物の収集運搬					
			資源ごみ分別処理	2,165,784千円	③-4c		環境課	重点(67)
			環境美化促進	5,850千円	③-4c	③-4b, ③-3d	環境課	主要
			資源リサイクルセンター管理運営	27,645千円	③-4c	③-4e, ③-4b	環境課	主要
			一般廃棄物処理基本計画策定業務委託	5,907千円	③-4c		環境課	主要
			塵芥収集車両購入	11,116千円	③-4c		クリーンセンター	主要
			<施策e>公衆衛生に関わる公共施設の適正な管理・運営					
			ごみ処理施設建設対策	15,261千円	③-4e	③-4c	環境課	重点(67)
			<施策h>消防・救急体制の充実					
			消防新庁舎整備	151,086千円	③-4h	行政-b	総務課	重点(68)
			名古屋市等との消防指令業務共同運用	400,346千円	③-4h	行政-h	総務課	重点(68)
			消防・救急装備管理	151,972千円	③-4h	③-4g	総務課	主要
			消防団装備管理	154,289千円	③-4h	③-4i	総務課	主要
			消防水利整備	94,692千円	③-4h	行政-b	総務課	主要
			消防装備整備	372,952千円	③-4h		総務課	主要
			<施策i>地域防災力の向上					
			防災情報収集・伝達	22,859千円	③-4i	①-3d, ①-5h, ②-4b, 行政-g	危機管理課	重点(69)
			防災資機材購入	19,189千円	③-4i		危機管理課	主要
			民間木造住宅耐震診断	5,673千円	③-4i		都市計画課	主要
			民間建築物耐震化促進補助金	59,580千円	③-4i		都市計画課	主要
			火災予防・防災指導	11,784千円	③-4i	③-4g, ③-4h	予防課	重点(69)
			<施策j>防犯・交通安全の推進					
			防犯カメラ設置費補助金	3,000千円	③-4j		生活安全課	主要
			防犯灯電気料金補助金	61,644千円	③-4j		生活安全課	主要
			防犯灯設置費補助金	17,256千円	③-4j		生活安全課	主要
			交通安全施設等設置	129,024千円	③-4j	①-5b	維持管理課	主要

都市像	政策	施策	事業名	事業費(3か年)	主な関連施策	担当課	区分(頁)	
<政策5>誰もが生涯にわたって学び、郷土に対する誇りと愛着を深める豊かな地域づくり								
<施策a>生涯学習の推進								
			大学コンソーシアムせと負担金	11,652千円	③-5a	①-3b, ①-3e, ②-1j, ②-1k, ②-2a, ②-2j, ③-5b	まちづくり協働課	主要
			地区公民館事業運営委託	168,419千円	③-5a	③-3d, ③-3c, ③-3h	まちづくり協働課	主要
<施策b>図書館サービスの充実								
			図書館施設整備	405,800千円	③-5b	②-1d, ③-5a	図書館	重点(71)
<施策d>文化財等の伝統文化の継承と陶芸文化の新しい活用								
			文化財保護普及(旧山繁商店)	327,477千円	③-5d	①-3a, ①-3e, ①-5c, ③-3d, 行政-b	文化課	重点(71)
			磁祖加藤民吉顕彰	12,000千円	③-5d	③-5e	文化課	重点(72)
			瀬戸市陶磁史篇七、八編纂	6,169千円	③-5d	③-5e	文化課	主要
			市内遺跡発掘調査	8,835千円	③-5d		文化課	主要
			創造都市推進	621千円	③-5d		文化課	主要
<施策f>文化芸術活動の支援や奨励								
			瀬戸市文化振興財団補助金	301,027千円	③-5f	③-3h, ③-5d, ③-5e	文化課	重点(72)

都市像	政策	施策	事業名	事業費(3か年)	主な関連施策	担当課	区分(頁)	
<行政>第6次瀬戸市総合計画の推進に係る組織統制と基盤強化								
			政策推進	14,368千円	行政-a		政策推進課	主要
			財政管理	16,416千円	行政-a		財政課	主要
			人事管理	154,694千円	行政-c		人事課	主要
			職員研修	20,616千円	行政-c		人事課	主要
			個人番号カード活用	29,972千円	行政-d	①-5h	市民課	主要
			市税徴収	90,460千円	行政-e		税務課	主要

3. 財政計画

中期事業計画では、3か年にわたり様々な事業を展開していきます。そのため、計画の推進にあたっては、将来予測に基づく歳入計画を立て、計画の実効性が担保されなければなりません。中期事業計画を推進するための財政の枠組みについては、下表のとおりです。

歳入は、市税や地方交付税等の一般財源、現時点で見込むことが可能な補助金等の特定財源をもとに計画を立てています。

また、市税や地方交付税等を中心とした通常の収入に加え、公共施設等の整備に係る事業を円滑に行うため、建設事業債の発行や基金の繰入れを見込むとともに、財源不足を補うために必要な額の臨時財政対策債を見込んでいます。

令和6年度及び7年度については、臨時財政対策債を措置してもなお財源不足が見込まれており、当該年度の予算編成までに事務事業の見直しや歳入強化の取組を進め、財源の確保に努めていきます。

歳入（一般会計）

単位：千円

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	5～7年度
市税	18,956,700	18,863,700	19,108,200	56,928,600
地方譲与税・交付金	3,934,000	3,934,000	3,934,000	11,802,000
地方交付税	3,663,843	3,833,823	3,179,276	10,676,942
市債	1,845,300	2,939,640	3,184,900	7,969,840
その他	13,111,663	14,293,437	15,540,805	42,945,905
合計	41,511,506	43,864,600	44,947,181	130,323,287

歳出（一般会計）

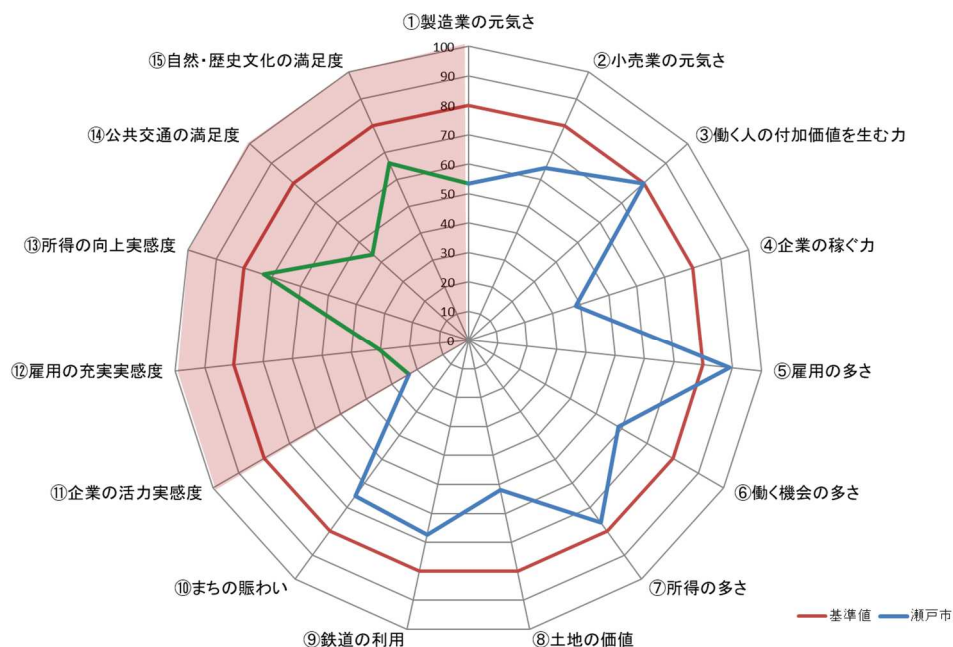
単位：千円

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	5～7年度
政策事業	12,781,598	15,646,313	16,794,390	45,222,301
経常事業	14,060,044	14,060,044	14,060,044	42,180,132
人件費	5,507,509	5,843,437	5,535,407	16,886,353
公債費	2,418,397	2,365,668	2,326,038	7,110,103
扶助費	6,633,958	6,875,910	7,138,625	20,648,493
光熱水費	110,000	0	0	110,000
合計	41,511,506	44,791,372	45,854,504	132,157,382

4. 都市像の達成に向けた主な重点事業等

都市像1 活力ある地域経済と豊かな暮らしを実感できるまち

<都市像の状況>



「⑦所得の多さ」「⑬所得の向上実感度」といった指標は、総合計画策定時と比較して向上しているものの、基準値は下回っています。更に、「⑤雇用の多さ」「⑥働く機会の多さ」といった雇用の機会に関する指標の数値が低下していることから、市内企業への支援の充実と新たな雇用を生み出す取組を推進します。また、「⑧土地の価値」「⑭公共交通の満足度」の指標は向上を続けていることから、利便性の高い公共交通ネットワークの構築などにより、土地の価値向上を推進します。

一方で、一昨年から続く新型コロナウイルス感染症の影響により、3つの密を避けるなど新たな生活様式が求められる中、「⑮自然・歴史文化の満足度」が向上していることも踏まえ、本市の豊かな自然等の地域資源を活かしたシティプロモーション、観光まちづくりをはじめ、新たな生活様式に対応したまちづくりを進めていく必要があります。

	事業内容（事業名）	事業費（3か年）
1	認知度拡大、市民の誇り・愛着醸成（シティプロモーション推進）	16,522千円
2	ふるさと納税を活用したシティプロモーションの展開（ふるさと納税推進）	193,469千円
3	DX重点取組事項ロードマップの推進・メタバース「バーチャル瀬戸」の運営（DX推進）	92,839千円
4	デジタル活用人材の育成（次世代クリエイター育成）	16,000千円
5	企業の経営基盤強化、人材確保支援（地域産業振興）	52,389千円
6	起業を促進する環境の整備（起業・創業支援）	6,200千円
7	瀬戸市ならではの特色ある有形・無形の財産を最大限に活用した観光振興（まるっとミュージアム推進）	108,867千円
8	公共交通の維持活性化、利用促進（公共交通維持・活性化）	658,007千円

<都市像の状況を示す指標>

※太字かつ下線で示した本市数値は、第6次瀬戸市総合計画策定時の本市数値と比較して向上したものです。

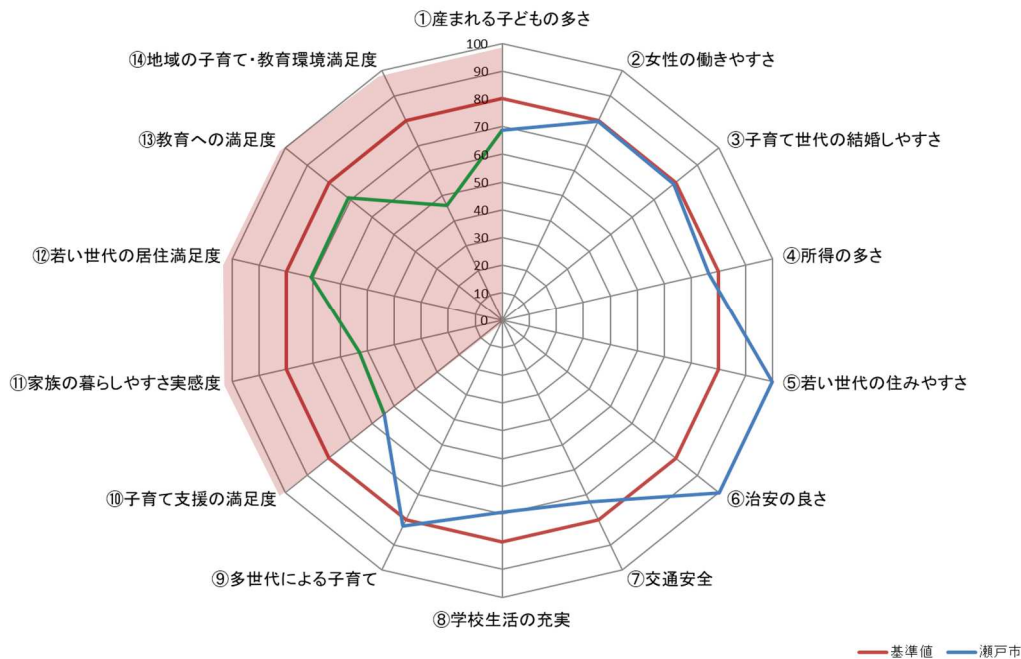
指標 (★はアンケート指標)	単位	第6次瀬戸市総合計画		中期事業計画策定時(→は更新なし)	
		本市数値(年度)	基準値(比較対象)	本市数値(年度)	基準値(比較対象)
①製造業の元気さ (製造品出荷額等)	百万円	450,253(H26)	622,432(県平均 ^{※1})	452,238(R2)	676,526(県平均 ^{※1})
②小売業の元気さ (1人あたり 小売業年間商品販売額)	円/人	686,862(H26)	829,152(県平均 ^{※1})	761,846(H28)	949,527(県平均 ^{※1})
③働く人の付加価値を生む力 (就業者1人あたり 市内総生産)	千円/人	8,394(H25)	9,744(県平均)	9,977(R1)	10,006(県平均)
④企業の稼ぐ力 (1人あたり法人市民税額)	円/人	9,495(H25)	17,414(県平均)	10,705(R1)	22,321(県平均)
⑤雇用の多さ (市内事業所の従業者数)	人	50,564(H26)	44,021(県平均 ^{※1})	46,118(H28)	41,468(県平均 ^{※1})
⑥働く機会の多さ (有効求人倍率 瀬戸・尾張旭管内)	倍	0.90(H27)	1.20(県平均 ^{※2})	0.75(R3)	1.02(県平均 ^{※2})
⑦所得の多さ (1人あたり家計所得)	千円/人	3,362(H25)	3,609(県平均 ^{※1})	3,416(R1)	3,576(県平均 ^{※1})
⑧土地の価値 (住宅地の平均価格)	円/㎡	55,000(H28)	83,984(県平均 ^{※1})	56,900(R4)	87,620(県平均 ^{※1})
⑨鉄道の利用 (年間の駅利用者数)	人	7,477,020(H26)	7,477,020(市H26)	6,309,817(R2)	7,477,020(市H26)
⑩まちの賑わい (休日の昼間人口と 人口との比)	倍	1.52(H27)	1.86(県平均 ^{※1})	→	→
⑪企業の活力実感度(★)	%	16.2(H28)	50.0(目標値)	14.6(R1)	50.0(目標値)
⑫雇用の充実実感度(★)	%	16.1(H28)	50.0(目標値)	19.0(R1)	50.0(目標値)
⑬所得の向上実感度(★)	%	58.0(H28)	80.0(目標値)	72.9(R1)	80.0(目標値)
⑭公共交通の満足度(★)	%	32.4(H28)	60.0(目標値)	32.8(R1)	60.0(目標値)
⑮自然・歴史文化の満足度(★)	%	53.0(H28)	80.0(目標値)	66.1(R1)	80.0(目標値)

※1：政令市、中核市、特例市、町村を除く県内市の平均値

※2：一宮、半田、瀬戸、津島、犬山、春日井の各公共職業安定所取扱い数の平均値

都市像2 安心して子育てができ、子どもが健やかに育つまち

<都市像の状況>



「②女性の働きやすさ」や「⑩子育て支援の満足度」の数値が向上しており、子育て環境改善に関する取組について一定の効果がみられます。引き続き、安心して子育てができる体制づくりを推進します。

一方で、「⑬教育への満足度」や「⑭地域の子育て・教育環境満足度」といった教育に関する指標については、総合計画策定時と比較して向上しているものの、引き続き、9年間を見通した系統的な小中一貫教育やコミュニティ・スクールの推進、子どもの成長に資する体験など、瀬戸で子どもを育てたい、瀬戸で学びたいと思える取組を推進していく必要があります。

また、「⑤若い世代の住みやすさ」や「⑪家族の暮らしやすさ実感度」も向上しており、安全・安心に利用できる公園の環境整備など、若い世代が本市に定住・移住したいと思える魅力あるまちづくりを推進します。

	事業内容（事業名）	事業費（3か年）
1	子どもの意見の表明の場（子ども・若者会議）	3,348千円
2	様々な保育ニーズに対応するサービス提供体制の構築（民間保育所運営費補助金）	604,078千円
3	休日保育の充実（休日保育）	21,000千円
4	子育て支援の充実（産前・産後支援）	5,283千円
5	安全で快適に遊ぶ公園づくり（公園施設整備）	598,055千円
6	新たな面的まちづくりの推進（中水野駅地区区画整理）	1,155,718千円
7	主体的・対話的で深い学びの実現（小中一貫教育推進、コミュニティ・スクール推進）	33,129千円
8	学校と地域が連携・協働した教育の推進（コミュニティ・スクール推進）	25,299千円
9	児童の成長に欠かせない体験活動の実施（校外学習支援：経常）	3,943千円

<都市像の状況を示す指標>

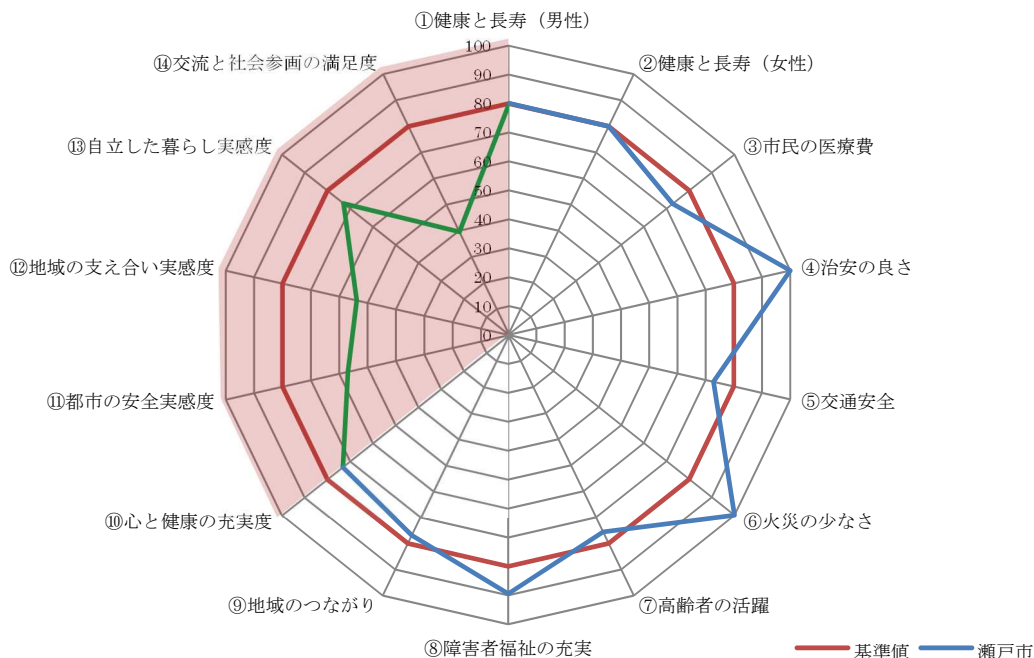
※太字かつ下線で示した本市数値は、第6次瀬戸市総合計画策定時の本市数値と比較して向上したものです。

指標 (★はアンケート指標)	単位	第6次瀬戸市総合計画		中期事業計画策定時(→は更新なし)	
		本市数値(年度)	基準値(比較対象)	本市数値(年度)	基準値(比較対象)
①産まれる子どもの多さ (合計特殊出生率)	-	1.23(H26)	1.46(県平均)	1.21(R2)	1.41(県平均)
②女性の働きやすさ (25～39歳の女性人口に 占める有業者の割合)	%	63.6(H22)	63.1(県平均※)	<u>67.9(R2)</u>	68.1(県平均※)
③子育て世代の結婚しやすさ (25～39歳の人口における 有配偶率)	%	52.7(H22)	54.6(県平均)	51.8(R2)	52.4(県平均)
④所得の多さ (1人あたり家計所得)	千円/人	3,362(H25)	3,609(県平均※)	<u>3,416(R1)</u>	3,576(県平均※)
⑤若い世代の住みやすさ (25～39歳の社会増減)	人	△2(H27)	12(県平均※)	<u>250(R3)</u>	△22(県平均※)
⑥治安の良さ (人口千人あたり 犯罪認知件数)	件/千人	☆7.16(H27)	10.24(県平均)	<u>☆3.18(R3)</u>	5.03(県平均)
⑦交通安全 (人口千人あたり 交通事故発生件数)	件/千人	☆4.36(H27)	5.93(県平均)	<u>☆3.54(R3)</u>	3.22(県平均)
⑧学校生活の充実 (長期欠席児童・生徒数 の割合)	%	☆2.28(H25)	1.71(県平均)	☆2.48(R2)	2.15(県平均)
⑨多世代による子育て (全世帯数における 3世代世帯の割合)	%	6.55(H22)	7.38(県平均)	3.69(R2)	3.58(県平均)
⑩子育て支援の満足度(★)	%	35.1(H28)	70.0(目標値)	<u>47.8(R1)</u>	70.0(目標値)
⑪家族の暮らしやすさ 実感度(★)	%	46.4(H28)	80.0(目標値)	<u>52.9(R1)</u>	80.0(目標値)
⑫若い世代の居住満足度(★)	%	72.9(H28)	85.0(目標値)	<u>75.2(R1)</u>	85.0(目標値)
⑬教育への満足度(★)	%	70.5(H27)	80.0(目標値)	<u>71.0(R1)</u>	80.0(目標値)
⑭地域の子育て・教育環境 満足度(★)	%	28.4(H28)	60.0(目標値)	<u>34.5(R1)</u>	60.0(目標値)

※：政令市、中核市、特例市、町村を除く県内市の平均値
☆：数値が低いほど評価が良いと考えられる指標

都市像3 地域に住まう市民が自立し支え合い、笑顔あふれるまち

<都市像の状況>



「①②健康と長寿」「③市民の医療費」や「⑩心と健康の充実度」といった指標の維持・向上に向けて、疾病予防や介護予防に取り組むとともに、地域の実情に応じたサービスや機会の提供を増やし、健康づくりを推進します。

「④治安の良さ」「⑤交通安全」や「⑥火災の少なさ」といった市民の安全・安心な生活環境を示す指標は向上を続けており、今後も安全・安心で快適な暮らしを支える取組を推進します。

また、「⑨地域のつながり」は低下しているものの、「⑫地域の支え合い実感度」「⑬自立した暮らし実感度」「⑭交流と社会参画の満足度」といった指標は向上しており、引き続き、市民や地域が主体的に課題解決に取り組む活動の支援を推進します。

	事業内容（事業名）	事業費（3か年）
1	市民・地域が主体的にまちの課題解決を図るために行う活動の支援 （まちの課題解決活動応援補助金）	45,000 千円
2	瀬戸市歴史文化基本構想に基づく文化財の保存・活用（文化財保護普及（旧山繁商店））	327,477 千円
3	ごみ排出量の削減、資源ごみの分別・資源化の推進 （ごみ処理施設建設対策、資源ごみ分別処理）	2,181,045 千円
4	カーボンニュートラル実現に向けた計画策定（環境基本計画推進：主要）	9,464 千円
5	地域の実情に応じた多様な介護サービスの提供（介護予防・日常生活支援総合事業）	1,038,222 千円
6	高齢者の外出機会の創出（高齢者移動支援推進）	6,450 千円
7	I o Tを活用した高齢者見守りシステムの運用（高齢者見守りシステム構築）	53,688 千円
8	健康増進の推進、保健の向上（健康づくり推進）	13,381 千円
9	多様な主体の連携・協働による菱野団地再生（菱野団地再生計画推進）	6,775 千円

<都市像の状況を示す指標>

※太字かつ下線で示した本市数値は、第6次瀬戸市総合計画策定時の本市数値と比較して向上したものです。

指標 (★はアンケート指標)	単位	第6次瀬戸市総合計画		中期事業計画策定時(→は更新なし)	
		本市数値(年度)	基準値(比較対象)	本市数値(年度)	基準値(比較対象)
①健康と長寿(男性) (健康寿命・男性)	歳	65.8(H26※ ¹)	65.7(県平均※ ¹)	81.0(R2)	80.5(県平均)
②健康と長寿(女性) (健康寿命・女性)	歳	67.2(H26※ ¹)	67.2(県平均※ ¹)	84.6(R2)	84.6(県平均)
③市民の医療費 (1人あたり医療費)	円/人	☆319,727(H27)	296,675(県平均)	☆375,289(R1)	341,132(県平均)
④治安の良さ (人口千人あたり 犯罪認知件数)	件/千人	☆7.16(H27)	10.24(県平均)	<u>☆3.18(R3)</u>	5.03(県平均)
⑤交通安全 (人口千人あたり 交通事故発生件数)	件/千人	☆4.36(H27)	5.93(県平均)	<u>☆3.54(R3)</u>	3.22(県平均)
⑥火災の少なさ (人口一万人あたり 火災発生件数)	件/万人	☆2.37(H27)	2.70(県平均)	<u>☆1.49(R3)</u>	2.37(県平均)
⑦高齢者の活躍 (65歳以上の就業率)	%	21.70(H22)	23.30(県平均)	<u>23.95(R2)</u>	25.36(県平均)
⑧障害者福祉の充実 (1人あたり障害福祉サービス等・ 障害児通所支援等事業所数)	箇所 /万人	9.8(H26)	6.3(県平均※ ²)	<u>10.4(R2)</u>	9.3(県平均※ ²)
⑨地域のつながり (自治会の加入率)	%	77.9(H26)	78.4(県平均※ ³)	70.4(R3)	74.6(県平均※ ⁴)
⑩心と健康の充実度(★)	%	27.4(H28)	60.0(目標値)	<u>54.9(R1)</u>	60.0(目標値)
⑪都市の安全実感度(★)	%	34.9(H28)	60.0(目標値)	<u>42.7(R1)</u>	60.0(目標値)
⑫地域の支え合い実感度(★)	%	42.7(H28)	70.0(目標値)	<u>47.1(R1)</u>	70.0(目標値)
⑬自立した暮らし実感度(★)	%	58.0(H28)	80.0(目標値)	<u>72.9(R1)</u>	80.0(目標値)
⑭交流と社会参画の 満足度(★)	%	27.0(H28)	60.0(目標値)	<u>29.7(R1)</u>	60.0(目標値)

※1: データ参照元における算出方法が現在と異なる

※2: 政令市、中核市、特例市、町村を除く県内市の平均値

※3: 「自治会の加入率」における県平均は、平成27年調査における有効回答団体のみ平均

※4: 「自治会の加入率」における県平均は、令和3年件実施調査における有効回答団体のみ平均

☆: 数値が低いほど評価が良いと考えられる指標

5. 重点事業の概要

中期事業計画においては、都市像の達成に貢献すると考えられる事業については特に重点的に取り組むこととしています。このため、各都市像の評価指標に対して、その向上を目指すことを目的とし、政策単位で「政策目標」を、また、事業単位で「活動指標」を設定することで評価を実施していきます。

第6次瀬戸市総合計画における政策を示しています。

中期事業計画における政策の展開方向を示しています。

政策と連動するSDGsのゴールを示しています。

第6次瀬戸市総合計画における事業の位置付け（都市像-政策-施策）を示しています。
 (例)①-1 a
 都市像①「活力ある地域経済と豊かな暮らしを実感できるまち」
 政策1「地域産業の振興と人材の活躍促進」
 施策a「企業誘致、先端産業誘致・育成」
 との関連を示しています。

なお、各事業は、位置付けのうち最も関連の深い施策のページに掲載しています。(※4、5ページ参照)

都市像1 活力ある地域経済と豊かな暮らしを実感できるまち

政策1 地域産業の振興と人材の活躍促進

(1) 政策の展開方向

地域産業の振興に向けて、将来の成長が期待される新産業分野の企業誘致を進めます。また、陶磁器製造業や農業などの既存産業分野においては、付加価値の向上に向けた取組を支援するとともに、設備投資、販路開拓、生産性向上などの支援を展開していきます。雇用においては、地元企業や地域農業を知る機会を創出し、事業者の人材確保や就労者の市内定住につなげることで、地元の人材が地元の企業で活躍できる地域社会の形成を目指します。こうした取組を通して、瀬戸市の活力ある地域経済を実現します。

(2) 政策目標

以下の政策目標を設定し、進捗を測るとともに取組の成果を明確にします。

政策目標	単位	現状 (R4)	目標 (R7)
市の支援策を活用した工場の新施設事業者数	社	5	5
市内製造品出荷額等	億円	4,522	4,672
市内従業員数	人	46,118	46,118
道の駅瀬戸しんち(地域創生施設内)における瀬戸市産農産物の売上金額	千円	56,500	56,500

(3) 実施事業に係る事業費及び財源

実施事業	事業名	単位数	単価	事業費	財源
①-1a 企業誘致、先端産業誘致・育成	企業立地促進奨励金	千円	1,200	2,560	9,100
	IT・スタートアップ企業等誘致補助金	千円	1,200	2,560	9,100
①-1b 地域産業の振興	地域産業振興	千円	14,415	15,363	52,389
	市内企業向け投資促進補助金	千円	64,546	64,546	916,000
	せとまち人材応援助成金	千円	4,140	4,140	9,820
①-1c 農業振興と農業の6次産業化	アグリカルチャー推進	千円	3,679	2,612	7,923
	地域の産業を支える人材育成	千円	5,439	6,000	16,000
合計				375,575	343,134

都市像指標の向上を目指して掲げた政策目標を示しています。

(4) 具体的な事業内容

事業名	事業費 (R5~R7)
企業立地促進奨励金	805,161 千円
雇用促進奨励金	778,401 千円
雇用促進奨励金	29,750 千円

【産業政策】

総合計画の位置付け: ①-1a ①-1b, ①-1c

【目的】
市外からの企業誘致や市内企業の投資促進及び地元雇用の拡大を図る。
【概要】
市内において、事務所を新設又は増設した事業者に対し、立地促進奨励金及び雇用促進奨励金を交付する。

【産業政策】

指標	内容	単位	指標値			
			初期値 (R4)	R5	R6	R7
指標①	企業立地促進奨励金指定事業者数	社	2	2	2	2
	企業立地促進奨励金指定事業者数(注)	社	2	2	2	2
指標②	企業立地促進奨励金指定事業者数(注)	社	2	2	2	2
	企業立地促進奨励金指定事業者数(注)	社	2	2	2	2
指標③	企業立地促進奨励金指定事業者数(注)	社	2	2	2	2
	企業立地促進奨励金指定事業者数(注)	社	2	2	2	2

中期事業計画期間内（3か年）における主な実施内容とその事業費を示しています。

事業の指標と単位、年度ごとの目標値、指標の考え方を示しています。

政策において具体的に実施する取組の内容を示しています。

中期事業計画で掲げる事業については、効果的なものであるか、適切に実施されるかといった観点からの評価を行い、改善につなげるため指標を設定しています。指標は、事業実施に直接関連する指標（アウトプット指標）、または、事業の成果に関する指標（アウトカム指標）とします。また、年度ごとに事業の点検及び評価をすることにより、継続的な改善を図り、都市像の達成に向け、より効果的な事業構築、実施につなげていきます。

都市像1 活力ある地域経済と豊かな暮らしを実感できるまち

政策1 地域産業の振興と人材の活躍促進



(1) 政策の展開方向

地域産業の振興に向けて、将来の成長が期待される新産業分野の企業誘致を進めます。

また、陶磁器製造業や農業などの既存産業分野においては、付加価値の向上に向けた取組を支援するとともに、設備投資、販路開拓、生産性向上などの支援を展開していきます。

雇用においては、地元企業や地域農業を知る機会を創出し、事業者の人材確保や就労者の市内定住につなげるにより、地元の人材が地元の企業で活躍できる地域社会の形成を目指します。

こうした取組を通して、瀬戸市の活力ある地域経済を実現します。

(2) 政策目標

以下の政策目標を設定し、進捗を測るとともに取組の成果を明確にします。

政策目標	単位	現状 (R4)	目標 (R7)
市の支援策を活用した工場等の新增設事業者数	社	5	5
市内製造品出荷額等	億円	4,522	4,672
市内従業者数	人	46,118	46,118
道の駅瀬戸しなの(地域振興施設内)における瀬戸市産農産物の売上金額	千円	56,500	56,500

(3) 実施事業に係る事業費及び財源内訳

施策名	事業名	令和3年度決算	令和4年度当初予算	令和5~7年度事業費
①-1a 企業誘致、先端産業誘致・育成	企業立地促進奨励金	286,296千円	247,923千円	805,151千円
	IT・スタートアップ企業等誘致補助金	1,200千円	2,550千円	9,100千円
①-1d 地域産業の振興	地域産業振興	14,415千円	15,363千円	52,389千円
	市内企業再投資促進補助金	64,546千円	64,546千円	916,000千円
	せとまち人材応援助成金	一千円	4,140千円	9,820千円
①-1e 農業振興と農業の6次産業化	アグリカルチャー推進	3,679千円	2,612千円	7,923千円
①-1f 地域の産業を支える人材育成	次世代クリエイター育成	5,439千円	6,000千円	16,000千円
合計		375,575千円	343,134千円	1,810,383千円

政策に係る財源内訳 (一般会計)	令和4年度当初予算	令和5~7年度事業費
国支出金	11,775千円	30,050千円
県支出金	0千円	75,000千円
市債	0千円	0千円
その他	4,140千円	9,820千円
一般財源	327,219千円	1,695,513千円
合計	343,134千円	1,810,383千円

(4) 具体的な事業内容

【産業政策課】

事業名		企業立地促進奨励金					
総合計画の位置付け		①-1a ①-1b、①-1c					
事業目的・概要		<p>【目的】 市外からの企業誘致や市内企業の投資促進及び地元雇用の拡大を図る。</p> <p>【概要】 市内において、事務所を新設又は増設した事業者に対し、立地促進奨励金及び雇用促進奨励金を交付する。</p>					
事業費（R5～R7）		805,151千円					
主な実施内容		立地促進奨励金 雇用促進奨励金				775,401千円 29,750千円	
指標①	内容	企業立地促進奨励金指定事業者数	単位 社	指標値			
	考え方	企業立地奨励金指定事業者数は、この制度により、事業所の新設及び増設を促進した結果であると考えられることから指標として設定					
				初期値（R4） 2	R5 2	R6 2	R7 2
指標②	内容		単位	指標値			
	考え方						
				初期値（R4）	R5	R6	R7
指標③	内容		単位	指標値			
	考え方						
				初期値（R4）	R5	R6	R7

【産業政策課】

事業名		IT・スタートアップ企業等誘致補助金					
総合計画の位置付け		①-1a ①-1c、①-1g					
事業目的・概要		<p>【目的】 今後の成長が期待される新産業分野の企業誘致を進め、付加価値の高い産業の育成及び地域における雇用の創出を図る。</p> <p>【概要】 市内において事業所を新增設等や人材育成にかかる費用の一部を助成する。</p>					
事業費（R5～R7）		9,100千円					
主な実施内容		IT・スタートアップ企業等進出促進奨励金 IT・スタートアップ企業等人材育成支援事業補助金				8,800千円 300千円	
指標①	内容	IT・スタートアップ企業等誘致補助金指定事業者	単位 社	指標値			
	考え方	IT・スタートアップ企業等誘致補助金申請者数は、この制度により、IT・スタートアップ企業等の市内進出促進が図られた結果であると考えられることから指標として設定					
				初期値（R4） 1	R5 1	R6 1	R7 1
指標②	内容		単位	指標値			
	考え方						
				初期値（R4）	R5	R6	R7
指標③	内容		単位	指標値			
	考え方						
				初期値（R4）	R5	R6	R7

【産業政策課】

事業名		地域産業振興						
総合計画の位置付け		①-1d ①-1a、①-1c						
事業目的・概要		<p>【目的】 市内企業に対する支援を充実することで、地域経済の活性化を図る。</p> <p>【概要】 地域の経済団体、商工会議所、金融機関、国、県等と連携して、瀬戸市地域産業振興会議を組織し、市内企業の経営基盤強化及び人材確保支援事業に取り組む。</p>						
事業費（R5～R7）							52,389千円	
主な実施内容		瀬戸市地域産業振興会議負担金（産業支援センターせとによる市内企業支援、新商品開発支援など）					51,000千円	
指標①	内容	産業支援センターせと相談件数	単位 件	指標値				
				初期値（R4）	R5	R6	R7	
				209	185	185	185	
	考え方	相談件数は、新事業展開や技術相談、補助金の活用を支援した結果であり、市内企業支援の効果を測る指標として設定						
指標②	内容	セミナー等参加者数	単位 人	指標値				
				初期値（R4）	R5	R6	R7	
				102	290	290	290	
	考え方	セミナー等参加者は、市内企業が求められるテーマに関する情報を提供した結果であり、市内企業支援の効果を測る指標として設定						
指標③	内容	補助金交付件数	単位 件	指標値				
				初期値（R4）	R5	R6	R7	
				36	44	44	44	
	考え方	補助金交付件数は、市内企業が展示会等出展や知的財産登録等の事業をした結果であり、地域経済の活性化を測る指標として設定						

【産業政策課】

事業名		市内企業再投資促進補助金						
総合計画の位置付け		①-1d ①-1a、①-1c						
事業目的・概要		<p>【目的】 地域経済の中核となる企業の流出防止及び雇用の維持拡大を図る。</p> <p>【概要】 長年にわたり市内に立地し、地域の経済や雇用を支えている企業に対し、愛知県と連携して工場・研究所の新増設等にかかる費用の一部を補助する。</p>						
事業費（R5～R7）							916,000千円	
主な実施内容		市内企業再投資促進補助金					916,000千円	
指標①	内容	市内企業再投資促進補助金指定事業者数	単位 社	指標値				
				初期値（R4）	R5	R6	R7	
				2	2	2	2	
	考え方	市内企業再投資促進補助金の指定事業者数は、この制度により、地域経済を支える市内企業の流出防止や雇用の維持拡大が図られた結果であると考えられることから事業効果を測る目標として設定						
指標②	内容		単位	指標値				
				初期値（R4）	R5	R6	R7	
	考え方							
指標③	内容		単位	指標値				
				初期値（R4）	R5	R6	R7	
	考え方							

事業名		せとまち人材応援助成金				
総合計画の位置付け		①-1d ①-1c、①-1f、①-2b				
事業目的・概要		<p>【目的】 若者の市内における就職及び定着を促進し、本市の産業を担う人材を確保する。</p> <p>【概要】 大学などを卒業後、市内企業に就職する学生が借り入れた奨学金の返還金の一部を助成するとともに、令和5年度から新たな就職支援を展開する。</p>				
事業費（R5～R7）		9,820千円				
主な実施内容		人材応援助成金		9,820千円		
指標①	内容	せとまち人材応援助成金の受給者数（累計）	単位 人	指標値		
	考え方	せとまち人材応援助成金の受給者は、この制度により、地域産業を担う若者の市内定着が図られた結果であると考えられることから事業効果を測る指標として設定		初期値（R4） 18	R5 18	R6 18
指標②	内容		単位	指標値		
	考え方			初期値（R4）	R5	R6
指標③	内容		単位	指標値		
	考え方			初期値（R4）	R5	R6

事業名		アグリカルチャー推進				
総合計画の位置付け		①-1e ①-2c、②-2e				
事業目的・概要		<p>【目的】 地域農産物の需要拡大や農地を維持する取組を推進し、農業を持続可能なものとする環境を整える。</p> <p>【概要】 農業者や農業団体と連携し、地産地消や農業の6次産業化を促進するとともに、担い手の育成や耕作放棄地の抑制を行う。</p>				
事業費（R5～R7）		7,923千円				
主な実施内容		アグリカルチャー推進協議会負担金		7,500千円		
指標①	内容	瀬戸市産農畜産物学校給食供給回数	単位 回	指標値		
	考え方	瀬戸市産農畜産物を学校給食に供給することで“地産地消”が推進されていると考えられるため指標として設定		初期値（R4） 66	R5 66	R6 66
指標②	内容	地域特産物の開発支援件数	単位 件	指標値		
	考え方	瀬戸の地域性を活かした新たな農産物の開発支援や瀬戸豚などを使った加工品の開発支援を行うことで、商品価値の向上、販路拡大につながると考えられるため指標として設定		初期値（R4） 1	R5 1	R6 1
指標③	内容	道の駅瀬戸しなの（地域振興施設内）における瀬戸市産農産物の売上金額	単位 千円	指標値		
	考え方	道の駅瀬戸しなの（地域振興施設内）における瀬戸市産農産物の売上金額が、地産地消を始めとする農業振興施策を実施したことによる結果であると考えられるため指標として設定		初期値（R4） 56,500	R5 56,500	R6 56,500

事業名		次世代クリエイター育成					
総合計画の位置付け		①-1f ②-2b、②-2d					
事業目的・概要		<p>【目的】 新産業の担い手となる人材を育成することで、将来の成長が期待される産業の育成・支援による企業の付加価値の向上及び企業活動の活性化を図る。</p> <p>【概要】 才能ある子どもたちの発掘と育成、本市の新たな産業の創出に向けて、デジタルコンテンツ制作をとおしてものづくりの面白さを体験する「Seto CG Kid's Program」及び高校生や大学生等を対象にCG制作を体系的に学ぶ「Seto CG Kid's Advance」のほか、小学生向けプログラミング講座等を実施する。</p>					
事業費（R5～R7）		16,000千円					
主な実施内容		次世代クリエイター育成講座				16,000千円	
指標①	内容	講座参加者数	単位	指標値			
			人	初期値（R4）	R5	R6	R7
				300	300	300	300
	考え方	講座参加者数は、瀬戸市の将来を担うICT人材の発掘・育成の場が提供され、人材の育成につながったと考えられることから、指標として設定					
指標②	内容	受講者の満足度	単位	指標値			
			%	初期値（R4）	R5	R6	R7
				90	90	90	90
	考え方	受講者の満足度の高さは、効果的にICT人材の発掘・育成の場が提供され、人材の育成につながったと考えられることから、指標として設定					
指標③	内容	受講者の学習継続意向	単位	指標値			
			%	初期値（R4）	R5	R6	R7
				90	90	90	90
	考え方	受講者の学習継続意向の高さは、効果的にICT人材の発掘・育成の場が提供され、人材の育成につながったと考えられることから、指標として設定					

都市像1 活力ある地域経済と豊かな暮らしを実感できるまち

政策2

年齢や性別にかかわらず、働くことや起業・創業に挑戦できるまちづくり



(1) 政策の展開方向

性別や年齢、国籍を問わず、様々な働き手が活躍する社会へと時代が変わっていく中で、全ての人が希望に応じて働くことができる機会や仕組みをつくることによって、社会で活躍することのできる市民を増やしていきます。

また、年齢や性別にかかわらず、趣味や技能を活かした起業・創業に対する知識や手法を学ぶ機会や交流の場を創出することで「新しいことにチャレンジするまち・瀬戸」としての取組を進め、にぎわいのあるまちづくりを目指します。

(2) 政策目標

以下の政策目標を設定し、進捗を測るとともに取組の成果を明確にします。

政策目標	単位	現状 (R4)	目標 (R7)
創業支援等事業計画に基づく創業支援者数	人	269	269
せとまちツクリテ・人材バンク登録者数	人	193	233

(3) 実施事業に係る事業費及び財源内訳

施策名	事業名	令和3年度決算	令和4年度当初予算	令和5~7年度事業費
①-2c 起業・創業支援	起業・創業支援	1,581千円	2,200千円	6,200千円
	中心市街地商店街空き店舗対策事業費補助金	3,572千円	3,900千円	11,700千円
	合計			
①-2d ツクリテ支援、若手作家、職人の活動支援	ツクリテ支援	6,160千円	7,642千円	22,959千円
	ツクリテ支援補助金	1,028千円	1,800千円	3,600千円
	合計	12,341千円	15,542千円	44,459千円

政策に係る財源内訳 (一般会計)	令和4年度当初予算	令和5~7年度事業費
国支出金	7,179千円	17,537千円
県支出金	0千円	0千円
市債	0千円	0千円
その他	0千円	0千円
一般財源	8,363千円	26,922千円
合計	15,542千円	44,459千円

(4) 具体的な事業内容

【ものづくり商業振興課】

事業名		起業・創業支援					
総合計画の位置付け		①-2c ①-1d、①-1f、①-2a、①-2d					
事業目的・概要		<p>【目的】 年齢や性別にかかわらず起業・創業に挑戦できるまちづくり、地域経済の発展と雇用創出を目的とする。</p> <p>【概要】 起業するために必要となる知識を習得するための講義や、起業者向けの個別相談事業を実施する等、起業を促進する環境を整える。</p>					
事業費（R5～R7）						6,200千円	
主な実施内容		瀬戸市地域産業振興会議負担金				6,200千円	
指標①	内容	入塾者数	単位 人	指標値			
				初期値（R4） 20	R5 20	R6 20	R7 20
	考え方	せと・しごと塾に入塾した人数を把握することで、起業・創業を志す市民の意識を測る指標として設定					
指標②	内容	創業支援相談マネージャー相談者数	単位 人	指標値			
				初期値（R4） 36	R5 36	R6 36	R7 36
	考え方	相談者数を把握することで、起業・創業を志す市民の意識を測る指標として設定					
指標③	内容		単位	指標値			
				初期値（R4）	R5	R6	R7
	考え方						

【ものづくり商業振興課】

事業名		中心市街地商店街空き店舗対策事業費補助金					
総合計画の位置付け		①-2c ①-1d、①-2a、①-2d					
事業目的・概要		<p>【目的】 中心市街地商店街への出店を促し、中心市街地商店街の地域経済の場所としての機能を高め、活性化を図る。</p> <p>【概要】 中心市街地商店街の空き店舗に出店する際の家賃、改装費の一部を助成する。</p>					
事業費（R5～R7）						11,700千円	
主な実施内容		新規家賃補助 継続家賃補助 店舗改装費補助				2,250千円 3,150千円 6,300千円	
指標①	内容	補助金交付件数（新規分）	単位 件	指標値			
				初期値（R4） 3	R5 3	R6 3	R7 3
	考え方	出店促進の取組状況を評価するため、指標として設定					
指標②	内容		単位	指標値			
				初期値（R4）	R5	R6	R7
	考え方						
指標③	内容		単位	指標値			
				初期値（R4）	R5	R6	R7
	考え方						

事業名		ツクリテ支援					
総合計画の位置付け		①-2d ①-2a、①-2c、①-2e					
事業目的・概要		<p>【目的】 ツクリテが活躍できる環境やツクリテ同士の交流の場を創出することで、ツクリテの市内定着と育成、地域のにぎわい創出を目的とする。</p> <p>【概要】 若手クリエイター等を中心としたツクリテの支援・交流拠点である「せとまちツクリテセンター」において、ツクリテの創作活動に対する支援を行うとともに、拠点を中心市街地に置くことで、地域のにぎわいの創出を目指す。</p>					
事業費（R5～R7）		22,959千円					
主な実施内容		コーディネーター委託料 ツクリテ連携イベント委託料 (会計年度任用職員 8,424千円)	16,119千円 2,100千円				
指標①	内容	ツクリテの連携による 新規自主イベントの開催	単位 件	指標値			
	考え方	ツクリテの連携による自主イベントの開催は、ツクリテ支援によってツクリテが育成され、交流し、地域のにぎわいを創出したことを示すことから、指標として設定					
指標②	内容	せとまちツクリテセンター Instagram フォロワー数	単位 人	初期値 (R4)	R5	R6	R7
	考え方	フォロワー数の増加は、ものづくりのまちとしての瀬戸のプロモーションに寄与されていることを示すことから、指標として設定					
指標③	内容		単位	初期値 (R4)	R5	R6	R7
	考え方						

事業名		ツクリテ支援補助金					
総合計画の位置付け		①-2d ①-2a、①-2c、①-2e、①-3f					
事業目的・概要		<p>【目的】 ツクリテが活躍できる環境やツクリテ同士の交流の場を創出することで、ツクリテの市内定着と育成、地域のにぎわい創出を目的とする。</p> <p>【概要】 ツクリテが創作活動を行うために必要となる資金の一部を補助することによりツクリテの支援を行う。</p>					
事業費（R5～R7）		3,600千円					
主な実施内容		ツクリテ支援補助金	3,600千円				
指標①	内容	ツクリテ創業支援事業費補助 金の利用件数	単位 件	初期値 (R4)	R5	R6	R7
	考え方	補助金の活用がツクリテの市内定着を示すことから指標として設定					
指標②	内容		単位	初期値 (R4)	R5	R6	R7
	考え方						
指標③	内容		単位	初期値 (R4)	R5	R6	R7
	考え方						

都市像1 活力ある地域経済と豊かな暮らしを実感できるまち

政策3

地域経済の活性化につながる地域資源を活かしたシティプロモーションの展開



(1) 政策の展開方向

地域資源の付加価値の向上によって、まちに対する誇り（シビックプライド）や愛着を醸成し、瀬戸市のイメージや知名度を高めるような情報発信（シティプロモーション）を展開することにより、瀬戸市で働き、暮らすことに対する価値を育み、観光産業だけでなく、小売業や宿泊業など、様々な産業への経済的な波及効果を高めていきます。

(2) 政策目標

以下の政策目標を設定し、進捗を測るとともに取組の成果を明確にします。

政策目標	単位	現状 (R4)	目標 (R7)
アンケート「瀬戸市の良いイメージ」に対し「特にない」と回答する割合	%	1.5	1.5
市観光情報公式ホームページの閲覧数	件	696,000	700,000
ふるさと納税制度による寄附件数	件	3,691	7,500

(3) 実施事業に係る事業費及び財源内訳

施策名	事業名	令和3年度決算	令和4年度当初予算	令和5~7年度事業費
①-3a 観光産業の振興	日本遺産魅力発信推進	778千円	1,037千円	2,757千円
	まるっとミュージアム推進	32,416千円	35,504千円	108,867千円
	合計			
①-3c 市内外への「シティプロモーション」の展開	シティプロモーション推進	6,520千円	4,666千円	16,522千円
	ふるさと納税推進	32,430千円	46,149千円	193,469千円
	合計			
①-3e 陶磁器産業のブランド化	瀬戸焼振興	12,084千円	10,473千円	30,851千円
	合計			
合計		84,228千円	97,829千円	352,466千円

政策に係る財源内訳（一般会計）	令和4年度当初予算	令和5~7年度事業費
国支出金	1,000千円	3,800千円
県支出金	0千円	0千円
市債	0千円	0千円
その他	46,737千円	190,459千円
一般財源	50,092千円	158,207千円
合計	97,829千円	352,466千円

(4) 具体的な事業内容

【ものづくり商業振興課】

事業名		日本遺産魅力発信推進					
総合計画の位置付け		①-3a ①-1d、①-3c、①-3d、①-3e、③-5d					
事業目的・概要		<p>【目的】 日本遺産認定を活かした瀬戸市のブランド力向上を目的とする。</p> <p>【概要】 六古窯の日本遺産PR事業を通じて、瀬戸市固有の魅力や価値について積極的な情報発信を行う。</p>					
事業費（R5～R7）						2,757千円	
主な実施内容		六古窯日本遺産活用協議会負担金				1,500千円	
指標①	内容	日本遺産の認知度アップ	単位	指標値			
	考え方	日本遺産の認知度については、六古窯日本遺産PR事業を通じて情報発信を行った結果と考えられるため、指標として設定					
			%	初期値（R4）	R5	R6	R7
				39.9	前年比+2%	前年比+2%	前年比+2%
指標②	内容		単位	指標値			
	考え方						
				初期値（R4）	R5	R6	R7
指標③	内容		単位	指標値			
	考え方						
				初期値（R4）	R5	R6	R7

【観光課】

事業名		まるっとミュージアム推進					
総合計画の位置付け		①-3a ①-1f、①-3c、②-2d、②-4a、③-5e					
事業目的・概要		<p>【目的】 本市への観光誘客を図り、交流人口の拡大と地域経済の活性化につなげる。</p> <p>【概要】 令和2年度に策定した「せと・まるっとミュージアム観光推進アクションプラン2021-2025」を基に、まずは国内観光客を主眼においた誘客策を推進し、日本遺産のまち瀬戸市ならではの特色ある有形・無形の財産を最大限に活用した観光推進に取り組む。</p>					
事業費（R5～R7）						108,867千円	
主な実施内容		瀬戸市まるっとミュージアム・観光協会負担金				101,796千円	
指標①	内容	市観光情報公式ホームページの閲覧数	単位	指標値			
	考え方	市観光情報公式ホームページの閲覧は、瀬戸市への来訪動機の重要な要因と考えられるため、指標として設定					
			件	初期値（R4）	R5	R6	R7
				696,000	698,000	699,000	700,000
指標②	内容	国内旅行商品の年間造成数	単位	指標値			
	考え方	旅行会社による瀬戸市を組み込んだ旅行商品の造成数は、観光振興や地域経済活性化に寄与する重要な要因と考えられるため、指標として設定					
			ツアー	初期値（R4）	R5	R6	R7
				206	210	220	230
指標③	内容	観光ツアー客受入数	単位	指標値			
	考え方	バスツアー等を利用して来訪した観光客数は、観光振興や地域経済活性化に寄与する重要な要因と考えられるため、指標として設定					
			人	初期値（R4）	R5	R6	R7
				1,255	1,400	1,500	1,600

【シティプロモーション課】

事業名		シティプロモーション推進				
総合計画の位置付け		①-3c ②-4b				
事業目的・概要		<p>【目的】</p> <p>瀬戸の魅力を引き上げ、広く発信することにより、認知度の拡大と市民の誇りと愛着の醸成を図り、第6次瀬戸市総合計画の将来像「住みたいまち 誇れるまち 新しいせと」を実現していく。</p> <p>【概要】</p> <p>瀬戸市シティプロモーション推進アクションプランに基づき、認知度の拡大と市民の誇りと愛着の醸成を図るとともに、本市の暮らしの魅力を発信し、定住を促進する。</p>				
事業費（R5～R7）		16,522千円				
主な実施内容		せとまちサポーター講座	450千円			
		ジブリパーク開園周知・啓発	1,000千円			
		雑誌等記事掲載	1,200千円			
		Webマガジン・Web広告掲載	1,500千円			
		シティプロモーション動画作成	1,600千円			
		ロゴマーク啓発物品作成	2,100千円			
指標①	内容	市民が瀬戸市の魅力をPRした件数（累計）	指標値			
		単位：件	初期値（R4）	R5	R6	R7
			11,991	15,000	17,000	19,000
	考え方	市民によるPR件数は、市民の誇りと愛着の醸成に関連性があると考えられるため、指標として設定				
指標②	内容	市ホームページ・全ページ閲覧数	指標値			
		単位：件	初期値（R4）	R5	R6	R7
			8,434,489	5,974,000	6,272,000	6,585,000
	考え方	市ホームページの閲覧件数は、本市の認知度の拡大に関連性があると考えられるため、指標として設定				
指標③	内容		指標値			
		単位：件	初期値（R4）	R5	R6	R7
	考え方					

【政策推進課】

事業名		ふるさと納税推進				
総合計画の位置付け		①-3c				
事業目的・概要		<p>【目的】</p> <p>ふるさと納税制度を活用し、本市の魅力や取組を発信するとともに、多くの方に関心を持っていただくためのシティプロモーションにつなげていく。</p> <p>【概要】</p> <p>本市で展開する各種施策を紹介し、それらに充てる財源となる寄附金をふるさと納税制度を活用して募るとともに、市内事業者が生産する特産品等を返礼品として提供し、本市の魅力を発信するシティプロモーションのひとつとして活用を図る。</p>				
事業費（R5～R7）		193,469千円				
主な実施内容		クレジット等決済手数料	3,178千円			
		事務委託料	39,191千円			
		返礼品発送等業務委託料	112,119千円			
		返礼品配送料	24,840千円			
		ふるさと納税サイト利用料	8,945千円			
指標①	内容	ふるさと納税制度による寄附件数	指標値			
		単位：件	初期値（R4）	R5	R6	R7
			3,691	6,300	6,900	7,500
	考え方	地域経済の活性化につながる地域資源を活かしたシティプロモーションに一定の成果があるものと考え指標として設定				
指標②	内容	ふるさと納税制度による寄附金額	指標値			
		単位：千円	初期値（R4）	R5	R6	R7
			73,194	120,000	130,000	140,000
	考え方	地域経済の活性化につながる地域資源を活かしたシティプロモーションに一定の成果があるものと考え指標として設定				
指標③	内容	返礼品登録数	指標値			
		単位：件	初期値（R4）	R5	R6	R7
			213	220	230	240
	考え方	地域経済の活性化につながる地域資源を活かしたシティプロモーションに一定の成果があるものと考え指標として設定				

事業名		瀬戸焼振興				
総合計画の位置付け		①-3e ①-1d、①-1f、①-3b、①-3d				
事業目的・概要		<p>【目的】 高い技術や歴史を有する陶磁器産業について、瀬戸市固有の伝統産業として、付加価値の高い産業への転換を図ることで、陶磁器関連産業が活性化されることを目的とする。</p> <p>【概要】 瀬戸焼振興ビジョンに基づき、瀬戸焼関連団体等と連携を図りながら、陶磁器関連産業の付加価値向上や後継者育成、市内外への情報発信等を行う。また、瀬戸焼振興協会を始めとする関連団体に負担金を交付し連携を図ることで瀬戸焼の振興に取り組む。</p>				
事業費（R5～R7）		30,851千円				
主な実施内容		瀬戸焼振興協会負担金	28,500千円			
		陶器の日実行委員会負担金	1,107千円			
		やきもの産地交流連携推進協議会負担金	300千円			
		伝統的工芸品産業振興協会負担金	150千円			
指標①	内容	瀬戸焼の認知度向上	指標値			
			初期値（R4）	R5	R6	R7
			11.3	前年比+1%	前年比+1%	前年比+1%
	考え方	瀬戸焼の認知度については瀬戸焼振興ビジョンにおける具体的な施策の効果が表れるため指標として設定				
指標②	内容	セトリエ定期購読申込数	指標値			
			初期値（R4）	R5	R6	R7
			396	426	456	486
	考え方	セトリエはものづくりのまち・瀬戸をPRする媒体として制作しており、定期購読の申込が増えることは瀬戸焼に興味を持つ人が増えたことを示すことから指標として設定				
指標③	内容		指標値			
			初期値（R4）	R5	R6	R7
	考え方					

都市像1 活力ある地域経済と豊かな暮らしを実感できるまち

政策5

市民生活の利便性を高め、 企業活動の活性化につながる都市基盤の整備



(1) 政策の展開方向

幹線道路等の整備を進めることで、中心市街地に流入する通過交通を緩和し、来訪者がゆとりをもって安全に散策ができるよう、やきものの魅力が感じられるまちづくりを進めます。

また、これまで進めてきた「陶の路」をはじめ、市内各所に残る歴史的・文化的価値の高いまちなみを体感できる空間を整備することによって、やきものに対する市民の誇りの醸成や、観光産業の資源としての価値を高めます。

(2) 政策目標

以下の政策目標を設定し、進捗を測るとともに取組の成果を明確にします。

政策目標	単位	現状 (R4)	目標 (R7)
幡中南菱野線整備率	%	60	78
陣屋線整備率	%	32	32
コミュニティバスの利用者数	人	78,631	93,500

(3) 実施事業に係る事業費及び財源内訳

施策名	事業名	令和3年度決算	令和4年度当初予算	令和5~7年度事業費
①-5a	広域ネットワークを形成する幹線道路の整備			
	十三橋線整備	—千円	—千円	166,500千円
	陣屋線整備	353,584千円	333,070千円	937,100千円
	幡中南菱野線整備	209,243千円	76,500千円	151,000千円
	水野中線渋滞対策事業	—千円	5,000千円	55,000千円
①-5e	拠点を交通ネットワークでつないだコンパクトなまちづくり			
	公共交通維持・活性化	219,376千円	215,800千円	658,007千円
①-5h	ICT推進のための基盤整備			
	DX推進	—千円	56,476千円	92,839千円
合計		782,203千円	686,846千円	2,060,446千円

政策に係る財源内訳 (一般会計)	令和4年度当初予算	令和5~7年度事業費
国支出金	55,319千円	122,924千円
県支出金	9,750千円	12,000千円
市債	30,100千円	368,200千円
その他	100千円	290,300千円
一般財源	591,577千円	1,267,022千円
合計	686,846千円	2,060,446千円

(4) 具体的な事業内容

【建設課】

事業名		十三橋線整備					
総合計画の位置付け		①-5a ①-5d、②-5a、②-5c					
事業目的・概要		<p>【目的】 地域経済の活性化や市民生活の利便性を高めるため、幹線道路を整備し、都市機能の強化を図る。</p> <p>【概要】 都市計画道路陣屋線が接続し、交通量が増大する十三橋線について、円滑な交通処理及び歩行者の安全を確保するための道路改良を行う。</p>					
事業費（R5～R7）		166,500千円					
主な実施内容		十三橋線道路詳細設計業務委託、用地境界測量業務委託、下陣屋橋予備・詳細設計業務委託 下陣屋橋拡幅工事				90,000千円 40,000千円	
指標①	内容	事業計画（測量・設計）進捗率	単位 %	指標値			
	考え方	事業計画（測量、設計等）は、当該整備の根幹をなす重要な成果であることから事業の進捗を測る指標として設定					
				初期値（R4）	R5	R6	R7
				-	-	100	-
指標②	内容	事業用地取得率	単位 %	指標値			
	考え方	事業用地の取得は、当該整備を行う上で必要不可欠なものであることから事業の進捗を測る指標として設定					
				初期値（R4）	R5	R6	R7
				-	-	0	100
指標③	内容	道路整備率	単位 %	指標値			
	考え方	上記の指標を踏まえ、工事等による供用開始までの進捗を測る指標として設定					
				初期値（R4）	R5	R6	R7
				-	-	0	0

【建設課】

事業名		陣屋線整備					
総合計画の位置付け		①-5a ①-5d、②-5c					
事業目的・概要		<p>【目的】 地域経済の活性化や市民生活の利便性を高めるため、幹線道路を整備し、都市機能の強化を図る。</p> <p>【概要】 都市計画道路陣屋線全長1,640mのうち、小金町から都市計画道路十三橋線までの延長約400m、幅員20mの道路整備を行う。</p>					
事業費（R5～R7）		937,100千円					
主な実施内容		物件調査 公社先行取得買戻し 陶栄橋詳細設計業務委託 陶栄橋改良工事（下部工・上部工） 電線共同溝詳細設計業務委託 電線共同溝（1期区間）工事				55,000千円 150,000千円 30,000千円 280,000千円 27,000千円 100,000千円	
指標①	内容	事業計画（測量・設計）進捗率	単位 %	指標値			
	考え方	事業計画（測量、設計等）は、当該整備の根幹をなす重要な成果であることから事業の進捗を測る指標として設定					
				初期値（R4）	R5	R6	R7
				80	80	100	-
指標②	内容	事業用地取得率	単位 %	指標値			
	考え方	事業用地の取得は、当該整備を行う上で必要不可欠なものであることから事業の進捗を測る指標として設定					
				初期値（R4）	R5	R6	R7
				51	98	100	-
指標③	内容	道路整備率	単位 %	指標値			
	考え方	上記の指標を踏まえ、工事等による供用開始までの進捗を測る指標として設定					
				初期値（R4）	R5	R6	R7
				0	32	32	32

【建設課】

事業名		幡中南菱野線整備					
総合計画の位置付け		①-5a					
事業目的・概要		【目的】 新たな工業団地や周辺施設へのアクセス道路を整備し、企業や市民活動の活性化を図る。 【概要】 (仮)新瀬戸市デジタルリサーチパーク構想整備計画に示した「(仮)新DRP構想地区」に人や車が安全にアクセスできるよう市道幡中南菱野線の道路整備を進める。					
事業費(R5~R7)						151,000千円	
主な実施内容		道路改良工事 設計単価特別調査業務委託				150,000千円 1,000千円	
指標①	内容	事業計画(測量・設計)進捗率	単位	指標値			
			%	初期値(R4)	R5	R6	R7
	100	-	-	-			
考え方	事業計画(測量、設計等)は、当該整備の根幹をなす重要な成果であることから事業の進捗を計る指標として設定						
指標②	内容	事業用地取得率	単位	指標値			
			%	初期値(R4)	R5	R6	R7
	90	100	-	-			
考え方	事業用地の取得は、当該整備を行う上で必要不可欠なものであることから事業の進捗を測る指標として設定						
指標③	内容	道路整備率	単位	指標値			
			%	初期値(R4)	R5	R6	R7
	60	70	70	78			
考え方	上記の指標を踏まえ、工事等による供用開始までの進捗を測る指標として設定						

【建設課】

事業名		水野中線渋滞対策					
総合計画の位置付け		①-5a					
事業目的・概要		【目的】 穴田曉企業団地や周辺施設へのアクセス道路の渋滞を緩和し、企業や市民活動の活性化を図る。 【概要】 穴田曉企業団地への車両を分散することにより水野中線への交通集中を避け、円滑な交通処理ができるよう対策を進める。					
事業費(R5~R7)						55,000千円	
主な実施内容		交通解析・課題整理・対策案検討業務委託 対策箇所予備設計業務委託 対策箇所詳細設計業務委託				15,000千円 20,000千円 20,000千円	
指標①	内容	事業計画(測量・設計)進捗率	単位	指標値			
			%	初期値(R4)	R5	R6	R7
	8	33	66	100			
考え方	事業計画(測量、設計等)は、当該整備の根幹をなす重要な成果であることから事業の進捗を測る指標として設定						
指標②	内容	道路整備率	単位	指標値			
			%	初期値(R4)	R5	R6	R7
	-	-	-	-			
考え方	上記の指標を踏まえ、工事等による供用開始までの進捗を測る指標として設定						
指標③	内容		単位	指標値			
				初期値(R4)	R5	R6	R7
考え方							

【都市計画課】

事業名		公共交通維持・活性化				
総合計画の位置付け		①-5e ①-5g				
事業目的・概要		<p>【目的】 地域公共交通網形成計画に基づき、利便性の高い公共交通ネットワークの構築に向けた市内基幹バス及びコミュニティバス、菱野団地住民バスの運行を目的とする。</p> <p>【概要】 公共交通の維持・活性化を図るため、公共交通の利用促進策等を実施する。</p>				
事業費（R5～R7）		658,007千円				
主な実施内容		公共交通会議負担金（コミュニティバス運行関係）		185,244千円		
		公共交通会議負担金（市内基幹バス運行関係）		455,829千円		
		公共交通会議負担金（菱野団地住民バス運行関係）		10,500千円		
指標①	内容	コミュニティ交通の合計収支率	単位 %	指標値		
				初期値（R4）	R5	R6
				10.0	15.0	15.0
	考え方	持続可能な公共交通の実現に向け、地域公共交通網形成計画で示した収支率目標値を事業効果を測る指標として設定				
指標②	内容		単位	指標値		
				初期値（R4）	R5	R6
	考え方					
指標③	内容		単位	指標値		
				初期値（R4）	R5	R6
	考え方					

【情報政策課】

事業名		DX推進				
総合計画の位置付け		①-5h ②-4b				
事業目的・概要		<p>【目的】 ICT戦略推進プランの「瀬戸市DX重点取組事項」に関して、全庁的なDX推進体制でロードマップに沿って推進する。</p> <p>【概要】 令和3・4年度で「第1期瀬戸市DX環境構築業務」の実施・検証を行い、令和5～7年度で環境改善・増強をめざした「瀬戸市DX重点取組推進業務」を実施する。また、民間企業、経済団体、学識経験者、市民代表、行政で組織した「瀬戸市ICT活用・DX推進協議会」で事業の進捗管理を行う。</p>				
事業費（R5～R7）		92,839千円				
主な実施内容		新アプリ「せとまちナビ」開発業務委託		14,685千円		
		メタバースプラットフォーム「バーチャル瀬戸」保守運営業務委託		15,000千円		
		瀬戸市ICT活用・DX推進協議会委員報酬		594千円		
		AIを活用した総合案内サービス（チャットボット）業務委託		4,248千円		
指標①	内容	AIチャットボット応答回数	単位 回	指標値		
				初期値（R4）	R5	R6
				12,000	13,000	14,000
	考え方	AIチャットボット応答回数は、事務の効率化及び市民サービスの向上につながったと考えられるため、事業効果を測る指標として設定				
指標②	内容	「せとまちナビ」アプリ起動回数	単位 回	指標値		
				初期値（R4）	R5	R6
				40,000	40,000	43,000
	考え方	アプリ起動回数は、市民生活の利便性を高めることにつながったと考えられるため、事業効果を測る指標として設定				
指標③	内容	「バーチャル瀬戸」公開イベント数	単位 回	指標値		
				初期値（R4）	R5	R6
				1	2	3
	考え方	公開イベント数は、市民のICT活用スキル向上及び企業活動の活性化につながったと考えられるため、事業効果を測る指標として設定				

都市像2 安心して子育てができ、子どもが健やかに育つまち

政策1

ライフステージに応じた 切れ目のない子ども・子育ての支援



(1) 政策の展開方向

子ども・若者の最善の利益の実現を基本理念として、瀬戸市の未来を担う子ども・若者が、それぞれの夢又は自立に向かって健やかに育つことができるようにするため、瀬戸市子ども総合計画に基づき、関係機関、市民、地域、NPO・団体、企業や行政などが力を合わせ、連携して取り組みます。

安心して相談ができる総合相談窓口として、平成30年4月に子育て総合支援センターを市役所内に設置しました。一方で、近年増加している児童虐待や不登校、ひきこもり、貧困など困難を有する子ども・若者やその家庭に対し、専門的で切れ目のない支援を行う体制を整備するため、令和3年4月に「子ども・若者センター」をパーティセと3階に開設しました。

また、安心して子どもを産み育てられるよう、妊産婦と配偶者に対して、適切な情報提供や支援を行うとともに子育てサービスの整備充実に向け、保護者のニーズに対応する保育サービスを提供できる体制整備等保育環境の充実に加え、保育士確保対策を実施します。

(2) 政策目標

以下の政策目標を設定し、進捗を測るとともに取組の成果を明確にします。

政策目標	単位	現状 (R4)	目標 (R7)
子ども・若者センターの相談者数	人	3,004 (R3)	2,490
保育所の待機児童数	人	0	0
子育てを楽しんでいる人の割合	%	93.7 (H30)	95.0 (R5)

(3) 実施事業に係る事業費及び財源内訳

施策名	事業名	令和3年度決算	令和4年度当初予算	令和5~7年度事業費
②-1a	子育て総合支援センターの創設			
	子ども・若者センター運営	10,018千円	4,588千円	25,122千円
②-1b	妊娠・出産への支援			
	妊産婦・乳児健康診査	84,198千円	98,256千円	282,210千円
	産前・産後支援	147千円	1,599千円	5,283千円
②-1c	子どもの健康福祉部の保持・増進			
	児童生活習慣病対策	66千円	111千円	2,388千円
②-1d	子育てサービスの整備・充実			
	児童クラブ運営・児童クラブ活動補助金	214,971千円	222,659千円	721,611千円
	放課後学級運営	69,334千円	72,306千円	215,661千円
	子どもの権利擁護委員	一千円	一千円	3,768千円
	地域型保育事業所運営費等補助金	16,738千円	6,835千円	17,043千円
	休日保育	6,000千円	6,000千円	21,000千円
	民間保育所運営費補助金	170,379千円	195,972千円	604,078千円
②-1i	子どもの健康増進と心・身体の育成			
	子ども・若者会議	一千円	145千円	3,348千円
合計		571,851千円	608,471千円	1,901,512千円

政策に係る財源内訳 (一般会計)	令和4年度当初予算	令和5~7年度事業費
国支出金	104,146千円	341,078千円
県支出金	126,270千円	352,761千円
市債	0千円	0千円
その他	942千円	5,310千円
一般財源	377,113千円	1,202,363千円
合計	608,471千円	1,901,512千円

(4) 具体的な事業内容

【こども未来課】

事業名		子ども・若者センター運営					
総合計画の位置付け		②-1a ②-1i、②-1k、②-3d					
事業目的・概要		<p>【目的】 児童の権利に関する条約の精神、児童の福祉を保障するための原理及び子ども・若者育成支援の基本理念にのっとり、一人一人の子ども・若者が、切れ目のない支援を受けることで、それぞれの夢又は自立に向かって健やかに育つことができるようにする。</p> <p>【概要】 子ども・若者センターは、①総合相談窓口（利用者支援事業基本型）、②児童虐待対応（子ども家庭総合支援拠点）、③子ども・若者総合相談センターの3つの機能を併せ持つことを特徴とし、令和3年4月に開設。子ども・若者が困難に陥るのを予防することからはじまり、困った時の気軽な相談、専門的な相談支援、児童虐待などのハイリスク対応までを、地域連携を活かしながら包括的に行うことで、子ども・若者への切れ目のない支援を行う。</p>					
事業費（R5～R7）		25,122千円					
主な実施内容		運営費 相談記録入力システム構築・保守 （会計年度任用職員 44,823千円）				13,822千円 11,300千円	
指標①	内容	子ども・若者センター相談者数	単位 人	指標値			
	考え方	困った状況や、抱えている悩みを相談できた子ども・若者、保護者の数（上記3つの機能の合計）。子ども・若者、保護者等が困った時に一人で悩まず、気軽に相談でき、支援が受けられる体制が整っていることを間接的に押し図る指標として設定					
				初期値（R4） 3,004（R3）	R5 2,490	R6 2,490	R7 2,490
指標②	内容	児童虐待死亡数	単位 人	指標値			
	考え方	児童虐待の軽重を問わず、早期に発見し、迅速的確な介入・支援を積み重ねることで、虐待による死亡児童数ゼロにつながることから、指標として設定					
				初期値（R4） 0（R3）	R5 0	R6 0	R7 0
指標③	内容	相談・支援につながった若者と その家族の数	単位 人	指標値			
	考え方	地域若者サポートステーションによる若者自立就労相談、若者自立就労支援セミナー、不登校・ひきこもりの家族のおしゃべり会、ひきこもりアウトリーチ等への参加・利用者数を指標として設定					
				初期値（R4） 92（R3）	R5 90	R6 90	R7 90

【健康課】

事業名		妊産婦・乳児健康診査					
総合計画の位置付け		②-1b ②-1c、③-1c					
事業目的・概要		<p>【目的】 妊産婦及び乳児の健康保持、増進及び異常の早期発見、早期治療を図るとともに、経済的負担を軽減する。</p> <p>【概要】 妊婦健診14回、産婦健診1回、新生児聴覚検査1回、乳幼児健診2回（1か月頃、10か月頃）、妊産婦歯科健診1回について補助券を使用し、医療機関や助産所等で健診を実施する。</p>					
事業費（R5～R7）		282,210千円					
主な実施内容		妊産婦・乳児受診票印刷製本費 妊産婦・乳児健診委託料 妊産婦・乳児健診扶助費				1,419千円 271,710千円 7,833千円	
指標①	内容	妊婦健診（1回目）受診率	単位 %	指標値			
	考え方	適切な時期に健診が実施でき妊娠期の疾病予防や早期発見等の確認をすることが重要であるため指標として設定					
				初期値（R4） 92	R5 100	R6 100	R7 100
指標②	内容	乳児健診（1回目）受診率	単位 %	指標値			
	考え方	適切な時期に健診が実施でき、乳児の発育発達の確認をすることが重要であるため指標として設定					
				初期値（R4） 89	R5 96	R6 96	R7 96
指標③	内容	産婦健診（1回目）受診率	単位 %	指標値			
	考え方	適切な時期に健診が実施でき、産褥期の疾病予防や早期発見等の確認をすることが重要であるため指標として設定					
				初期値（R4） 89	R5 96	R6 96	R7 96

【健康課】

事業名		産前・産後支援					
総合計画の位置付け		②-1b					
事業目的・概要		<p>【目的】 産前や産後の母子に対して、母親の身体の回復と心理的な安定を促進するとともに、母親自身がセルフケア能力を育み、健やかな育児ができるよう支援する。</p> <p>【概要】 産院からの退院直後の子育てにリスクの高い家庭等に対して、宿泊、通所、訪問（専門職派遣、サポーター派遣）により、休養、育児、家事の支援を行う。</p>					
事業費（R5～R7）						5,283千円	
主な実施内容		臨床心理士報償費 産後ケアトレーナー報償費 サポーター報償費 ヘルパー事業所等委託料				90千円 216千円 669千円 4,245千円	
指標①	内容	利用者の満足度	単位 %	指標値 初期値（R4） R5 R6 R7 85 85 85 85			
	考え方	利用者の満足度の高さは、産前・産後の母親の心身の安定や子育ての不安の解消につながるため指標として設定					
指標②	内容	スーパーバイザー相談開催数	単位 回	指標値 初期値（R4） R5 R6 R7 3 3 3 3			
	考え方	支援困難家庭への派遣が想定されることから、サポーターへのスーパーバイズが必要であり、心理の専門家による相談日を設定					
指標③	内容		単位	指標値 初期値（R4） R5 R6 R7			
	考え方						

【健康課】

事業名		児童生活習慣病対策					
総合計画の位置付け		②-1c ②-1i、②-3g、③-1b					
事業目的・概要		<p>【目的】 児童及びその家族の生活習慣を改善する。</p> <p>【概要】 瀬戸市立小学校5年生を対象にして、学校の栄養教諭等と連携し栄養調査を実施する。その結果を本人だけでなく家族を含めた食生活の気付きや見直しに役立て健康づくりを推進する。</p>					
事業費（R5～R7）						2,388千円	
主な実施内容		栄養調査 委託料				1,998千円	
指標①	内容	BDHQでの評価改善が見られる児童の割合	単位 %	指標値 初期値（R4） R5 R6 R7 70 70 70 70			
	考え方	小学生の食事摂取状況を把握し、健康状態を改善するための指標として設定					
指標②	内容	児童、保護者へのフィードバック	単位 %	指標値 初期値（R4） R5 R6 R7 100 100 100 100			
	考え方	児童及びその家族へBDHQの結果をもとに行動変容に繋がるきっかけになるため、フィードバック率を設定					
指標③	内容		単位	指標値 初期値（R4） R5 R6 R7			
	考え方						

【こども未来課】

事業名		児童クラブ運営・児童クラブ活動補助金					
総合計画の位置付け		②-1d ①-4a					
事業目的・概要		<p>【目的】 児童の健全育成と仕事と子育ての両立支援を目的とする。</p> <p>【概要】 小学校の余裕教室等を活用し、又は事業者が用意した施設において、小学校の放課後に適切な遊びの場と生活の場を提供し、児童の健全育成を図るもの。なお、運営については、公設児童クラブは民間事業者への委託により、民設児童クラブは運営事業者への補助金交付により行う。</p>					
事業費（R5～R7）		721,611千円					
主な実施内容		児童クラブ運営委託 児童クラブ活動補助金			198,261千円 523,350千円		
指標①	内容	放課後児童クラブが楽しいと思う児童の割合	単位 %	指標値			
				初期値（R4）	R5	R6	R7
				95	95	95	95
	考え方	放課後児童クラブを利用する子どもたちにとって、安全・安心で居心地よい生活の場であることを測るものとして、アンケートによる指標を設定					
指標②	内容	放課後児童クラブの待機人数	単位 人	指標値			
				初期値（R4）	R5	R6	R7
				0	0	0	0
	考え方	保護者の就労等により預かりが必要な児童すべてが、放課後児童クラブで過ごせることを示すものと考えられるため、指標として設定					
指標③	内容		単位	指標値			
				初期値（R4）	R5	R6	R7
	考え方						

【こども未来課】

事業名		放課後学級運営					
総合計画の位置付け		②-1d ②-3f、②-3g					
事業目的・概要		<p>【目的】 子どもたちに、安全・安心で居心地の良い放課後の遊び場を提供する。</p> <p>【概要】 放課後等に小学校施設を利用して異年齢児が自由に遊んだり、体験活動に参加したりして、子どもの自主性・創造性・社会性を育み、子どもを見守る。</p>					
事業費（R5～R7）		215,661千円					
主な実施内容		放課後学級委託料			215,661千円		
指標①	内容	放課後学級が楽しいと思う児童の割合	単位 %	指標値			
				初期値（R4）	R5	R6	R7
				95	95	95	95
	考え方	放課後学級を利用する子供たちにとって、安全・安心で居心地よい遊び場であることを測るものとして、アンケートによる指標を設定					
指標②	内容		単位	指標値			
				初期値（R4）	R5	R6	R7
	考え方						
指標③	内容		単位	指標値			
				初期値（R4）	R5	R6	R7
	考え方						

【こども未来課】

事業名		子どもの権利擁護委員					
総合計画の位置付け		②-1d					
事業目的・概要		<p>【目的】 瀬戸市子どもの権利条例に基づき、子どもの権利侵害から子どもを救済し、子どもの最善の利益を実現させる。</p> <p>【概要】 権利擁護委員が子どもの権利侵害の申立てを受け、調査・調整・勧告等を行い、子どもの権利を回復させる。</p>					
事業費（R5～R7）		3,768千円					
主な実施内容		委員報酬（弁護士及び学識者）				1,440千円	
指標①	内容	子どもの権利相談者数	単位 人	指標値			
	考え方	子どもの権利について相談ができた子どもの数は、相談により権利が回復できたことを間接的に推し計るものとして、指標を設定					
指標②	内容		単位	初期値（R4）	R5	R6	R7
	考え方						
指標③	内容		単位	初期値（R4）	R5	R6	R7
	考え方						

【保育課】

事業名		地域型保育事業所運営費等補助金					
総合計画の位置付け		②-1d ①-4a					
事業目的・概要		<p>【目的】 様々な保育ニーズに対応するサービスを提供することで、子を持つ親が安心して働ける環境をつくり、子育て世代の定住を促す。</p> <p>【概要】 地域型保育事業所の運営に対して補助金を交付する。</p>					
事業費（R5～R7）		17,043千円					
主な実施内容		延長保育事業費 週40時間勤務実施費 低年齢児保育促進事業費				2,628千円 4,256千円 7,848千円	
指標①	内容	地域型保育事業所定員数	単位 人	初期値（R4）	R5	R6	R7
	考え方	地域型保育事業所定員数は、保育ニーズに合った受入体制の確保を示しており、事業が適切に行われていると考えられるため指標として設定					
指標②	内容	待機児童数	単位 人	初期値（R4）	R5	R6	R7
	考え方	待機児童数が0であることは、地域型保育事業所の受入体制が確保できており、事業が適切に行われていることを示しているため指標として設定					
指標③	内容		単位	初期値（R4）	R5	R6	R7
	考え方						

【保育課】

事業名		休日保育				
総合計画の位置付け		②-1d ①-4a				
事業目的・概要		<p>【目的】 様々な保育ニーズに対応するサービスを提供することで、子を持つ親が安心して働ける環境をつくり、子育て世代の定住を促す。</p> <p>【概要】 保育サービスを充実させるため、民間保育所において休日保育を実施する。</p>				
事業費（R5～R7）		21,000千円				
主な実施内容		休日保育委託料		21,000千円		
指標①	内容	休日保育利用者数	単位 人	指標値		
				初期値（R4）	R5	R6
				900	900	900
	考え方	利用者数は、事業の普及啓発および成果をはかることができ、保育サービスの充実を示していると考えられるため指標として設定				
指標②	内容		単位	指標値		
				初期値（R4）	R5	R6
	考え方					
指標③	内容		単位	指標値		
				初期値（R4）	R5	R6
	考え方					

【保育課】

事業名		民間保育所運営費補助金				
総合計画の位置付け		②-1d ①-4a				
事業目的・概要		<p>【目的】 様々な保育ニーズに対応するサービスを提供することで、子を持つ親が安心して働ける環境をつくり、子育て世代の定住を促す。</p> <p>【概要】 民間保育所に対し、当該施設に勤務する職員の処遇向上及び延長保育等、保護者のニーズに対応する保育サービスを提供できる体制整備等のために補助金を交付する。</p>				
事業費（R5～R7）		604,078千円				
主な実施内容		延長保育事業費 1歳児保育加配実施費 障害児受入実施費 長時間保育実施費 低年齢児保育促進事業費 保育士宿舍借り上げ支援事業費		200,127千円 81,000千円 24,000千円 70,602千円 73,674千円 9,666千円		
指標①	内容	民間保育所定員数	単位 人	指標値		
				初期値（R4）	R5	R6
				1,040	1,040	1,040
	考え方	民間保育所定員数は、子育て世帯の保育ニーズに応え、保育事業の利用促進がなされていると考えられるため指標として設定				
指標②	内容	待機児童数	単位 人	指標値		
				初期値（R4）	R5	R6
				0	0	0
	考え方	待機児童数が0であることは、子育て世帯の保育ニーズに応え、事業が適切に行われていることを示しているため指標として設定				
指標③	内容		単位	指標値		
				初期値（R4）	R5	R6
	考え方					

事業名		子ども・若者会議					
総合計画の位置付け		②-1i					
事業目的・概要		<p>【目的】 子どもが意見表明をする機会として、子どもの権利条例に定めている子どもの権利の一つである「主体的に参加する権利」を実現させる。</p> <p>【概要】 広く子どもの意見を聴き、その意見を尊重する場として、子ども・若者会議を開催する。</p>					
事業費（R5～R7）		3,348 千円					
主な実施内容		子ども・若者会議コーディネーター報償費 参加者費用弁償 こどものチャレンジ応援事業				90 千円 258 千円 3,000 千円	
指標①	内容	子ども・若者の意見表明の機会 （市把握分）	単位 回	指標値			
	考え方	子ども・若者の権利が尊重され、安心できる環境の中で子ども・若者が意見を表明し、社会に参加できていることを推し計るものとして設定					
指標②	内容		単位	指標値			
	考え方			初期値 (R4)	R5	R6	R7
指標③	内容		単位	指標値			
	考え方			初期値 (R4)	R5	R6	R7

都市像2 安心して子育てができ、子どもが健やかに育つまち

政策2

瀬戸で学び、 瀬戸で育ててよかったと思えるまちづくり



(1) 政策の展開方向

将来を担う子ども達が、瀬戸で学び健やかに成長していくことは、瀬戸市が未来に向けて、新たな歴史を歩み続けていくことにつながっていきます。

子ども達が幅広い知識や確かな学力を身に付けて成長していくための学習環境の整備に取り組み、「瀬戸で学んでよかった、瀬戸で育ててよかった」とすべての子ども達や保護者に評価されるような小中一貫教育などの新しい学校教育を展開していきます。

また、学校と家庭だけでなく、地域や大学、企業などが連携した教育環境を整えるとともに、スポーツや文化芸術など、心や身体、感性や情操を育てる教育の取組によって、健全に成長することができる社会づくりを目指します。

(2) 政策目標

以下の政策目標を設定し、進捗を測るとともに取組の成果を明確にします。

政策目標	単位	現状 (R4)	目標 (R7)
「学校に行くのは楽しいと思う」と回答した児童生徒の割合	%	小6 : 83.7 (R3) 中3 : 80.7 (R3)	小6 : 95.0 中3 : 90.0
「授業の内容がよくわかる」と回答した児童生徒の割合	%	小6 : 83.4 (R3) 中3 : 74.4 (R3)	小6 : 90.0 中3 : 80.0

(3) 実施事業に係る事業費及び財源内訳

施策名	事業名	令和3年度決算	令和4年度当初予算	令和5~7年度事業費
②-2b	将来を見据えた教育の実施			
	小学校施設整備	312,840千円	128,841千円	3,354,212千円
	中学校施設整備	336,156千円	17,836千円	233,547千円
	菱野団地小中一貫校整備	－千円	6,325千円	1,223,228千円
	小中一貫教育推進	－千円	2,610千円	7,830千円
②-2d	豊かな心の育成			
	適応指導推進	10,603千円	11,284千円	33,852千円
	学校支援	7,201千円	7,598千円	22,785千円
	合計	666,800千円	174,494千円	4,875,454千円

政策に係る財源内訳 (一般会計)	令和4年度当初予算	令和5~7年度事業費
国支出金	14,281千円	912,488千円
県支出金	0千円	141,600千円
市債	32,300千円	1,609,600千円
その他	51,050千円	1,771,194千円
一般財源	76,863千円	440,572千円
合計	174,494千円	4,875,454千円

(4) 具体的な事業内容

【教育政策課】

事業名		小学校施設整備					
総合計画の位置付け		②-2b					
事業目的・概要		<p>【目的】 小学校施設を健全な状態に保つ。</p> <p>【概要】 児童の学習環境を維持、向上させるため、校舎の改修、増築等を行う。また、施設の長寿命化のために必要な工事等を実施する。</p>					
事業費（R5～R7）		3,354,212千円					
主な実施内容		水野小学校長寿命化改良工事（I期）（R5） 効範小学校長寿命化改良工事設計業務委託（R5） 幡山西小学校長寿命化調査業務委託（R6） 効範小学校長寿命化改良工事（I期）（R6） 幡山西小学校長寿命化改良工事設計業務委託（R7） 陶原小学校長寿命化調査業務委託（R7）				507,126千円 13,343千円 5,962千円 426,621千円 13,343千円 5,889千円	
指標①	内容	大規模改修工事（長寿命化改修工事）済校数	単位 校	指標値			
	考え方	大規模改修工事（長寿命化改修工事）の実施状況が計画の実現を図るものと考え、指標として設定					
指標②	内容		単位	指標値			
	考え方						
指標③	内容		単位	指標値			
	考え方						

【教育政策課】

事業名		中学校施設整備					
総合計画の位置付け		②-2b					
事業目的・概要		<p>【目的】 中学校施設を健全な状態に保つ。</p> <p>【概要】 生徒の学習環境を維持、向上させるため、校舎の改修、増築等を行う。また、施設の長寿命化のために必要な工事等を実施する。</p>					
事業費（R5～R7）		233,547千円					
主な実施内容		品野中学校外2校屋内運動場トイレ改修工事設計業務委託（R5） 水無瀬中学校トイレ改修工事（R5） 南山中学校屋内運動場トイレ改修工事（R6） 品野中学校屋内運動場トイレ改修工事（R7）				6,138千円 84,748千円 29,070千円 29,070千円	
指標①	内容	大規模改修工事（長寿命化改修工事）済校数	単位 校	指標値			
	考え方	大規模改修工事（長寿命化改修工事）の実施状況が計画の実現を図るものと考え、指標として設定					
指標②	内容		単位	指標値			
	考え方						
指標③	内容		単位	指標値			
	考え方						

事業名		菱野団地小中一貫校整備					
総合計画の位置付け		②-2b					
事業目的・概要		<p>【目的】 子どもたちの学びや生活に適した学校規模や環境を整え、小中一貫教育を推進する。</p> <p>【概要】 児童生徒が適切な教育環境で学校生活を送れるよう、地域の実情やまちづくりの観点から、学校の適正規模・適正配置を考慮した小中一貫校の整備を進める。</p>					
事業費（R5～R7）		1,223,228千円					
主な実施内容		八幡小学校長寿命化改良等整備工事設計業務委託（R5） 八幡小学校長寿命化改良等整備工事（Ⅰ期）（R6） 八幡小学校長寿命化改良等整備工事（Ⅱ期）（R7） 特別支援学校長寿命化改良工事設計業務委託（R7）			16,830千円 746,882千円 444,853千円 14,663千円		
指標①	内容	適正規模の児童生徒数の割合	単位 %	指標値			
	考え方	子どもたちの学びや生活に適した小・中学校規模や環境が整っていることを表すことから指標として設定					
指標②	内容		単位	初期値（R4）	R5	R6	R7
	考え方						
指標③	内容		単位	初期値（R4）	R5	R6	R7
	考え方						

事業名		小中一貫教育推進					
総合計画の位置付け		②-2b ②-2d、②-3a					
事業目的・概要		<p>【目的】 小中一貫教育として、9年間を見通した系統的な教育活動を推進する。</p> <p>【概要】 義務教育9年間を見通した教育目標を定め、連続性・系統性に配慮した教育を行うことで、児童生徒の「確かな学力」の定着や向上を図るとともに、小中学校相互に乗り入れ授業を行うことで、児童生徒への理解を深め、発達段階に応じたきめ細かい指導を行う。</p>					
事業費（R5～R7）		7,830千円					
主な実施内容		非常勤講師（小中一貫）交通費 （会計年度任用職員 54,156千円）			4,680千円		
指標①	内容	「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる」と回答した児童生徒の割合（小6）	単位 %	初期値（R4） 80.6(R3)	R5 84.0	R6 87.0	R7 90.0
	考え方	課題の発見・解決に向け、他者との協働などを通じて自分の考えを深め、まとめる「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」ができていることが確認できるため、指標として設定					
指標②	内容	「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる」と回答した児童生徒の割合（中3）	単位 %	初期値（R4） 72.8(R3)	R5 79.0	R6 84.5	R7 90.0
	考え方	課題の発見・解決に向け、他者との協働などを通じて自分の考えを深め、まとめる「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」ができていることが確認できるため、指標として設定					
指標③	内容		単位	初期値（R4）	R5	R6	R7
	考え方						

【学校教育課】

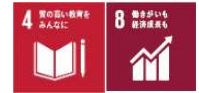
事業名		適応指導推進					
総合計画の位置付け		②-2d ②-2c、②-2g、②-2h、②-2k、②-2l					
事業目的・概要		<p>【目的】 不登校児童生徒の相談・指導を行うことにより、社会的自立に資することを目的とする。</p> <p>【概要】 相談員、指導員、心のアドバイザーを活用して不登校児童生徒の学校復帰を支援するとともに、保護者や児童生徒からの相談に対応するため、学校巡回心理相談員（スクールカウンセラー）を配置する。また、学級診断アセスメント（Q-U）を活用することで、学級集団の状況の把握を行い、担任等の指導の方向性も確認していく。</p>					
事業費（R5～R7）		33,852千円					
主な実施内容		小中学校心理相談事業 小学校心の相談事業（スクールカウンセラー） 学級集団アセスメント調査手数料 （会計年度任用職員 29,511千円）			5,040千円 6,120千円 18,981千円		
指標①	内容	不登校である小学校児童の割合	単位 %	指標値			
	考え方	不登校である小学校児童の割合は、適応指導教室等の実施による小学校への児童の復帰の成果を示すものであると考えるため、指標として設定					
指標②	内容	不登校である中学校生徒の割合	単位 %	初期値（R4） 1.5（R3）	R5 1.2	R6 0.9	R7 0.6
	考え方	不登校である中学校生徒の割合は、適応指導教室等の実施による中学校への生徒の復帰の成果を示すものであると考えるため、指標として設定					
指標③	内容		単位	初期値（R4）	R5	R6	R7
	考え方						

【学校教育課】

事業名		学校支援					
総合計画の位置付け		②-2d ②-2c、②-2g、②-2h、②-2k、②-2l					
事業目的・概要		<p>【目的】 すべての児童生徒が充実した学校生活を送るための支援を行う。</p> <p>【概要】 教育上特別の支援を必要とする全ての児童等に支援を行う特別支援教育支援員の配置、学校・家庭・関係機関との連携を図るためのスクールソーシャルワーカーの配置を行い、学校における様々な問題を解決していく。</p>					
事業費（R5～R7）		22,785千円					
主な実施内容		学校サポーター謝礼 小学校運動促進事業委託費 特別支援教育リーダー養成プログラム開発研究会負担金 （会計年度任用職員：特別支援教育支援員 85,731千円） （会計年度任用職員：スクールソーシャルワーカー 52,104千円）			17,009千円 450千円 300千円		
指標①	内容	特別支援教育支援員の数	単位 人	初期値（R4） 16	R5 18	R6 20	R7 23
	考え方	特別支援教育支援員の数は、特別支援教育支援員の配置によって学校生活において安全確保や個別支援を必要とする児童生徒に対する支援体制が整っていることを示すと考えられるため、指標として設定					
指標②	内容	スクールソーシャルワーカーの配置	単位 ブロック	初期値（R4） 7	R5 7	R6 7	R7 7
	考え方	市内7つの中学校ブロックにスクールソーシャルワーカーを配置することは、地域の特性や小中9年間への支援体制が整っていることを示すと考えられるため、指標として設定					
指標③	内容		単位	初期値（R4）	R5	R6	R7
	考え方						

都市像2 安心して子育てができ、子どもが健やかに育つまち

政策3 多世代が子育てに関わることができるまちづくり



(1) 政策の展開方向

子どもたちが、学校での学びだけでなく、地域や様々な人とのつながり、自然とのふれあいを通じて、変化の激しい社会を生き抜く豊かな創造力、思考力、コミュニケーション能力などを身に着けられるよう、様々な世代・立場の人が子どもの育ちに携わる、地域の中で子どもが育つ仕組みづくりを推進します。

また、地域の歴史文化や経験などを子どもと保護者が一緒に学ぶ機会を設け、高齢者をはじめとする地域住民の生きがいがづくりや、親育ちによる家庭における教育の充実を図ります。

(2) 政策目標

以下の政策目標を設定し、進捗を測るとともに取組の成果を明確にします。

政策目標	単位	現状 (R4)	目標 (R7)
コミュニティ・スクールが設置された中学校ブロック数	ブロック	4	7
子育てが地域の人や社会に支えられていると感じる保護者の割合	%	67.0 (H30)	70.0 (R5)
子育て支援に取り組む地域の数 (サロン・講座・交流イベント等)	組織	25 (H30)	25 (R6)

(3) 実施事業に係る事業費及び財源内訳

施策名	事業名	令和3年度決算	令和4年度当初予算	令和5~7年度事業費
②-3f 地域とともにある学校づくり	コミュニティ・スクール推進	一千円	2,608千円	25,299千円
	合計	一千円	2,608千円	25,299千円

政策に係る財源内訳 (一般会計)	令和4年度当初予算	令和5~7年度事業費
国 支 出 金	0千円	0千円
県 支 出 金	1,138千円	5,213千円
市 債	0千円	0千円
そ の 他	0千円	8,400千円
一 般 財 源	1,470千円	11,686千円
合計	2,608千円	25,299千円

(4) 具体的な事業内容

【学校教育課】

事業名		コミュニティ・スクール推進					
総合計画の位置付け		②-3f ②-2f、②-2g、②-2h、②-3a、②-3g					
事業目的・概要		<p>【目的】 中学校ブロック毎に設定された教育目標を学校と地域が共有し、連携・協働して取り組む。</p> <p>【概要】 地域におけるゆるやかなネットワークを整え、子どもたちの未来創造に向け新しい教育環境づくりを行う。地域連携担当教職員や地域学校協働活動推進員が連携の窓口となり、学校と地域の双方向の連携・協働を行い、教育目標達成に向けた取組を行う。</p>					
事業費（R5～R7）		25,299 千円					
主な実施内容		学校運営協議会委員報酬 地域学校協働活動推進員謝礼 地域未来塾 （会計年度任用職員 8,562 千円）				4,752 千円 4,424 千円 7,200 千円	
指標①	内容	コミュニティ・スクールが設置された中学校ブロック数	単位 ブロック	指標値			
	考え方	中学校ブロック毎で、その中の小中・特別支援学校にコミュニティ・スクールを設置していくことは、学校と地域が共通の目標を持ち、新しい教育環境づくりを行うこととなるため、指標として設定					
指標②	内容		単位	初期値（R4）	R5	R6	R7
	考え方						
指標③	内容		単位	初期値（R4）	R5	R6	R7
	考え方						

都市像2 安心して子育てができ、子どもが健やかに育つまち

政策5

都市基盤整備による居住環境の 魅力向上と未来に向けた良好な環境の継承



(1) 政策の展開方向

子どもたちが安全に通学できる通学路や歩道、快適な公園の整備、自然とのふれあいの場の創出などに努め、子育て世代にとって魅力ある環境づくりを推進します。また、区画整理や小中一貫校整備に伴う学校跡地整備など、都市機能の集約を図りながら、新しいまちづくりを推進します。

(2) 政策目標

以下の政策目標を設定し、進捗を測るとともに取組の成果を明確にします。

政策目標	単位	現状 (R4)	目標 (R7)
官民連携手法による公共施設の更新・整備の件数 (累計)	件	1	5
集約等に伴い減らした公共施設の総面積	m ²	12,133	27,294
「公園など子どもが安心して遊べる場所がある」という項目に対し、「不満」と答える保護者の割合	%	36.7 (H30)	29.0 (R5)

(3) 実施事業に係る事業費及び財源内訳

施策名	事業名	令和3年度決算	令和4年度当初予算	令和5~7年度事業費
②-5a	公園や歩道など子育てのための都市基盤の整備・維持管理			
	菱野中線歩道整備	一千円	一千円	60,000千円
	品野首野線整備	46,901千円	18,100千円	42,100千円
	公園施設整備	143,823千円	194,823千円	598,055千円
②-5b	面的整備事業による新たなまちづくり			
	中水野駅地区区画整理	43,007千円	60,600千円	1,155,718千円
	公共施設再生整備	49,284千円	273,832千円	350,984千円
②-5c	コンパクトシティの推進			
	都市計画等策定	6,198千円	16,756千円	71,889千円
合計		289,213千円	564,111千円	2,278,746千円

政策に係る財源内訳 (一般会計)	令和4年度当初予算	令和5~7年度事業費
国支出金	17,400千円	79,020千円
県支出金	0千円	0千円
市債	14,400千円	90,640千円
その他	26,523千円	813,963千円
一般財源	505,788千円	1,295,123千円
合計	564,111千円	2,278,746千円

(4) 具体的な事業内容

【建設課】

事業名		菱野中線歩道整備					
総合計画の位置付け		②-5a ①-5a、①-5b、③-4j					
事業目的・概要		<p>【目的】 子どもたちが安全・安心に通学できるよう、通学路や歩道を整備し、子育て世代に魅力ある都市基盤を整備する。</p> <p>【概要】 幡山西小学校の通学路として多くの児童が利用している菱野中線について、通学路の安全を確保するため、市道北側に歩道を設置し、歩行空間の確保を行う。</p>					
事業費（R5～R7）						60,000 千円	
主な実施内容		歩道詳細設計業務委託 歩道整備工事				10,000 千円 50,000 千円	
指標①	内容	事業計画（測量・設計）進捗率	単位 %	指標値			
	考え方	事業計画（測量、設計等）は、当該整備の根幹をなす重要な成果であることから事業の進捗を計る指標として設定					
				初期値（R4）	R5	R6	R7
				58	100	-	-
指標②	内容	道路整備率	単位 %	指標値			
	考え方	上記の指標を踏まえ、工事等による供用開始までの進捗を計る指標として設定					
				初期値（R4）	R5	R6	R7
				-	58	58	68
指標③	内容		単位	指標値			
	考え方						
				初期値（R4）	R5	R6	R7

【建設課】

事業名		品野曾野線整備					
総合計画の位置付け		②-5a ①-5a、①-5b					
事業目的・概要		<p>【目的】 子どもたちが安全・安心に通学できるよう、通学路や歩道を整備し、子育て世代に魅力ある都市基盤の整備を目的とする。</p> <p>【概要】 下品野小学校の通学路として多くの児童が利用している品野曾野線について、通学路の安全を確保するため、市道南側に歩道を設置し、歩行空間の確保を行う。</p>					
事業費（R5～R7）						42,100 千円	
主な実施内容		道路改良工事				37,000 千円	
指標①	内容	事業計画（測量・設計）進捗率	単位 %	指標値			
	考え方	事業計画（測量、設計等）は、当該整備の根幹をなす重要な成果であることから事業の進捗を計る指標として設定					
				初期値（R4）	R5	R6	R7
				100	-	-	-
指標②	内容	事業用地取得率	単位 %	指標値			
	考え方	事業用地の取得は、当該整備を行う上で必要不可欠なものであることから事業の進捗を計る指標として設定					
				初期値（R4）	R5	R6	R7
				70	100	-	-
指標③	内容	道路整備率	単位 %	指標値			
	考え方	上記の指標を踏まえ、工事等による供用開始までの進捗を計る指標として設定					
				初期値（R4）	R5	R6	R7
				50	50	100	-

【建設課】

事業名		公園施設整備					
総合計画の位置付け		②-5a					
事業目的・概要		<p>【目的】 公園施設の整備と管理、環境の向上に努めることで、子育て世代が安全で快適に遊べる公園づくりを進める。</p> <p>【概要】 公園の機能を発揮させ、市民が安全かつ快適に利用できるよう都市公園、児童遊園、ちびっこ広場等の整備、管理を行う。</p>					
事業費（R5～R7）		598,055千円					
主な実施内容		都市公園、児童遊園、ちびっこ広場諸修繕 都市公園、児童遊園指定管理料 公園・緑地 樹木剪定伐採・草刈等 環境整備業務委託 都市公園 安全・安心対策事業				39,900千円 93,987千円 132,300千円 140,000千円	
指標①	内容	市民からの要望に対する処理率	単位 %	指標値 初期値 (R4) R5 R6 R7 98 98 98 98			
	考え方	処理率は、市民等からの要望を適切に処理していることを把握できるため、事業効果を計る指標として設定					
指標②	内容		単位	指標値 初期値 (R4) R5 R6 R7			
	考え方						
指標③	内容		単位	指標値 初期値 (R4) R5 R6 R7			
	考え方						

【都市計画課】

事業名		中水野駅地区区画整理					
総合計画の位置付け		②-5b ②-4c、②-5a、②-5c、②-5j					
事業目的・概要		<p>【目的】 中水野駅地区の区画整理事業を促進する。</p> <p>【概要】 愛知環状鉄道中水野駅周辺を、土地区画整理事業により都市施設整備と居住機能や子育て支援機能、商業施設などの新たな都市機能の誘導を図り、水野地域の拠点として整備する。</p>					
事業費（R5～R7）		1,155,718千円					
主な実施内容		事業認可申請図書作成業務 排水路詳細設計業務 排水路整備工事 土壌汚染調査業務 中水野駅周辺土地区画整理事業助成金				10,956千円 45,000千円 227,700千円 15,400千円 837,093千円	
指標①	内容	事業進捗率	単位 %	指標値 初期値 (R4) R5 R6 R7 50 100 - -			
	考え方	面的整備計画の事業進捗率を指標として設定 仮同意取得：25%、都市計画決定：50%、本同意取得：75%、事業認可取得：100%					
指標②	内容		単位	指標値 初期値 (R4) R5 R6 R7			
	考え方						
指標③	内容		単位	指標値 初期値 (R4) R5 R6 R7			
	考え方						

【政策推進課】

事業名		公共施設再生整備					
総合計画の位置付け		②-5b ③-3f、行政-b					
事業目的・概要		<p>【目的】 瀬戸市公共施設等総合管理計画の適正な推進と進行管理を行う。</p> <p>【概要】 瀬戸市公共施設等総合管理計画を推進する観点から、公共施設等の集約を図るため、関連施設整備を行うとともに、小中一貫校整備に伴う学校跡地整備の際の事務手法の一つとして、官民連携手法を有効に活用する。</p>					
事業費（R5～R7）		350,984千円					
主な実施内容		本山中学校跡地用地借上料 古瀬戸小学校周辺道路整備工事 祖母懐小学校跡地公園整備事業	78,963千円 80,000千円 80,000千円				
指標①	内容	学校跡地活用の実績数(累計)	単位 件	指標値			
	考え方	小中一貫校整備に伴い生ずる学校跡地について、跡地活用の実績によって、進捗確認ができることから指標として設定					
指標②	内容	官民連携手法による公共施設の更新・整備の件数(累計)	単位 件	初期値(R4)	R5	R6	R7
	考え方	公共施設の再生整備について、官民連携手法の導入によって、効率的かつ効果的な事業検討・実施につながると考えられることから指標として設定					
指標③	内容	既存施設の集約等により減少した公共施設の延床面積(累計)	単位 ㎡	初期値(R4)	R5	R6	R7
	考え方	公共施設の再生整備について、既存施設の集約等によって、公共施設全体の維持に係る将来負担の低減につながると考えられることから指標として設定					

【都市計画課】

事業名		都市計画等策定					
総合計画の位置付け		②-5c ①-5d、①-5e					
事業目的・概要		<p>【目的】 都市計画マスタープランで示した「多極ネットワーク型コンパクト構造」の実現に向け、持続可能な都市経営を行っていくため、コンパクトな都市づくりを行うことを目的とする。</p> <p>【概要】 都市計画マスタープランに即し、都市計画と公共交通の一体化を図りつつ、コンパクトな都市づくりを進め、人口減少や財政の適正化など社会情勢の変化を見据えて都市計画道路の見直し等を行う。</p>					
事業費（R5～R7）		71,889千円					
主な実施内容		都市計画支援システム運用業務委託 都市計画基礎調査 都市計画道路見直し業務委託 瀬戸市都市計画基本図作成業務委託 瀬戸市都市計画マスタープラン策定業務委託 瀬戸市都市交通マスタープラン策定業務委託	2,481千円 5,533千円 7,447千円 23,149千円 10,000千円 7,000千円				
指標①	内容	立地適正化計画策定地区数	単位 地区	初期値(R4)	R5	R6	R7
	考え方	コンパクトな都市づくりの実現に向け、都市計画マスタープランに位置づけられている中心拠点及び地域拠点に係る居住者と都市機能誘導施設の集約状況を把握することができるため、事業効果を測る指標として設定					
指標②	内容		単位	初期値(R4)	R5	R6	R7
	考え方						
指標③	内容		単位	初期値(R4)	R5	R6	R7
	考え方						

都市像3 地域に住まう市民が自立し支え合い、笑顔あふれるまち

政策1 誰もがいきいきと、健康に暮らすことができるまちづくり



(1) 政策の展開方向

市民が主体的な健康づくりに取り組めるように、保健推進員や食生活改善推進員を育成するとともに、健康に関する情報提供を積極的に行い、自主的に健康診査を受診することで、疾病の早期発見等につなげ、健康増進及び医療費適正化を図ります。また、介護予防事業を活用し、高齢者がいつまでも健康に生活ができるよう、各種支援を展開します。

(2) 政策目標

以下の政策目標を設定し、進捗を測るとともに取組の成果を明確にします。

政策目標	単位	現状 (R4)	目標 (R7)
瀬戸市国民健康保険 特定健康診査受診率	%	40.3	60

(3) 実施事業に係る事業費及び財源内訳

施策名	事業名	令和3年度決算	令和4年度当初予算	令和5~7年度事業費
③-1a 市民の主体的な健康づくりの推進	健康づくり推進	2,317千円	2,594千円	13,381千円
	疾病予防（糖尿病性腎症重症化予防事業等） 【国民健康保険事業特別会計】	17,065千円	23,518千円	79,536千円
	高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施	－千円	－千円	8,589千円
③-1c 市民の健（検）診受診率向上	がん検診	281,346千円	303,630千円	910,920千円
③-1e 介護予防事業の推進	介護予防・生活支援サービス （介護予防・日常生活支援総合事業） 【介護保険事業特別会計】	329,404千円	337,516千円	1,024,749千円
	合計	630,132千円	667,258千円	2,037,175千円

政策に係る財源内訳（一般会計）	令和4年度当初予算	令和5~7年度事業費
国支出金	1,548千円	4,644千円
県支出金	0千円	0千円
市債	0千円	0千円
その他	5,883千円	28,731千円
一般財源	298,793千円	899,515千円
合計	306,224千円	932,890千円

(4) 具体的な事業内容

【健康課】

事業名		健康づくり推進					
総合計画の位置付け		③-1a ①-4f、③-1b					
事業目的・概要		<p>【目的】 いきいき瀬戸21の目標を達成するための健康施策を総合的に推進する。</p> <p>【概要】 健康増進法等に基づく健診の対象とならない30歳から39歳までの女性で、かつ国民健康保険以外の健康保険に加入している方を対象に、疾病の早期発見及び予防の啓発を行う。地域の健康づくりの担い手である保健推進員（毎年）及び食生活改善推進員（隔年）の養成を行う。生活習慣病予防のためのせといきいき健康グルメ事業を実施する。健康マイレージ事業を通して、市民自ら主体的に健康づくりに取り組むことができるようにする。</p>					
事業費（R5～R7）		13,381千円					
主な実施内容		いきいき瀬戸21計画 評価・策定事務費等	5,742千円				
		女性の健康診査 委託料	2,893千円				
		せといきいき健康グルメ事業	1,494千円				
		9020表彰式	135千円				
		せと健康マイレージ事業	2,118千円				
		食生活改善推進員養成講座	174千円				
指標①	内容	女性の健診受診率	単位 %	指標値			
	考え方	職域等で健康診査を受ける機会が少ない30代女性に健康診査を行うことは、健康状態の確認の機会と健康意識の高揚につながることから指標として設定					
指標②	内容	新規の保健推進員及び食生活改善推進員の養成者数	単位 人	初期値(R4)	R5	R6	R7
	考え方	保健推進員と食生活改善推進員の養成講座を計画的に行うことにより、健康意識の高い市民が増えていくことから指標として設定					
指標③	内容	健康づくり応援カード「MyCa（まいか）」の発行枚数	単位 枚	初期値(R4)	R5	R6	R7
	考え方	健康づくり事業に参加し、自らの健康づくりの行動をポイントと結び付けて実践した方に発行するものであり、市民の健康行動を促すことができるため、指標として設定					

【国保年金課】

事業名		疾病予防（糖尿病性腎症重症化予防事業等）【国民健康保険事業特別会計】					
総合計画の位置付け		③-1a ③-1b、③-1c、③-1d					
事業目的・概要		<p>【目的】 被保険者の健康の増進及び医療費の適正化を促進する。</p> <p>【概要】 腎不全・人工透析への移行を防止するため、国の示す糖尿病性腎症重症化予防プログラムを実施する。また、30歳から39歳までの被保険者を対象として、生活習慣病予防健診（短期人間ドック）を実施する。その他、がんの早期発見促進のため、がん検診自己負担金を一部助成する。</p>					
事業費（R5～R7）		79,536千円					
主な実施内容		糖尿病性腎症重症化予防		14,841千円			
		がん検診自己負担金助成		15,612千円			
指標①	内容	個別指導等で保健指導を受けた者の、検査数値の改善割合	単位 %	初期値(R4)	R5	R6	R7
	考え方	保健指導を受けた者についてHbA1c、血糖値等が改善することが引いては糖尿病性腎症の重症化予防に帰するため設定					
指標②	内容		単位	初期値(R4)	R5	R6	R7
	考え方						
指標③	内容		単位	初期値(R4)	R5	R6	R7
	考え方						

【国保年金課】

事業名		高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施				
総合計画の位置付け		③-1a ③-1b、③-1c、③-1d				
事業目的・概要		<p>【目的】</p> <p>高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施の枠組みの中で、フレイル予防として適切な保健指導・啓発等を実施し、国民保健の向上及び高齢者の健康福祉増進を図る。</p> <p>【概要】</p> <p>フレイル予防として疾病予防と生活機能維持に対応するため、ハイリスクアプローチ及びポピュレーションアプローチの両面から、健康課題に応じたきめ細やかな保健指導・啓発等を行う。</p>				
事業費（R5～R7）		8,589千円				
主な実施内容		ポピュレーションアプローチ（報償費・需用費）	3,390千円			
		ハイリスクアプローチ（役務費・委託料）	5,199千円			
指標①	内容	ポピュレーションアプローチの実施回数	単位 回	指標値		
	考え方	ポピュレーションアプローチ（通いの場等におけるフレイル予防のための保健指導・啓発等）の実施回数は、国民保健の向上及び福祉増進が図られていることを示す数値として考えられることから、事業効果を測る指標として設定				
指標②	内容		単位	指標値		
	考え方					
指標③	内容		単位	指標値		
	考え方					

【健康課】

事業名		がん検診				
総合計画の位置付け		③-1c ①-4f、②-1b、③-1a				
事業目的・概要		<p>【目的】</p> <p>胃がん、子宮頸がん、肺がん、乳がん、大腸がん、前立腺がん検診を実施して「がん」の早期発見及び早期治療を目指して、健康寿命の延伸及び医療費の抑制を目的とする。</p> <p>【概要】</p> <p>胃がん、子宮頸がん、肺がん、乳がん、大腸がん、前立腺がん検診を実施する。また、要精密検査となった方が、精密検査の未受診とならないように確認、受診勧奨をする。</p>				
事業費（R5～R7）		910,920千円				
主な実施内容		各がん検診委託料	910,920千円			
指標①	内容	子宮頸がん HPV 受診率	単位 %	指標値		
	考え方	子宮頸がん検診に HPV 検診をオプションで実施することにより、受診率の向上につながると考えられることから指標として設定				
指標②	内容	胃がん検診事業評価指標に基づくがん発見率	単位 %	指標値		
	考え方	がん検診の目的であるがんの発見について、厚生労働省が定めている検診の評価指標に基づいてがん発見者を算定し（胃がん検診：0.11%以上）、指標として設定				
指標③	内容	肺がん検診事業評価指標に基づくがん発見率	単位 %	指標値		
	考え方	がん検診の目的であるがんの発見について、厚生労働省が定めている検診の評価指標に基づいてがん発見者を算定し（肺がん検診：0.03%以上）、指標として設定				

事業名		介護予防・生活支援サービス（介護予防・日常生活支援総合事業）【介護保険事業特別会計】				
総合計画の位置付け		③-1e ③-2a、③-2d				
事業目的・概要		<p>【目的】 従来の介護予防給付から地域支援事業への移行に伴い、地域の実情に応じた多様な介護サービスを提供することにより、要支援者等に対する効果的な支援を行う。</p> <p>【概要】 介護予防・日常生活支援総合事業として、要支援者等に対して、緩和されたサービス（生活支援訪問サービス・生活支援通所サービス）を提供する。</p>				
事業費（R5～R7）				1,024,749千円		
主な実施内容		介護予防・生活支援サービス事業負担金		1,024,749千円		
指標①	内容	生活支援訪問サービス年間利用件数	単位 件	指標値		
				初期値（R4） 2,591	R5 3,300	R6 3,400
					R7 3,500	
	考え方	生活支援訪問サービスは自立に向けた生活習慣の改善を目的としたサービスであることから、利用件数の増加が医療費及び介護給付費の削減につながるものと考えられることから、指標として設定				
指標②	内容	生活支援通所サービス年間利用件数	単位 件	指標値		
				初期値（R4） 232	R5 200	R6 210
					R7 220	
	考え方	生活支援通所サービスは心身機能の向上を目的としたサービスであることから、利用件数の増加が医療費及び介護給付費の削減につながるものと考えられることから、指標として設定				
指標③	内容		単位	指標値		
				初期値（R4）	R5	R6
						R7
	考え方					

都市像3 地域に住まう市民が自立し支え合い、笑顔あふれるまち

政策2

高齢者が生きがいを持って活躍し、 支えあいにより、安心して暮らせるまちづくり



(1) 政策の展開方向

高齢者が地域で自分らしく過ごせるよう、地域包括ケアシステムの推進や各種支援を展開するとともに、高齢者見守りシステムの導入や一人暮らし高齢者の新たな移動手段の検討、高齢者が活躍できる環境づくりなどを推進します。

また、認知症当事者やその家族が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、認知症予防の取組に加え、認知症の早期判断・早期対応、認知症に関する周知・啓発などを推進します。

(2) 政策目標

以下の政策目標を設定し、進捗を測るとともに取組の成果を明確にします。

政策目標	単位	現状 (R4)	目標 (R7)
自立高齢者の割合	%	83.6%	85.0%

(3) 実施事業に係る事業費及び財源内訳

施策名	事業名	令和3年度決算	令和4年度当初予算	令和5~7年度事業費
③-2a	地域包括ケアシステムの構築			
	介護予防普及啓発 (介護予防・日常生活支援総合事業) 【介護保険事業特別会計】	2,149千円	4,311千円	13,473千円
	地域介護予防活動支援 【介護保険事業特別会計】	6,116千円	7,052千円	28,482千円
	高齢者移動支援推進	1,287千円	3,200千円	6,450千円
	高齢者見守りシステム構築 【介護保険事業特別会計】	15,761千円	17,824千円	53,688千円
③-2e	認知症高齢者と家族の支援			
	認知症総合支援【介護保険事業特別会計】	12,410千円	12,640千円	44,082千円
	認知症個人賠償責任保険	一千円	442千円	1,326千円
	ピアサポーター育成支援	148千円	196千円	588千円
合計		37,871千円	45,665千円	148,089千円

政策に係る財源内訳 (一般会計)	令和4年度当初予算	令和5~7年度事業費
国支出金	0千円	3,225千円
県支出金	3,396千円	588千円
市債	0千円	0千円
その他	0千円	0千円
一般財源	442千円	4,551千円
合計	3,838千円	8,364千円

(4) 具体的な事業内容

【高齢者福祉課】

事業名		介護予防普及啓発（介護予防・日常生活支援総合事業）【介護保険事業特別会計】					
総合計画の位置付け		③-2a ③-1e、③-2d					
事業目的・概要		<p>【目的】 従来の介護予防給付から地域支援事業への移行に伴い、地域の実情に応じた多様な介護サービスを提供することにより、要支援者等に対する効果的な支援を行う。</p> <p>【概要】 介護予防・日常生活支援総合事業として、地域において介護予防教室を実施する。</p>					
事業費（R5～R7）		13,473千円					
主な実施内容		介護予防教室（口腔）委託料（7包括支援センター） 大人の充活！ワンコイントレーニング委託料 大人のスポーツ健康カレッジ委託料				2,232千円 6,156千円 3,900千円	
指標①	内容	介護予防教室（口腔）開催数	単位 回	指標値			
	考え方	地域包括ケアシステムの推進のため、地域包括支援センターで、定期的に毎年1回開催することで、介護予防に資する取組となることから指標として設定					
指標②	内容	大人の充活！ワンコイントレーニング開催数	単位 回	初期値（R4） 7	R5 7	R6 7	R7 7
	考え方	地域包括ケアシステムの推進のため、地域の実情に合わせ、毎月開催することで、介護予防に資する取組となることから指標として設定					
指標③	内容	大人のスポーツ健康カレッジ参加者数	単位 人	初期値（R4） 90	R5 90	R6 90	R7 90
	考え方	サービス利用者数の増加が、医療費削減及び介護費用の削減につながるため、指標として設定					

【高齢者福祉課】

事業名		地域介護予防活動支援【介護保険事業特別会計】					
総合計画の位置付け		③-2a ③-1e、③-3e、③-2d					
事業目的・概要		<p>【目的】 身近な地域で介護予防を目的とした講座等を開催し、介護予防を図る。</p> <p>【概要】 地域が主催する講座に介護予防の専門家を派遣し、身近な地域で介護予防に取り組む環境づくりを行う。</p>					
事業費（R5～R7）		28,482千円					
主な実施内容		介護予防・生活支援員養成研修 講師報償費 地域はつらつ講座 委託料（7包括支援センター） 地域サロン委託料 元気高齢者サポーター養成講座 委託料 高齢者地域コミュニティ参加促進事業				216千円 1,260千円 19,071千円 585千円 7,323千円	
指標①	内容	サロン・まごころ年間参加者数	単位 人	初期値（R4） 720	R5 1,080	R6 1,440	R7 1,440
	考え方	参加者数は、通いの場に参加した人数を示すものと考えられることから、指標として設定					
指標②	内容	元気高齢者サポーター養成事業受講者数	単位 人	初期値（R4） 20	R5 20	R6 20	R7 20
	考え方	参加者数は、サポーターとして活躍する高齢者数を示すものと考えられることから、指標として設定					
指標③	内容		単位	初期値（R4）	R5	R6	R7
	考え方						

事業名		高齢者移動支援推進					
総合計画の位置付け		③-2a ③-2d、③-2f					
事業目的・概要		<p>【目的】 高齢者の生きがいがづくり及び介護予防と連動した移動支援のあり方を検討し、高齢者が過度に自家用車に依存しなくても生活できる環境の整備や外出機会の創出を目的とする。</p> <p>【概要】 高齢者が過度に自家用車に依存しなくても生活できる環境の整備や外出機会の創出を目的とした移動手段の実証を行う。</p>					
事業費（R5～R7）						6,450千円	
主な実施内容		移動支援実証実験委託料				6,450千円	
指標①	内容	外出機会の創出	単位	指標値			
			回	初期値（R4）	R5	R6	R7
				20	27	36	36
	考え方	高齢者を対象とした外出機会の創出は本事業の目的であるため指標として設定					
指標②	内容	1回あたりの参加者数	単位	指標値			
			人	初期値（R4）	R5	R6	R7
				8	8	8	8
	考え方	1回あたりの参加者数は高齢者同士の交流の推進につながるため指標として設定					
指標③	内容		単位	指標値			
				初期値（R4）	R5	R6	R7
	考え方						

事業名		高齢者見守りシステム構築【介護保険事業特別会計】					
総合計画の位置付け		③-2a ③-2e、③-2f、③-4h、③-4i					
事業目的・概要		<p>【目的】 ひとり暮らし高齢者等の安否確認や認知症症状の早期発見のためのシステムを構築することにより、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることのできる「地域包括ケアシステム」の深化・推進を図る。</p> <p>【概要】 ICTを活用したひとり暮らし高齢者等の安否確認や認知症症状の早期発見のためのシステムを構築し、ひとり暮らし高齢者等の世帯に機材を設置する。</p>					
事業費（R5～R7）						53,688千円	
主な実施内容		高齢者見守りシステム体制整備事業 災害時支援台帳兼高齢者世帯票整備事業				47,748千円 5,940千円	
指標①	内容	見守りシステム登録件数	単位	指標値			
			件	初期値（R4）	R5	R6	R7
				100	110	120	130
	考え方	ひとり暮らし高齢者の安心安全につながる指標と考えられるため設定					
指標②	内容		単位	指標値			
				初期値（R4）	R5	R6	R7
	考え方						
指標③	内容		単位	指標値			
				初期値（R4）	R5	R6	R7
	考え方						

事業名		認知症総合支援【介護保険事業特別会計】				
総合計画の位置付け		③-2e ③-2a、③-2b				
事業目的・概要		<p>【目的】 認知症総合支援事業として、認知症の方やその家族が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう支援する。</p> <p>【概要】 認知症の早期診断・早期対応を目的とする認知症初期集中支援チームや、認知症の方やその家族をサポートする認知症地域支援推進員を設置する。</p>				
事業費（R5～R7）		44,082千円				
主な実施内容		初期集中支援チーム委託料（7地域包括支援センター）	21,000千円			
		認知症サポーター活動促進事業 委託料	5,232千円			
		認知症地域支援推進員委託料	12,099千円			
		認知症啓発チラシ 作成費	687千円			
		認知症ケアパス 作成費	897千円			
指標①	内容	認知症高齢者への訪問回数（モニタリング回数）	単位 回	指標値		
	考え方	認知症高齢者への訪問等回数が、認知症高齢者が住み馴れた地域の生活が継続できるように支援した結果と想定されることから、指標として設定		初期値（R4） 60	R5 60	R6 60
指標②	内容	認知症初期集中支援チームの症例会議数	単位 回	指標値		
	考え方	認知症初期集中支援チームの症例会議を実施することで、医療や介護に繋がっていない認知症高齢者の早期発見や早期対応につながると想定されることから、指標として設定		初期値（R4） 23	R5 23	R6 23
指標③	内容		単位	指標値		
	考え方			初期値（R4）	R5	R6

事業名		認知症個人賠償責任保険				
総合計画の位置付け		③-2e ③-2a、③-2b				
事業目的・概要		<p>【目的】 高齢化に伴い、認知症の方が増加している社会環境を踏まえ、ひとり歩きをしてしまう認知症の方やその家族が安心して暮らすことができる社会の実現を目的とする。</p> <p>【概要】 認知症の方が加入する個人賠償責任保険費用を負担する。（おかえりサポート事業の登録を条件）</p>				
事業費（R5～R7）		1,326千円				
主な実施内容		認知症個人賠償責任保険事業			1,326千円	
指標①	内容	認知症個人賠償責任保険事業登録者数	単位 人	指標値		
	考え方	ひとり歩きをしてしまう認知症の方やその家族の安心安全に繋がるため、指標として設定		初期値（R4） 100	R5 200	R6 200
指標②	内容		単位	指標値		
	考え方			初期値（R4）	R5	R6
指標③	内容		単位	指標値		
	考え方			初期値（R4）	R5	R6

事業名		ピアサポーター育成支援			
総合計画の位置付け		③-2e ③-2a、③-2b			
事業目的・概要		<p>【目的】 認知症当事者に対し、心理面・生活面に関する早期支援、認知症当事者による相談活動支援を行うピアサポーターの育成を目的とする。</p> <p>【概要】 ピアサポーター育成のため、交流会などの開催や市民への周知を行う。</p>			
事業費（R5～R7）		588 千円			
主な実施内容		ピアサポーター育成支援事業 報償費	180 千円		
		ピアサポーター育成支援事業 交通費	72 千円		
		ピアサポーター育成支援事業 チラシ作成	216 千円		
指標①	内容	ピアサポーター育成のための交流会の開催回数	単位 件	指標値	
	考え方	ピアサポーター育成のための交流会を実施することで、認知症当事者が心理面、生活面に関する早期からの支援につながると想定されることから、指標として設定	初期値（R4）	R5	R6
			-	12	12
指標②	内容		単位	指標値	
	考え方		初期値（R4）	R5	R6
指標③	内容		単位	指標値	
	考え方		初期値（R4）	R5	R6

都市像3 地域に住まう市民が自立し支え合い、笑顔あふれるまち

政策3

誰もが自立し、地域で支えあいながら 生きがいをもって安心して暮らせるまちづくり



(1) 政策の展開方向

障害者、高齢者、生活困窮者など支援を必要とする人が利用しやすい福祉サービスの提供を図り、情報提供や相談体制の充実、サービスの利用促進、効率化、質の向上を進めていきます。包括圏域内にモデル地区において、「障害者支援センター」を設置し、障害者やそのご家族が、身近に安心して相談できる相談支援体制を整えます。新たなセンターは、市役所内に設置されている「瀬戸市障がい者相談支援センター」と連携し、必要に応じて障害者やそのご家族に伴走して関係機関との繋ぎ役を果たします。

地域の多種多様な課題に対して、市民と行政が各々の特性を尊重するとともに、適切な役割分担によって、自助・共助・公助によるまちづくりを推進します。また、菱野団地において、新たなまちづくりにつながる住民協働プロジェクトを引き続き推進し、定住の促進に取り組みます。

(2) 政策目標

以下の政策目標を設定し、進捗を測るとともに取組の成果を明確にします。

政策目標	単位	現 状 (R4)	目 標 (R7)
医療介護福祉統合ネットワーク「瀬戸旭もーやっこネットワーク」に登録した医療的ケア児の登録者数	人	31	36
瀬戸市障がい者相談支援センターの相談者数（のべ人数）	人	2,372	3,750
計画相談支援利用者数（支給決定者数）	人	700	740
市民との協働による事業数	件	52	54
各地域力組織が行う活動事業数	件	132	181
菱野団地（原山台連区・萩山台連区・八幡台連区）の人口	人	10,804	12,899
菱野団地（原山台連区・萩山台連区・八幡台連区）の40歳未満人口の割合	%	26.1	33.5

(3) 実施事業に係る事業費及び財源内訳

施策名	事業名	令和3年度決算	令和4年度当初予算	令和5~7年度事業費
③-3a	地域生活支援事業の効果的な実施			
	在宅医療介護連携推進	一千円	2,212千円	4,644千円
	障害者相談支援	27,300千円	37,594千円	112,782千円
③-3h	市民活動の推進と拡充への支援			
	まちの課題解決活動応援補助金	10,789千円	15,000千円	45,000千円
	菱野団地再生計画推進	7,554千円	5,828千円	6,775千円
合 計		45,643千円	60,634千円	169,201千円

政策に係る財源内訳（一般会計）	令和4年度当初予算	令和5~7年度事業費
国 支 出 金	12,315千円	31,804千円
県 支 出 金	5,254千円	15,234千円
市 債	0千円	0千円
そ の 他	0千円	0千円
一 般 財 源	43,065千円	122,163千円
合 計	60,634千円	169,201千円

(4) 具体的な事業内容

【社会福祉課】

事業名		在宅医療介護連携推進					
総合計画の位置付け		③-3a ②-1g、②-1h					
事業目的・概要		<p>【目的】 障害のある人や子どもへの在宅医療の体制を整備する。</p> <p>【概要】 医療的ケアが必要な子どもの療育や、障害のある人の在宅療養のため、もーやっこネットワークを活用する。</p>					
事業費（R5～R7）		4,644千円					
主な実施内容		在宅医療介護連携推進事業委託			4,644千円		
指標①	内容	「瀬戸旭もーやっこネットワークシステム」に登録した医療的ケア児の人数	単位 人	指標値			
	考え方	瀬戸旭もーやっこネットワークシステムに登録し、利用することで、情報連携が進み支援体制の強化につながることから、同システムに登録した医療的ケア児の数を指標として設定					
指標②	内容		単位	指標値			
	考え方						
指標③	内容		単位	指標値			
	考え方						

【社会福祉課】

事業名		障害者相談支援					
総合計画の位置付け		③-3a ②-1g、②-1h、③-3b					
事業目的・概要		<p>【目的】 地域に根差した相談支援体制の構築を図る。</p> <p>【概要】 瀬戸市障がい者相談支援センターにおいて、人員を5名から6名に増員し、障害者の相談に応じ、情報提供や福祉サービスの利用調整など必要な援助を行っている。また、身近な地域での相談支援を行うため、やすらぎ包括圏域に障がい者相談センターを新たに設置し、瀬戸市障がい者相談支援センターと連携することで障害者等と関係機関を繋ぐ役割を果たしている。</p>					
事業費（R5～R7）		112,782千円					
主な実施内容		障害者相談支援事業委託 包括圏域障害者相談支援委託			81,900千円 30,882千円		
指標①	内容	瀬戸市障がい者相談支援センターの相談者数（のべ人数）	単位 人	指標値			
	考え方	障害者等からの相談に対応する機関である「瀬戸市障がい者相談支援センター」の利用増加が障害者の相談支援体制構築の充実と判断できるため、相談者数を指標として設定					
指標②	内容	計画相談支援利用者数（支給決定者数）	単位 人	指標値			
	考え方	障害者が利用する福祉サービス提供に必要な計画相談が増加することで、障害者が必要とするサービス利用につながることから、指標として設定					
指標③	内容		単位	指標値			
	考え方						

【まちづくり協働課】

事業名		まちの課題解決活動応援補助金					
総合計画の位置付け		③-3h ②-3a、②-3h、③-2c、③-2d、③-3d、③-3e、③-4b、③-4i、③-4j、③-5f					
事業目的・概要		<p>【目的】</p> <p>多様化し、複雑化する地域課題に応じていくために、市民と行政がお互いを尊重しつつ、対等な関係のもとで協働をすすめ、お互いの特性を活かし「役割」と「責任」を明確にして行う活動の推進を図る。</p> <p>【概要】</p> <p>市民・地域が主体的にまちの課題解決を図るために行う活動及び市民・地域と行政が「協働」の理念のもとに行う活動に対して、活動費用の一部を助成する。</p>					
事業費（R5～R7）		45,000千円					
主な実施内容		瀬戸まちの課題解決応援補助金 地域力向上活動推進		6,000千円 39,000千円			
指標①	内容	各組織が行う地域力向上活動 事業数	単位 件	指標値			
	考え方	地域力向上活動事業数の増加は、地域課題の解決に向け新たな取り組みを進めた結果によるものと想定されることから、事業の効果を図る指標として設定					
指標②	内容	地域力向上活動を紹介するホームページのアクセス数	単位 件	初期値（R4） 11,496	R5 32,400	R6 33,000	R7 33,600
	考え方	ホームページへのアクセス数の増加は、市民の地域力に対する関心度の高まりを示すものと想定されることから、事業の効果を図る指標として設定					
指標③	内容	市内NP0法人数	単位 件	初期値（R4） 36	R5 37	R6 37	R7 38
	考え方	市民活動の公益性が高まり、事業の発展、拡大が図られていることを示す指標として設定					

【都市計画課】

事業名		菱野団地再生計画推進					
総合計画の位置付け		③-3h ②-5c					
事業目的・概要		<p>【目的】</p> <p>平成30年度に策定した菱野団地再生計画にて示したハード・ソフトのまちづくりを進め、定住促進につなげることを目的とする。</p> <p>【概要】</p> <p>菱野団地再生計画に基づき、住民との協働で再生に向けた先行プロジェクト及び中・長期計画を進めるとともに、菱野団地再生計画推進協議会にて再生計画の進捗管理を行う。</p>					
事業費（R5～R7）		6,775千円					
主な実施内容		菱野団地エリアマネジメント団体活動拠点改修整備費		5,000千円			
指標①	内容	再生に向けた先行プロジェクトの 進捗率	単位 %	初期値（R4） 87	R5 87	R6 93	R7 93
	考え方	協議会の設立、エリアマネジメント団体の設立、センター地区における賑わい創出事業の実施、活動拠点の整備、中央広場の改修等、団地再生に必要な短期的な取組の進捗状況を把握できるため、指標として設定					
指標②	内容	再生に向けた中・長期計画の進捗率	単位 %	初期値（R4） 30	R5 30	R6 30	R7 40
	考え方	センター地区の機能強化、アクセスの改善、駐車環境の改善、回廊式歩道橋などの整備・修繕、防犯灯などの施設整備等、団地再生に必要な中・長期的な取組の進捗状況を把握できるため、指標として設定					
指標③	内容		単位	初期値（R4）	R5	R6	R7
	考え方						

都市像3 地域に住まう市民が自立し支え合い、笑顔あふれるまち

政策4 地域の生活環境の向上と安全・安心な地域づくり



(1) 政策の展開方向

ごみの減量や環境美化に向け、「せと環境塾」による環境講座や教育現場での環境に関する内容を取り入れた授業カリキュラムの実施など、市民・事業者の環境意識の向上につながる取組を進めます。

また、安全・安心な地域づくりに向け、「せと市民総ぐるみ防災訓練」の実施、火災予防や応急手当の普及啓発による地域防災力の向上を図るとともに、地域コミュニティとの一層の協働によって、これまで以上に避難情報の発令や伝達等を円滑に実施できる体制を構築します。

(2) 政策目標

以下の政策目標を設定し、進捗を測るとともに取組の成果を明確にします。

政策目標	単位	現状 (R4)	目標 (R7)
ごみ総量（資源物除く、事業系含む）	t	34,268	27,975
出火率	件/万人	1.49	2.9
せと市民総ぐるみ防災訓練への参加世帯	世帯	18,997	24,000

(3) 実施事業に係る事業費及び財源内訳

施策名	事業名	令和3年度決算	令和4年度当初予算	令和5~7年度事業費
③-4c	ごみ減量の促進・一般廃棄物の収集運搬			
	資源ごみ分別処理	411,449千円	478,103千円	2,165,784千円
③-4e	公共衛生に関わる公共施設の適正な管理・運営			
	ごみ処理施設建設対策	1,499千円	1,665千円	15,261千円
③-4h	消防・救急体制の充実			
	消防新庁舎整備	－千円	－千円	151,086千円
	名古屋市等との消防指令業務共同運用	850千円	21,623千円	400,346千円
③-4i	地域防災力の向上			
	防災情報収集・伝達	5,924千円	73,049千円	22,859千円
	火災予防・防災指導	4,204千円	3,672千円	11,784千円
合計		423,926千円	578,112千円	2,767,120千円

政策に係る財源内訳（一般会計）	令和4年度当初予算	令和5~7年度事業費
国支出金	35,585千円	0千円
県支出金	600千円	1,800千円
市債	21,600千円	360,100千円
その他	31,932千円	1,017,645千円
一般財源	488,395千円	1,387,575千円
合計	578,112千円	2,767,120千円

(4) 具体的な事業内容

【環境課】

事業名		資源ごみ分別処理				
総合計画の位置付け		③-4c				
事業目的・概要		【目的】 晴丘センターへのごみの搬出量の削減や北丘処分場の延命を目的とする。 【概要】 分別収集を実施し、資源化を推進する。				
事業費（R5～R7）		2,165,784千円				
主な実施内容		可燃ごみ収集運搬業務委託 R4-8 債務負担行為済 びん・缶・ペットボトル収集運搬業務委託 R4-8 債務負担行為済 紙類・古布収集運搬業務委託 R4-8 債務負担行為済 プラスチック製容器包装収集運搬業務委託 剪定枝資源化業務委託		622,194千円 272,433千円 227,085千円 170,040千円 131,520千円		
指標①	内容	ごみの資源化率	単位 %	指標値		
				初期値 (R4)	R5	R6
				14	26	26
	考え方	ごみの分別収集の促進により資源化率が向上すると考えられるため、指標として設定				
指標②	内容	家庭系ごみ量（資源物除く）	単位 t	指標値		
				初期値 (R4)	R5	R6
				25,695	22,185	22,185
	考え方	燃えるごみ、燃えないごみに混入していた資源物が分別されると、晴丘センターへの搬入量が減ると考えられるため、指標として設定				
指標③	内容		単位	指標値		
				初期値 (R4)	R5	R6
	考え方					

【環境課】

事業名		ごみ処理施設建設対策				
総合計画の位置付け		③-4e ③-4c				
事業目的・概要		【目的】 晴丘センター（尾張東部衛生組合）の長寿命化工事及び更新工事にかかる費用負担の削減を目的とする。 【概要】 ごみ減量対策、受益者負担対策等の検討を行う。				
事業費（R5～R7）		15,261千円				
主な実施内容		ごみ減量促進に係る事業費 組成調査業務委託		7,698千円 2,706千円		
指標①	内容	家庭系ごみ（資源物は除く） 原単位	単位 g	指標値		
				初期値 (R4)	R5	R6
				548	483	483
	考え方	ごみ減量対策のために行う啓発については、家庭から出されるごみ（資源物は除く）の排出量原単位による効果を検証するため、指標として設定				
指標②	内容	ごみ総量（資源物除く、事業系含む）	単位 t	指標値		
				初期値 (R4)	R5	R6
				34,268	27,975	27,975
	考え方	減量対策の効果がれば、事業系ごみを含めて晴丘センターに搬入されるごみ総量が減少するため、指標として設定				
指標③	内容		単位	指標値		
				初期値 (R4)	R5	R6
	考え方					

事業名		消防新庁舎整備						
総合計画の位置付け		③-4h 行政-b						
事業目的・概要		【目的】 消防防災体制及び災害対応機能の強化を目的とする。 【概要】 消防庁舎の老朽化に伴い、消防新庁舎整備に係る適地選定調査の結果に基づき建替移転を行う。						
事業費（R5～R7）							151,086千円	
主な実施内容		基本構想・基本計画策定業務委託 設計業務委託（基本設計） 設計業務委託（実施設計）					8,525千円 42,174千円 98,406千円	
指標①	内容	基本構想・基本計画策定業務委託に係る進捗率	単位	指標値				
			%	初期値（R4）	R5	R6	R7	
				0	100	-	-	
	考え方	業務の進捗を指標として設定						
指標②	内容	設計業務委託（基本設計）に係る進捗率	単位	指標値				
			%	初期値（R4）	R5	R6	R7	
				0	0	100	-	
	考え方	業務の進捗を指標として設定						
指標③	内容	設計業務委託（実施設計）に係る進捗率	単位	指標値				
			%	初期値（R4）	R5	R6	R7	
				0	0	0	100	
	考え方	業務の進捗を指標として設定						

事業名		名古屋市等との消防指令業務共同運用						
総合計画の位置付け		③-4h 行政-h						
事業目的・概要		【目的】 新たな消防の連携・協力体制を構築し、消防力の強化を目的とする。 【概要】 指令管制システム及び共同指令センターを共同整備し、令和7年度から名古屋市等の8消防本部（局）で消防指令業務を共同運用する。						
事業費（R5～R7）							400,346千円	
主な実施内容		名古屋市等との消防指令業務共同運用に係る整備事業負担金 指令管制システムの開発・整備 システム工事監理業務 共同指令センター整備					384,344千円 1,307千円 14,695千円	
指標①	内容	指令管制システムの開発・整備に係る進捗率	単位	指標値				
			%	初期値（R4）	R5	R6	R7	
				5	40	100	-	
	考え方	消防指令業務共同運用に係る整備事業負担金（指令管制システムの開発・整備及びシステム工事監理業務）の執行率を指標として設定						
指標②	内容	共同指令センター改修に係る進捗率	単位	指標値				
			%	初期値（R4）	R5	R6	R7	
				0	40.5	63.0	100	
	考え方	共同指令センター改修に係る負担金の執行率を指標として設定						
指標③	内容		単位	指標値				
				初期値（R4）	R5	R6	R7	
	考え方							

【危機管理課】

事業名		防災情報収集・伝達				
総合計画の位置付け		③-4i ①-3d、①-5h、②-4b、行政-g				
事業目的・概要		<p>【目的】</p> <p>防災に関する様々な情報の収集・伝達方法を整備し、広く市民に対して的確な避難情報の発令、伝達等につなげる。</p> <p>【概要】</p> <p>防災行政無線の適切な運用管理を引続き行うとともに、中継局整備後における防災を含めたコミュニティFMの有効活用並びにすぐメールの機能拡張により情報伝達手段の拡充を実施する。</p>				
事業費（R5～R7）		22,859千円				
主な実施内容		防災行政無線（MCA無線）基本利用料（101台）	9,201千円			
		防災行政無線（MCA無線）機器保守点検業務委託	2,847千円			
		すぐメール（瀬戸市安全安心情報メール）利用料等	9,332千円			
指標①	内容	せと市民総ぐるみ防災訓練への参加世帯	単位 世帯	指標値		
				初期値（R4）	R5	R6
				21,000	22,000	23,000
	考え方	せと市民総ぐるみ防災訓練に多くの人が参加し、地域の防災力向上が実感できるため指標として設定				
指標②	内容	メールサービス等 利用者数	単位 人	指標値		
				初期値（R4）	R5	R6
				9,000	10,000	11,000
	考え方	災害時における情報伝達手段の拡充により、登録者を増やすことで防災・減災へつなげるため指標として設定				
指標③	内容		単位	指標値		
				初期値（R4）	R5	R6
	考え方					

【予防課】

事業名		火災予防・防災指導				
総合計画の位置付け		③-4i ③-4g、③-4h				
事業目的・概要		<p>【目的】</p> <p>火災・救急予防の普及啓発及び地域防災力の向上を目的とする。</p> <p>【概要】</p> <p>住宅用火災警報器の設置促進及び応急手当の普及啓発を実施するとともに、地域特性に応じた地区防災計画の策定や防災訓練の支援を実施する。</p>				
事業費（R5～R7）		11,784千円				
主な実施内容		住宅用火災警報器設置促進事業等印刷製本費 等	5,277千円			
		住宅用火災警報器設置状況調査郵送費 等	390千円			
		地域防災力強化資機材整備費 等	5,400千円			
指標①	内容	住宅用火災警報器条例適合率	単位 %	指標値		
				初期値（R4）	R5	R6
				58	60	62
	考え方	住宅用火災警報器条例適合率の向上は、火災の早期発見や逃げ遅れの防止につながるるとともに、火災の発生を未然に防ぐ効果も期待されるため指標として設定				
指標②	内容	救命講習受講者数	単位 人	指標値		
				初期値（R4）	R5	R6
				70,000	73,000	76,000
	考え方	救命講習受講者数の増加は、応急手当を行える市民の増加となり、救命率の向上が期待されるとともに自助・共助の意識が地域防災力の向上にもつながることから、指標として設定				
指標③	内容	地区防災計画策定数	単位 連区	指標値		
				初期値（R4）	R5	R6
				5	7	9
	考え方	地域特性に応じた地区防災計画の策定は、地域防災力の向上につながるため指標として設定				

都市像3 地域に住まう市民が自立し支え合い、笑顔あふれるまち

政策5

誰もが生涯にわたって学び、郷土に対する誇りと愛着を深める豊かな地域づくり



(1) 政策の展開方向

瀬戸市には、やきものの文化・伝統を育んだ1000年余の歴史があり、そのような文化・伝統を生み出すもととなった自然環境があります。瀬戸市の歴史や自然環境に対する知識や愛着は、まちを大切にし、そこに住む人たちを支えたい、自分たちの子孫にも住ませたいという思いにつながっていきます。

こうしたことから、地域における多様な文化・芸術活動や生涯学習の場及び機会を充実させ、市民の郷土への愛着を醸成させていく取組を進めていきます。

(2) 政策目標

以下の政策目標を設定し、進捗を測るとともに取組の成果を明確にします。

政策目標	単位	現状 (R4)	目標 (R7)
瀬戸市歴史文化基本構想ホームページの閲覧数 (累計)	件	84,117	200,000
「せとモノがたり」文化遺産ものがたりページ閲覧数 (累計)	件	60,619	120,000
文化財普及事業への参加者数	人	8,363	9,000

(3) 実施事業に係る事業費及び財源内訳

施策名	事業名	令和3年度決算	令和4年度当初予算	令和5~7年度事業費
③-5b	図書館サービスの充実			
	図書館施設整備	4,057千円	36,894千円	405,800千円
③-5d	文化財等の伝統文化の継承と陶芸文化の新しい活用			
	文化財保護普及 (旧山繁商店)	一千円	3,655千円	327,477千円
	磁祖加藤民吉顕彰	一千円	5,000千円	12,000千円
③-5f	文化芸術活動の支援や奨励			
	瀬戸市文化振興財団補助金	87,175千円	98,976千円	301,027千円
合計		912,332千円	144,525千円	1,046,304千円

政策に係る財源内訳 (一般会計)	令和4年度当初予算	令和5~7年度事業費
国 支 出 金	1,012千円	132,303千円
県 支 出 金	0千円	0千円
市 債	0千円	303,700千円
そ の 他	12,976千円	285,600千円
一 般 財 源	130,537千円	324,701千円
合計	144,525千円	1,046,304千円

(4) 具体的な事業内容

【図書館】

事業名		図書館施設整備					
総合計画の位置付け		③-5b ②-1d、③-5a					
事業目的・概要		<p>【目的】 現行施設の課題の改善及び利用者の満足度の向上を目的とする。</p> <p>【概要】 長期使用及び老朽化した設備の更新を行うとともに、安全配慮のための環境整備を行う。</p>					
事業費（R5～R7）		405,800千円					
主な実施内容		図書館長寿命化・改装工事設計委託				30,800千円	
		図書館長寿命化・改装工事				375,000千円	
指標①	内容	図書館の来館者数	単位	指標値			
			人/日	初期値（R4）	R5	R6	R7
				484	515	525	530
	考え方	図書館の来館者数の増加は、瀬戸の歴史、文化を学ぶ市民が増加していることを示すものと考えられるため、指標として設定					
指標②	内容	図書館運営サポーターの登録者数	単位	指標値			
			人	初期値（R4）	R5	R6	R7
				10	20	30	30
	考え方	図書館運営サポーターの増加は、自立し支えあい、地域活動を行う市民の増加を示すものと考えられるため、指標として設定					
指標③	内容		単位	指標値			
				初期値（R4）	R5	R6	R7
	考え方						

【文化課】

事業名		文化財保護普及（旧山繁商店）					
総合計画の位置付け		③-5d ①-3a、①-3e、①-5c、③-3d、行政-b					
事業目的・概要		<p>【目的】 瀬戸市歴史文化基本構想に基づいた文化財の保存・活用を目的とする。</p> <p>【概要】 国登録有形文化財 旧山繁商店を保存し、埋蔵文化財収蔵施設の展示・整理機能を移転・統合し、民間活力活用・市民との協働事業により長期的に整備公開する。</p>					
事業費（R5～R7）		327,477千円					
主な実施内容		倉庫部分基本設計・実施設計及び概算工事費算出業務委託				19,536千円	
		倉庫部分以外の基本設計・実施設計				29,403千円	
		第1期保存活用工事及び管理				273,944千円	
指標①	内容	文化財普及事業への参加者数	単位	指標値			
			人	初期値（R4）	R5	R6	R7
				8,000	8,000	8,000	8,000
	考え方	市内の指定・登録文化財を保存するとともに、市民がこれらの文化財に接する機会を増進するため、公開活用を積極的に行い、その参加者を指標として設定					
指標②	内容	文化財の活用度	単位	指標値			
			%	初期値（R4）	R5	R6	R7
				58	59	60	60
	考え方	文化財保護普及事業に参加した市民へのアンケートから、瀬戸市の歴史や地域資源の活用がなされていると回答した比率を集計し、活用についての満足度を指標として設定					
指標③	内容	公開された木造文化財建造物	単位	指標値			
			棟	初期値（R4）	R5	R6	R7
				13	14	14	14
	考え方	国県市により指定登録された文化財建造物の内、公開活用をするために整備を行い、公開されたものを指標として設定					

【文化課】

事業名		磁祖加藤民吉顕彰					
総合計画の位置付け		③-5d ③-5e					
事業目的・概要		<p>【目的】</p> <p>市民の郷土に対する愛着心や誇りを醸成する機会を提供するとともに、温故創新から瀬戸市制施行 100 周年を見据え、文化・芸術・観光・産業・教育などあらゆる面で瀬戸の新しいまちづくりに活かしていく。</p> <p>【概要】</p> <p>令和 4 年度に迎える民吉生誕 250 周年を契機に、その偉業を称えるとともに顕彰事業を実施する。</p>					
事業費（R5～R7）				12,000 千円			
主な実施内容		磁祖加藤民吉顕彰事業実行委員会負担金		12,000 千円			
指標①	内容	民吉フォーラム等事業への参加者数	単位 人	指標値			
	考え方	磁祖民吉の認知度を高めるとともに、民吉をめぐる瀬戸の貴重な遺産に触れ、その精神を受け継いで新たな価値を創造する人材育成につなげていくため、参加者数を指標として設定					
指標②	内容	民吉ゆかりの地方自治体等の交流回数	単位 回	初期値 (R4)	R5	R6	R7
	考え方	本事業による新たな自治体間交流により文化・芸術・観光・産業の多様なまちづくりの発展を促進すると考えられるため、指標として設定					
指標③	内容		単位	初期値 (R4)	R5	R6	R7
	考え方						

【文化課】

事業名		瀬戸市文化振興財団補助金					
総合計画の位置付け		③-5f ③-3h、③-5d、③-5e					
事業目的・概要		<p>【目的】</p> <p>瀬戸市及びその周辺の文化財の調査・研究・保存活用等の事業及び文化芸術の振興に資する事業を担う。</p> <p>【概要】</p> <p>公益財団法人瀬戸市文化振興財団に補助金を交付し、文化振興に係る事業を実施する。</p>					
事業費（R5～R7）				301,027 千円			
主な実施内容		主催公演事業 企画展開催事業 アーティストインレジデンス事業		30,000 千円 45,000 千円 9,000 千円			
指標①	内容	美術館・新世紀工芸館企画展入場者数+主催公演事業入場者数	単位 人	初期値 (R4)	R5	R6	R7
	考え方	文化振興財団が企画する文化事業への参加者数の増加は、文化振興財団への補助成果を直接示すものと考えられるため、指標として設定					
指標②	内容	瀬戸蔵ミュージアム来館者数	単位 人	初期値 (R4)	R5	R6	R7
	考え方	瀬戸蔵ミュージアムの来館者数の増加は、瀬戸の歴史、文化、陶磁器に興味を持つ市民が増加していることを示すものと考えられるため、指標として設定					
指標③	内容		単位	初期値 (R4)	R5	R6	R7
	考え方						

6. 真に効果のある障害者施策の実施について

真に効果のある障害者施策の実現に向けて、障害者手当廃止後の取組として、瀬戸市自立支援委員会から出された意見を基に、7つの分野（危機管理、障害児、就労支援、外出支援、相談支援、権利擁護、緊急時）における課題解決を図るため、障害福祉の増進という視点で、各部連携して事業を精査し、生活支援を加えた8つの分野における各種施策を実施しています。

中期事業計画（令和5年度実施計画）の策定と合わせ、令和7年度までに実施する事業を取りまとめました。

分野	項目	内容	事業費(千円) (R5～R7)		担当課
			経常経費	投資的経費	
危機管理	避難所の整備	資機材の備蓄 【障害者用備蓄食料・飲料水・簡易給水槽等】	5,078	0	危機管理課
	在宅の安全確保	民間木造住宅耐震診断	1,419	0	都市計画課
	在宅の安全確保	民間木造住宅耐震改修費補助金(補助)	3,600	0	都市計画課
	在宅の安全確保	耐震シェルター整備費補助金(補助)	1,500	0	都市計画課
	避難所の整備	障害者用トイレの設置 【小学校屋内運動場トイレのバリアフリー化及び多目的トイレ整備】	0	86,288	教育政策課
	避難所の整備	障害者用トイレの設置 【中学校屋内運動場トイレのバリアフリー化及び多目的トイレ整備】	0	81,810	教育政策課
		計	11,597	168,098	
障害児	障害児支援	地域支援 (巡回療育支援、作業療法士)	1,830	0	児童発達支援センター
	障害児支援	家族支援 (ペアレント・プログラムの実施)	705	0	児童発達支援センター
	障害児支援	障害児受入園の拡充	12,000	0	保育課
	医療的ケア児	医療的ケア児の受入れ	39,607	0	児童発達支援センター
	医療的ケア児	医療的ケア児の支援体制構築 【協議会運営】	309	0	社会福祉課
	医療的ケア児	医療的ケア児の受入体制の拡充	48,000	0	人事課
	就労を必要とする保護者への支援	延長療育の実施	1,959	0	児童発達支援センター
	ネットワークの構築	在宅医療介護連携推進	4,644	0	社会福祉課
	教育環境の整備	小学校合理的配慮支援備品購入	0	3,000	教育政策課
	教育環境の整備	小学校障害児用階段昇降車購入	0	1,650	教育政策課
	教育環境の整備	中学校障害児用階段昇降車購入	0	1,650	教育政策課
			計	109,054	6,300

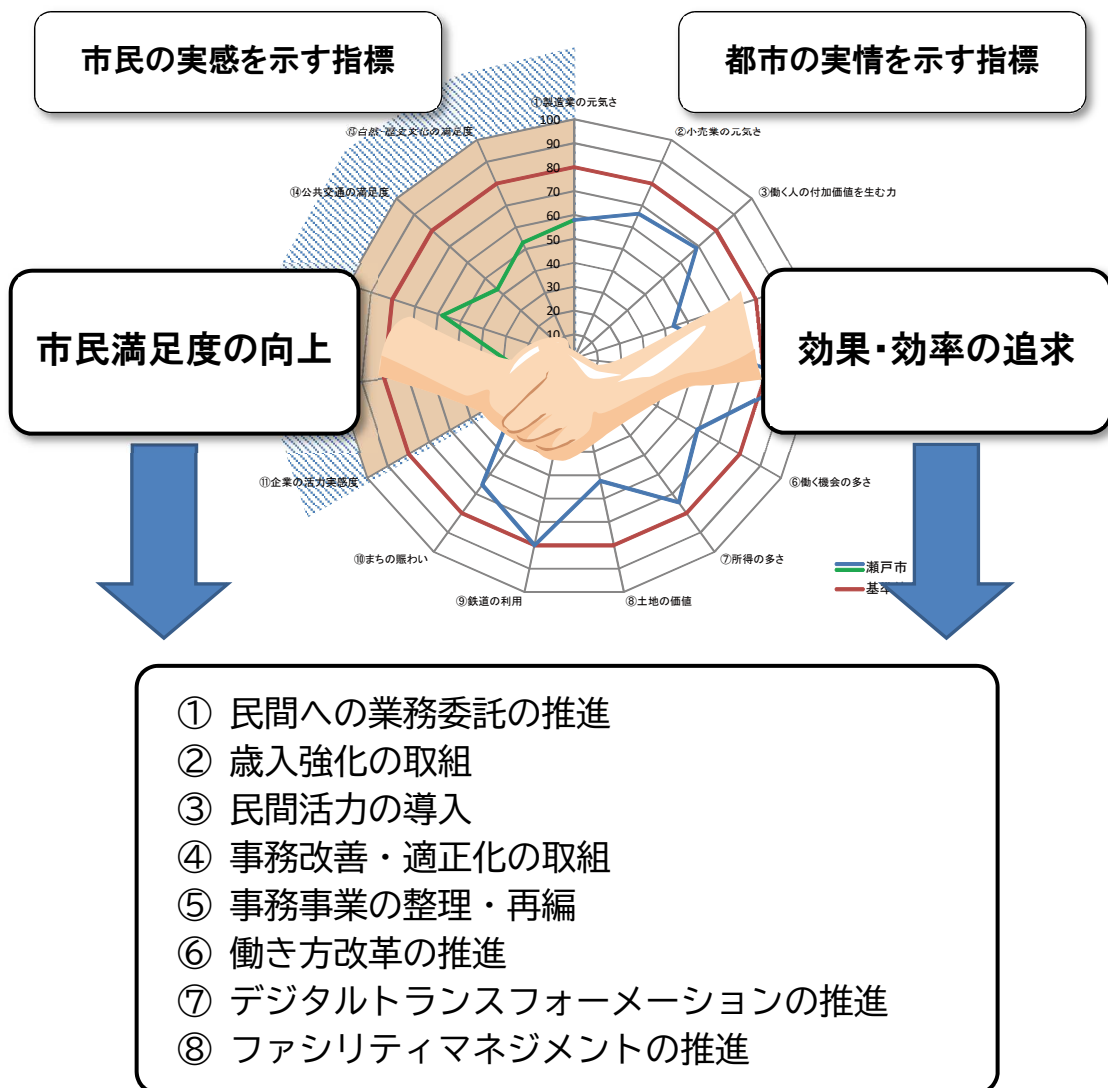
分野	項目	内容	事業費(千円) (R5~R7)		担当課
			経常経費	投資的経費	
就労支援	就労機会の創出	市役所内での就労機会の創出	3,000	0	人事課
	就労の支援	就労事業所までの交通費の一部助成	3,600	0	社会福祉課
	計		6,600	0	
外出支援	利用料金助成	心身障害者交通料金助成の拡充	17,820	0	社会福祉課
	計		17,820	0	
相談支援	相談機能の充実	包括圏域に障害者相談支援センターを設置 (障害者相談支援委託)	30,882	0	社会福祉課
	相談機能の充実	インターネットを活用した相談方法の充実 (通信環境整備等に係る費用の一部負担)	250	0	社会福祉課
	計		31,132	0	
権利擁護	障害理解の促進	市民及び事業者に対して障害理解を深める啓発事業の実施 障害者理解の協議の場の設置	426	0	社会福祉課
	障害理解の促進	子どもの頃から障害者理解を深める機会の創出(学校向け)	120	0	社会福祉課
	計		546	0	
緊急時	支援者の緊急支援	緊急一時保護事業 【施設入所】	1,530	0	社会福祉課
	支援者の緊急支援	緊急一時保護事業 【宿泊施設】	480	0	社会福祉課
	支援者の緊急支援	緊急一時保護事業 【ヘルパー派遣】	1,110	0	社会福祉課
	計		3,120	0	
生活支援	読書のバリアフリー	電子書籍貸出しサービス	13,200	0	図書館
	安心安全な診療体制	障害者歯科健診補助金	4,680	0	健康課
	安心安全な移動環境 の整備	駅周辺交差点警告ブロック設置等	0	9,000	建設課
	計		17,880	9,000	
合計			197,749	183,398	

7. 都市像の達成に向けた施策の効果的・効率的な推進

(1) 市民満足度の向上と効果・効率の追求

限られた資源の中で着実に第6次瀬戸市総合計画を推進していくためには、これまでの取組を継続していくとともに、職員の人材育成や行政事務の品質向上なども徹底しながら、効果的・効率的に施策を実施することが求められます。

中期事業計画（令和5年度実施計画）では、都市像の達成に向けて、民間への業務委託の推進、歳入強化の取組、民間活力の導入、事務改善・適正化の取組、事務事業の整理・再編、働き方改革の推進、デジタルトランスフォーメーションの推進、ファシリティマネジメントの推進により、市民満足度の向上と効果・効率の追求に取り組めます。



No	区分	具体的な取組内容	担当部課
1	①民間への業務委託の推進	公園維持管理業務等の包括的委託	建設課
2		道路維持管理業務の包括的委託	維持管理課
3		浄水場施設運営業務の委託化	浄水場管理事務所
4		各保育園運営業務の委託化	保育課
5	②歳入強化の取組	貸館等使用料の適正化	財政課
6		本庁を活用した歳入確保の取組	行政課
7		斎苑使用料の適正化	生活安全課
8		イベント等における負担金等収入の拡大	地域振興部
9		ごみの減量・ごみ処理に係る費用負担の適正化	環境課
10		下水道使用料の見直し	下水道課
11		水道料金の見直し	水道課
12		ふるさと納税制度を活用した歳入の確保	政策推進課
13	③民間活力の導入	PFI 優先的検討規程の運用	政策推進課
14		ごみ処理施設運営業務の効率化	環境課
15		Park-PFI の導入	建設課
16		街路灯 LED 化	維持管理課
17		下水処理施設運営業務の民間活力の導入検討	浄化センター管理事務所、下水道課
18	④事務改善・適正化の取組	債権管理の推進	財政課
19		少年センター事業の見直し	こども未来課
20		電力調達方法の見直し	行政課、教育政策課
21		し尿処理施設の老朽化対策	クリーンセンター
22	⑤事務事業の整理・再編	各種補助金・負担金制度の総点検	財政課
23		各種扶助費の総点検	社会福祉課、高齢者福祉課、こども未来課
24	⑥働き方改革の推進	多様な働き方選択の拡大「仕事と家庭の両立のための各種制度の見直し」	人事課
25		変則的勤務やテレワークの導入	人事課
26	⑦デジタルトランスフォーメーションの推進	RPA 導入による事務の効率化	情報政策課
27		マイナンバーカードの普及促進・利活用	市民課、情報政策課、政策推進課
28		行政サービスのキャッシュレス決済拡大	税務課、市民課
29		テレワーク環境整備	情報政策課、人事課
30		電子決裁の導入	行政課
31	⑧ファシリティマネジメントの推進	小学校跡地整備に際しての官民連携手法による公共施設等の整備	政策推進課
32		遊休資産の活用	政策推進課

① 民間への業務委託の推進

No	取組／目的・概要	これまでの取組内容と評価					
1	公園維持管理業務等の包括的委託 《目的・概要》 市内の公園の維持管理について、一括して委託し、効率的運営や運営コストの削減を図る。 担当部課：建設課	《これまでの取組内容》 包括的な公園維持管理に向けたガイドラインの作成にあたり、令和2年度に基礎調査、サウンディング調査、課題抽出等のストック再編検討業務委託を行い、令和3年度にはサウンディング調査を行った。	A	目的を達成したため、取組を完了			
			Ⓑ	目的達成に向けて着実に進めており、取組を継続			
			C	目的達成にあたり課題があり、取組の内容を見直し			
今後の取組計画と想定される効果（B・C評価のみ記載）							
《今後の取組計画》 過年度行った業務等の検討結果をもとに、令和4年度から公園ストック再編検討・計画策定を進めている。 《想定される効果》 公園の維持管理について、効率的運営や運営コストの削減を図る。		スケジュール（総計後半5年間）					
		R4	R5	R6	R7	R8	
		●————→ 公園ストックの再編検討				●————→ 実施	

No	取組／目的・概要	これまでの取組内容と評価					
2	道路維持管理業務の包括的委託 《目的・概要》 道路維持管理業務について、受付から施行等の対応までを一括して委託し、効率的運営や運営コストの削減を図る。 担当部課：維持管理課	《これまでの取組内容》 道路維持管理業務の効果的・効率的な実施に向けて、委託内容の整理（公物管理（承認及び占用申請等））及び委託に向けた調整を行った。	A	目的を達成したため、取組を完了			
			B	目的達成に向けて着実に進めており、取組を継続			
			Ⓒ	目的達成にあたり課題があり、取組の内容を見直し			
今後の取組計画と想定される効果（B・C評価のみ記載）							
《今後の取組計画》 引き続き、委託による効果等の整理も含めた検討・調整を行う。 《想定される効果》 土木技師不足の解消及び審査時間縮減（専門的知識の習得者による事務処理）。		スケジュール（総計後半5年間）					
		R4	R5	R6	R7	R8	
		●————→ 委託内容の整理及び調整				●————→ 委託に向けた検討・調整（調整後、実施予定）	

No	取組／目的・概要	これまでの取組内容と評価				
3	浄水場施設運営業務の委託化 《目的・概要》 浄水場施設の運営について、委託化を検討し、水道供給に係るコスト削減を図る。 担当部課：浄水場管理事務所	《これまでの取組内容》 令和3年度から蛇ヶ洞浄水場の夜間運転業務に加え、昼間業務の一部委託を開始した。	A	目的を達成したため、取組を完了		
			Ⓑ	目的達成に向けて着実に進めており、取組を継続		
			C	目的達成にあたり課題があり、取組の内容を見直し		
今後の取組計画と想定される効果（B・C評価のみ記載）						
《今後の取組計画》 委託による人件費縮減効果と昨今の委託費上昇の動向を注視し、適切な行政サービス提供の継続を前提とした検討と実施を行う。 《想定される効果》 委託による人件費の縮減を想定している。		スケジュール（総計後半5年間）				
		R4	R5	R6	R7	R8
		●————→ 適切な行政サービス継続を前提とした委託化の検討と実施				

No	取組／目的・概要	これまでの取組内容と評価				
4	各保育園運営業務の委託化 《目的・概要》 各保育園運営業務について、委託の拡大を検討することにより、効率的運営や運営コストの削減を図る。 担当部課：保育課	《これまでの取組内容》 保育園業務の効率的運営を図るため、令和4年度から公立全園で保育園業務の一部 ICT 化を実施した。	A	目的を達成したため、取組を完了		
			B	目的達成に向けて着実に進めており、取組を継続		
			C	目的達成にあたり課題があり、取組の内容を見直し		
			D	目的達成が困難であり、取組自体を見直し		
今後の取組計画と想定される効果（B・C評価のみ記載）						
《今後の取組計画》 保育所の適正配置の観点をつまみ委託の有無の検討を行うとともに、保育園業務の効率化を図るため、可能な範囲での事務書式等の簡素化、行事等の見直しを推進する。 《想定される効果》 職員の時間外勤務の削減及び保育体制の充実。		スケジュール（総計後半5年間）				
		R4	R5	R6	R7	R8
		● → 検討				
		瀨戸市保育所整備・運営計画に基づき判断する。				

② 歳入強化の取組

No	取組／目的・概要	これまでの取組内容と評価				
5	貸館等使用料の適正化 《目的・概要》 貸館等使用料について、消費税率改定や民間賃金上昇などの管理コストの増加を踏まえ、見直し等に関する方針に基づいた見直しを行う。 担当部課：財政課	《これまでの取組内容》 使用料等の見直しについては、令和元年6月に「公の施設の管理運営の見直し等に関する方針」を策定した。 中期事業計画で一部サービスセンターの週休2日制について検討し、令和5年度より実施予定。	A	目的を達成したため、取組を完了		
			B	目的達成に向けて着実に進めており、取組を継続		
			C	目的達成にあたり課題があり、取組の内容を見直し		
			D	目的達成が困難であり、取組自体を見直し		
今後の取組計画と想定される効果（B・C評価のみ記載）						
《今後の取組計画》 コロナ禍の収束状況や物価高による市民負担に配慮しつつ、使用料の見直しに取り組む。併せて、休館日や開館時間の検討を行う。 《想定される効果》 人件費及び物価の上昇により増額している指定管理委託料に対し、受益者負担を適切な水準とする。		スケジュール（総計後半5年間）				
		R4	R5	R6	R7	R8
		● → 中期事業計画等において検討				
		● → 使用料・開館日の変更				

No	取組／目的・概要	これまでの取組内容と評価				
6	本庁を活用した歳入確保の取組 《目的・概要》 本庁舎やその敷地を活用し、歳入確保に向けた取組を検討する。 担当部課：行政課	《これまでの取組内容》 広告付きモニターを設置した。 本庁舎駐車場の有料化について、コスト検討を実施した。利用料収入を運営コストが上回ることが判明し、導入しないこととした。	④	目的を達成したため、取組を完了		
			B	目的達成に向けて着実に進めており、取組を継続		
			C	目的達成にあたり課題があり、取組の内容を見直し		
			D	目的達成が困難であり、取組自体を見直し		
今後の取組計画と想定される効果（B・C評価のみ記載）						
		スケジュール（総計後半5年間）				
		R4	R5	R6	R7	R8
		/				

No	取組／目的・概要	これまでの取組内容と評価				
7	斎苑使用料の適正化 《目的・概要》 斎苑使用料について、施設改修費などの維持・管理コストの増加を踏まえた見直しを行う。 担当部課：生活安全課	《これまでの取組内容》 適正な使用料について県内及び近隣市町村の状況を把握するとともに、本市斎苑の必要経費を算出し、増加傾向にある市外在住者の使用料を増額するよう令和元年12月に条例改正を行い、周知期間を経て令和2年4月から施行した。 実施後の利用件数については、使用料の増額改定を起因とする件数の減少は見られず、例年並みの状況で推移していることから、継続的なサービス提供を見据えた適切な受益者負担を実現していると考えている。		A	目的を達成したため、取組を完了	
				B	目的達成に向けて着実に進めており、取組を継続	
				C	目的達成にあたり課題があり、取組の内容を見直し	
				D	目的達成が困難であり、取組自体を見直し	
今後の取組計画と想定される効果（B・C評価のみ記載）						
スケジュール（総計後半5年間）						
		R4	R5	R6	R7	R8

No	取組／目的・概要	これまでの取組内容と評価					
8	イベント等における負担金等収入の拡大 《目的・概要》 市及び関係団体等が主催・参画するイベント等において、企業からの協賛や広告などを通じて負担金等収入の拡大を図り、市費負担の軽減につなげる。また、企業の参画を促進することで事業の活性化を図る。 担当部課：地域振興部	《これまでの取組内容》 市及び関係団体等が主催・参画するイベント等における負担金収入等の拡大については、負担金に限らず、タイアップ企画等による広告宣伝効果なども踏まえ、経済性の高い多様な参画を促進してきた。また、既に負担金を得ている事業については、事業の活性化のため関係団体と連携を図っている。		A	目的を達成したため、取組を完了		
				B	目的達成に向けて着実に進めており、取組を継続		
				C	目的達成にあたり課題があり、取組の内容を見直し		
				D	目的達成が困難であり、取組自体を見直し		
今後の取組計画と想定される効果（B・C評価のみ記載）							
《今後の取組計画》		スケジュール（総計後半5年間）					
事業の主旨を踏まえ、多くの方が参画できるよう配慮した負担金等の設定に努めるとともに、広告宣伝効果を踏まえ、企業等とのタイアップ事業を、関係団体と連携して実施する。 《想定される効果》 本市の知名度向上及び広告宣伝効果の向上。		R4	R5	R6	R7	R8	
		●	検討				→
		●	実施				→

No	取組/目的・概要	これまでの取組内容と評価				
9	ごみの減量・ごみ処理に係る費用負担の適正化 《目的・概要》 ごみの発生抑制やごみ処理費の健全化を図るため、ごみ処理に係る費用負担適正化の検討・実施を行う。 担当部課：環境課	《これまでの取組内容》 令和4年3月市議会定例会にて「瀬戸市廃棄物の処理及び清掃に関する条例」の一部改正が可決され、手数料徴収に係る条例改正を実施した。また、「ごみ減量アクションプラン」を策定し、有料化と併せて実施することでごみ減量に効果的な施策を進めている。	A	目的を達成したため、取組を完了		
			⑥	目的達成に向けて着実に進めており、取組を継続		
			C	目的達成にあたり課題があり、取組の内容を見直し		
			D	目的達成が困難であり、取組自体を見直し		
今後の取組計画と想定される効果（B・C評価のみ記載）						
《今後の取組計画》 令和5年9月1日より、ごみ処理費用有料化制度の運用を開始する。 《想定される効果》 ごみ量の削減とともに、一部受益者負担制度導入による手数料収入3.6億円を見込む。		スケジュール（総計後半5年間）				
		R4	R5	R6	R7	R8
		● → アクションプラン施策の実施				
		● → 有料化開始			● → 効果検証	● → 効果検証

No	取組/目的・概要	これまでの取組内容と評価				
10	下水道使用料の見直し 《目的・概要》 下水道使用料について、経営戦略を策定し、収支の見通しを明らかにし、適正な使用料体系へと見直しを進める。 担当部課：下水道課	《これまでの取組内容》 経営戦略の進行管理を行うとともに、決算数値の分析を踏まえつつ、適正な使用料体系の構築に係る基本的な考え方の整理を行い、具体的な手順やスケジュールについて検討を行った。	A	目的を達成したため、取組を完了		
			⑥	目的達成に向けて着実に進めており、取組を継続		
			C	目的達成にあたり課題があり、取組の内容を見直し		
			D	目的達成が困難であり、取組自体を見直し		
今後の取組計画と想定される効果（B・C評価のみ記載）						
《今後の取組計画》 令和2年度に策定した経営戦略に基づき、効果的・効率的で持続可能な下水道事業に向けた取組を進めつつ、令和4年度に設置した下水道事業経営審議会において、使用者や学識経験者等の意見を伺いながら、経営基盤の強化に向けた収益の安定的な確保について議論を進める。 《想定される効果》 受益者負担の適正化。		スケジュール（総計後半5年間）				
		R4	R5	R6	R7	R8
		● → 経営戦略の進行管理				
		● → 使用料体系の見直し				

No	取組/目的・概要	これまでの取組内容と評価				
11	水道料金の見直し 《目的・概要》 水道料金について、純利益（長期前受金戻入を除く。）が構造的に赤字となった場合には、直ちに料金の見直しを行う。 担当部課：水道課	《これまでの取組内容》 令和3年度決算においても黒字を維持しており、赤字となった場合の料金の見直しは行っていない。	A	目的を達成したため、取組を完了		
			⑥	目的達成に向けて着実に進めており、取組を継続		
			C	目的達成にあたり課題があり、取組の内容を見直し		
			D	目的達成が困難であり、取組自体を見直し		
今後の取組計画と想定される効果（B・C評価のみ記載）						
《今後の取組計画》 平成30年度に策定した経営戦略に基づく取組を続けつつ、経営状況の検証・評価を目的に令和4年度に設置した水道事業経営審議会において、より適切な行政サービスの提供を実現するための議論を行う。 《想定される効果》 安全な水を安定して供給する環境の維持。		スケジュール（総計後半5年間）				
		R4	R5	R6	R7	R8
		● → 経営状況の検証・評価				
		● → 赤字となった場合に直ちに料金の見直しに着手				

No	取組／目的・概要	これまでの取組内容と評価			
12	ふるさと納税制度を活用した歳入の確保 《目的・概要》 ふるさと納税制度を活用し、歳入確保を図るだけでなく、本市の魅力を発信し、本市の取組に共感を持ち、応援して頂けるよう積極的なシティプロモーションを行う。 担当部課：政策推進課	《これまでの取組内容》 歳入確保に向けて、返礼品協力事業者及び返礼品、ふるさと納税サイトの拡充に取り組み、年々寄附件数、寄附金額は増加傾向にある。		A	目的を達成したため、取組を完了
				②	目的達成に向けて着実に進めており、取組を継続
				C	目的達成にあたり課題があり、取組の内容を見直し
				D	目的達成が困難であり、取組自体を見直し
今後の取組計画と想定される効果（B・C評価のみ記載）					
《今後の取組計画》 引き続き、返礼品協力事業者及び返礼品の拡充に取り組みとともに、広告にも注力する。また、企業版ふるさと納税による寄附拡大に取り組む。 《想定される効果》 ふるさと納税について、令和5年度は寄附金額2億円を目標に取り組み、事務費を除いた寄附金額の約5割、1億円の歳入確保を目指す。		スケジュール（総計後半5年間）			
		R4		R4	
		● 返礼品協力事業者及び返礼品の拡充、広告の実施 →			
		● 寄附金活用事業実績報告による継続的な寄附獲得（企業版） →			
		● 使途（寄附金の使い道）見直し →			

③ 民間活力の導入

No	取組／目的・概要	これまでの取組内容と評価				
13	PFI 優先的検討規程の策定 《目的・概要》 公共施設等総合管理計画を推進するにあたり、今後想定される大規模改修・施設更新については、PFI 優先的検討規程に基づき、適切な PPP/PFI 手法導入の検討を行い、改修・更新に係る経費削減とその後の運営効率化を図る。 担当部課：政策推進課	《これまでの取組内容》 PFI 優先的検討規程を令和2年7月1日から施行。			A	目的を達成したため、取組を完了
					②	目的達成に向けて着実に進めており、取組を継続
					C	目的達成にあたり課題があり、取組の内容を見直し
					D	目的達成が困難であり、取組自体を見直し
今後の取組計画と想定される効果（B・C評価のみ記載）						
《今後の取組計画》 規程に基づき、優先検討の対象とする事業について適切な PPP/PFI 手法導入の検討を行う。 《想定される効果》 民間のノウハウや資金を活用して施設整備等を行うことで、効率的な施設整備・運営や良好なサービスが確保できる。		スケジュール（総計後半5年間）				
		R4	R5	R6	R7	R8
		● 対象事業について適切な PPP/PFI 手法導入の検討 →				

No	取組／目的・概要	これまでの取組内容と評価				
14	ごみ処理施設運営業務の効率化 《目的・概要》 尾張東部衛生組合におけるごみ処理施設運営業務について、効率的運営や運営コストの削減を図る。 担当部課：環境課	《これまでの取組内容》 令和3年3月に策定した「尾張東部・尾三地域広域化ブロックごみ処理における広域化計画」に従い尾張東部衛生組合は単独で施設を更新することが決定している。		A	目的を達成したため、取組を完了	
				③	目的達成に向けて着実に進めており、取組を継続	
				C	目的達成にあたり課題があり、取組の内容を見直し	
				D	目的達成が困難であり、取組自体を見直し	
今後の取組計画と想定される効果（B・C評価のみ記載）						
《今後の取組計画》 計画の策定等、施設更新に向けた尾張東部衛生組合の取り組みにつき、必要に応じて尾張旭市、長久手市とともに協議を継続する。		スケジュール（総計後半5年間）				
《想定される効果》 ごみ処理施設の効率的運営。		R4	R5	R6	R7	R8

No	取組／目的・概要	これまでの取組内容と評価				
15	Park-PFI の導入 《目的・概要》 市内の公園について、施設を活用して民間事業者による運営を行う「公募設置管理制度(Park-PFI)」の導入を検討し、収入増加や運営コストの削減を図る。 担当部課：建設課	《これまでの取組内容》 令和2年度に、基礎調査、サウンディング調査、課題抽出等のストック再編検討業務委託を行い、令和3年度には、サウンディング調査を行ったが、「公募設置管理制度(Park-PFI)」の導入が困難であることがわかった。		A	目的を達成したため、取組を完了	
				B	目的達成に向けて着実に進めており、取組を継続	
				C	目的達成にあたり課題があり、取組の内容を見直し	
				④	目的達成が困難であり、取組自体を見直し	
今後の取組計画と想定される効果（B・C評価のみ記載）						
		スケジュール（総計後半5年間）				
		R4	R5	R6	R7	R8
		/				

No	取組／目的・概要	これまでの取組内容と評価				
16	街路灯 LED 化 《目的・概要》 市内の街路灯について、一括でのLED化を進め、電気料金の低減やCO2の削減などを図る。 担当部課：維持管理課	《これまでの取組内容》 維持管理課が管理する道路照明等はすべてLED化が完了している。		①	目的を達成したため、取組を完了	
				B	目的達成に向けて着実に進めており、取組を継続	
				C	目的達成にあたり課題があり、取組の内容を見直し	
				D	目的達成が困難であり、取組自体を見直し	
今後の取組計画と想定される効果（B・C評価のみ記載）						
		スケジュール（総計後半5年間）				
		R4	R5	R6	R7	R8
		/				

No	取組/目的・概要	これまでの取組内容と評価				
17	下水処理施設運営業務の民間活力の導入検討 《目的・概要》 下水処理施設について、民間活力の導入を検討し、処理や施設管理に係るコスト削減を図る。 担当部課：浄化センター管理事務所、下水道課	《これまでの取組内容》 長期継続契約（R2-4）である包括的民間委託は3期目を迎え、これまで要求水準を満たす水質が維持されている。 また、次期契約（4期目）の包括的民間委託の仕様及び契約内容の見直しを行った。	A	目的を達成したため、取組を完了		
			Ⓑ	目的達成に向けて着実に進めており、取組を継続		
			C	目的達成にあたり課題があり、取組の内容を見直し		
			D	目的達成が困難であり、取組自体を見直し		
今後の取組計画と想定される効果（B・C評価のみ記載）						
《今後の取組計画》 次期契約（4期目）の包括的民間委託について、引き続き要求水準が満たされるように適正な履行確認を行う。 《想定される効果》 民間活力の導入によるコストの抑制及びサービスの向上。		スケジュール（総計後半5年間）				
		R4	R5	R6	R7	R8
		●————→				
		検討				

④ 事務改善・適正化の取組

No	取組/目的・概要	これまでの取組内容と評価				
18	債権管理の推進 《目的・概要》 市が保有する債権の管理について一層の適正化を図り、市民負担の公平性と財政の健全性の確保を図る。 担当部課：財政課	《これまでの取組内容》 令和元年度当初予算から、債権管理シートを活用した進行管理を行っている。また、令和2年度から債権管理条例を施行し、債権管理マニュアルを活用し、適切な債権管理を実施している。	A	目的を達成したため、取組を完了		
			Ⓑ	目的達成に向けて着実に進めており、取組を継続		
			C	目的達成にあたり課題があり、取組の内容を見直し		
			D	目的達成が困難であり、取組自体を見直し		
今後の取組計画と想定される効果（B・C評価のみ記載）						
《今後の取組計画》 引き続き適切な債権管理を実施していく。 《想定される効果》 平成30年度決算で約13億5千万円あった収入未済額が令和3年度決算では約11億4千万円まで減少しており、さらなる圧縮を目指す。		スケジュール（総計後半5年間）				
		R4	R5	R6	R7	R8
		●————→				
		統一したルールに基づく債権管理の実施				

No	取組/目的・概要	これまでの取組内容と評価				
19	少年センター事業の見直し 《目的・概要》 地域との協働・連携により実施している少年の非行防止・補導等の少年センター事業について、子ども総合計画を策定する過程の中で、見直しを実施する。 担当部課：こども未来課	《これまでの取組内容》 事務改善に向けて、各支部と自主運営について議論を重ねてきた。結果、真に必要な事業とそれ以外の事業の取捨選択ができ、事業のスリム化が図ることができた。	A	目的を達成したため、取組を完了		
			Ⓑ	目的達成に向けて着実に進めており、取組を継続		
			C	目的達成にあたり課題があり、取組の内容を見直し		
			D	目的達成が困難であり、取組自体を見直し		
今後の取組計画と想定される効果（B・C評価のみ記載）						
《今後の取組計画》 引き続き事業内容の見直しを、支部長会議において、協議して進めていく。 《想定される効果》 各支部の自主的運営により、より一層地域の実情に合った事業が展開される。		スケジュール（総計後半5年間）				
		R4	R5	R6	R7	R8
		●————→				
		検討・議論				
		調整				
		●————→				
		実施				

No	取組/目的・概要	これまでの取組内容と評価					
20	電力調達方法の見直し 《目的・概要》 新電力の導入によるコスト削減について検討する。 担当部課：行政課、教育政策課	《これまでの取組内容》 電力調達方法の見直しを行い、令和2年10月に基本料金、電力量料金の23.6%を割引く契約を締結。コスト削減に繋がった。	④	目的を達成したため、取組を完了			
			B	目的達成に向けて着実に進めており、取組を継続			
			C	目的達成にあたり課題があり、取組の内容を見直し			
			D	目的達成が困難であり、取組自体を見直し			
			今後の取組計画と想定される効果（B・C評価のみ記載）				
スケジュール（総計後半5年間）							
		R4	R5	R6	R7	R8	

No	取組/目的・概要	これまでの取組内容と評価					
21	し尿処理施設の老朽化対策 《目的・概要》 クリーンセンターし尿処理施設の老朽化対策として、し尿処理施設の長寿命化を図る。 担当部課：クリーンセンター	《これまでの取組内容》 循環型社会形成推進地域計画に基づき、令和3年度に長寿命化総合計画を策定した。令和4年度は基幹的設備改良工事に係る発注支援業務を施行中。	A	目的を達成したため、取組を完了			
			④	目的達成に向けて着実に進めており、取組を継続			
			C	目的達成にあたり課題があり、取組の内容を見直し			
			D	目的達成が困難であり、取組自体を見直し			
			今後の取組計画と想定される効果（B・C評価のみ記載）				
《今後の取組計画》 令和5～7年度に基幹的設備改良工事を施工する。		スケジュール（総計後半5年間）					
《想定される効果》 令和22年度までのし尿処理施設の延命化。		R4	R5	R6	R7	R8	
		基幹的設備改良工事に係る発注支援業務		基幹的設備改良工事			
		●→	●→			→	

⑤ 事務事業の整理・再編

No	取組/目的・概要	これまでの取組内容と評価					
22	各種補助金・負担金制度の総点検 《目的・概要》 各種補助金・負担金制度について、総合的な観点からの見直しを実施する。 担当部課：財政課	《これまでの取組内容》 令和4年度においては、前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症対策の一環として新たな補助金を交付しており、全体的な補助金見直しは中断している。	A	目的を達成したため、取組を完了			
			B	目的達成に向けて着実に進めており、取組を継続			
			④	目的達成にあたり課題があり、取組の内容を見直し			
			D	目的達成が困難であり、取組自体を見直し			
			今後の取組計画と想定される効果（B・C評価のみ記載）				
《今後の取組計画》 コロナ禍の収束状況や物価高による市民負担に配慮しつつ、補助金見直しに関する基本方針を取りまとめた上で中期事業計画に反映し実施に向けた取組を進める。		スケジュール（総計後半5年間）					
《想定される効果》 決算統計における補助費等のうち、その他に対するもの（R3:約34億円）の圧縮を図る。		R4	R5	R6	R7	R8	
		●→ 中期事業計画等において検討後、実施 →					

No	取組/目的・概要	これまでの取組内容と評価					
23	各種扶助費の総点検 《目的・概要》 各種扶助費について、総合的な観点からの見直しを実施する。 担当部課：社会福祉課、高齢者福祉課、こども未来課	《これまでの取組内容》 担当課において、施策との整合性等との観点から市単独扶助費の方向性に協議・検討を行った。その結果、障害者手当の方向性をまとめ「真に効果のある障害者施策」として、全庁的に推進することとした。これによりハード面・ソフト面一体となった総合的な施策となっている。	④	目的を達成したため、取組を完了			
			B	目的達成に向けて着実に進めており、取組を継続			
			C	目的達成にあたり課題があり、取組の内容を見直し			
			D	目的達成が困難であり、取組自体を見直し			
今後の取組計画と想定される効果（B・C評価のみ記載）							
スケジュール（総計後半5年間）							
		R4	R5	R6	R7	R8	

⑥ 働き方改革の推進

No	取組/目的・概要	これまでの取組内容と評価					
24	多様な働き方選択の拡大 「仕事と家庭の両立のための各種制度の見直し」 《目的・概要》 「働き方改革」の一環として、多様な働き方選択の拡大につながる転任制度や育児部分休業制度の創設、さらには職制の見直しを実施し、職員が生き生きと働くことのできる環境づくりを進め、行政サービスの向上につなげる。 担当部課：人事課	《これまでの取組内容》 任期付職員が任期の定めのない職員（業務職）へステップアップできる制度（転任制度）を実施し、選考を経た任期付職員9名が業務職に転任した。さらに、業務職から総合職への転任制度を創設したことで、職員の意欲向上や実証を踏まえた人材の確保につながっている。 また、職制の見直しを実施するとともに、育児部分休業制度の創設や法改正などにより、育児休業を取得しやすい環境整備を実施した。	A	目的を達成したため、取組を完了			
			④	目的達成に向けて着実に進めており、取組を継続			
			C	目的達成にあたり課題があり、取組の内容を見直し			
			D	目的達成が困難であり、取組自体を見直し			
今後の取組計画と想定される効果（B・C評価のみ記載）							
《今後の取組計画》 「転任制度」、「育児部分休業制度」等の実施状況を把握し、必要に応じ検討を行い「職員の意欲向上」、「働きやすい環境づくり」を進めていく。 《想定される効果》 行政サービスの向上、離職防止、職員の仕事と家庭の両立支援。		スケジュール（総計後半5年間）					
		R4	R5	R6	R7	R8	
		● 実施(転任制度・育児部分休業の創設、職制の見直し) →					
		● 検討(職員の意欲向上、働きやすい環境づくり) →					

No	取組/目的・概要	これまでの取組内容と評価				
25	変則的勤務やテレワークの導入 《目的・概要》 職員が生き生きと働くことのできる環境づくりによって、時間外削減等の財政計画に占める“総労務費”の適正化を図る。 担当部課：人事課	《これまでの取組内容》 コロナ禍を契機に、「在宅勤務」、「時差出勤」及び「週休日の変更」を実施し、新たな働き方に取り組んでいる。		A	目的を達成したため、取組を完了	
				Ⓑ	目的達成に向けて着実に進めており、取組を継続	
				C	目的達成にあたり課題があり、取組の内容を見直し	
				D	目的達成が困難であり、取組自体を見直し	
今後の取組計画と想定される効果（B・C評価のみ記載）						
《今後の取組計画》 引き続き、「在宅勤務」、「時差出勤」及び「週休日の変更」を実施するとともに、テレワークの導入について、活用方法や就業規則についての検討を進めていく。 《想定される効果》 職員の働き方改革、時間外勤務の抑制につながる。		スケジュール（総計後半5年間）				
		R4	R5	R6	R7	R8
		● 実施（在宅勤務、時差出勤、週休日変更） →				
		● 検討・実施（テレワーク） →				

⑦ デジタルトランスフォーメーションの推進

No	取組/目的・概要	これまでの取組内容と評価				
26	RPA 導入による事務の効率化 《目的・概要》 経常的な事務に対し、RPA 導入による事務の効率化について検討する。 担当部課：情報政策課	《これまでの取組内容》 人事課、高齢者福祉課及び学校教育課において RPA ツールを導入し、運用を始めている。 導入課による削減効果として合計で、年間約 100 時間の削減効果が見込まれる。		A	目的を達成したため、取組を完了	
				Ⓑ	目的達成に向けて着実に進めており、取組を継続	
				C	目的達成にあたり課題があり、取組の内容を見直し	
				D	目的達成が困難であり、取組自体を見直し	
今後の取組計画と想定される効果（B・C評価のみ記載）						
《今後の取組計画》 職員の RPA スキルの向上に注力し、全庁的な RPA 導入を推進していく。 《想定される効果》 愛知県では 1 業務あたり 4,000 時間も削減した実績があるため、導入業務によっては多大な効果が想定される。		スケジュール（総計後半5年間）				
		R4	R5	R6	R7	R8
		● RPA導入業務の洗い出し →				
		● 職員の RPA スキルの向上(研修会等の開催) →				

No	取組/目的・概要	これまでの取組内容と評価				
27	マイナンバーカードの普及促進・利活用 《目的・概要》 マイナンバーカードの普及促進を図るとともに、マイナンバーカードを活用した行政手続きのオンライン化により市民サービス向上を図る。 担当部課：情報政策課、市民課、政策推進課	《これまでの取組内容》 マイナンバーカードの出張申請窓口を市内各所で開設し、普及促進に取り組んだ。また、戸籍・所得課税関係証明書をコンビニエンスストアで発行できるよう機能拡充を行った。		A	目的を達成したため、取組を完了	
				Ⓑ	目的達成に向けて着実に進めており、取組を継続	
				C	目的達成にあたり課題があり、取組の内容を見直し	
				D	目的達成が困難であり、取組自体を見直し	
今後の取組計画と想定される効果（B・C評価のみ記載）						
《今後の取組計画》 マイナンバーカードのさらなる普及に向け、コンビニエンスストアにおける証明書発行の周知を図る。 《想定される効果》 市民生活の利便性が向上するとともに、窓口対応が減少することにより職員事務負担が軽減する。		スケジュール（総計後半5年間）				
		R4	R5	R6	R7	R8
		● 出張申請窓口の設置 →				
		● コンビニエンスストアでの証明書発行の周知 →				
		● 利活用の検討 →				

No	取組／目的・概要	これまでの取組内容と評価					
28	行政サービスのキャッシュレス決済拡大 《目的・概要》 市民生活の利便性向上を目的として、各種証明書発行手数料等をキャッシュレス決済対応とする。 担当部課：情報政策課、税務課、市民課	《これまでの取組内容》 市民課及び税務課の窓口における証明書等発行手数料について、キャッシュレス決済が可能となり、利便性が向上した。	A	目的を達成したため、取組を完了			
			③	目的達成に向けて着実に進めており、取組を継続			
			C	目的達成にあたり課題があり、取組の内容を見直し			
			D	目的達成が困難であり、取組自体を見直し			
今後の取組計画と想定される効果（B・C評価のみ記載）							
《今後の取組計画》 共同利用型施設予約システムにおいて、キャッシュレス対応を検討する等、さらなる利便性向上に向け、機能拡充を図る。		スケジュール（総計後半5年間）					
《想定される効果》 キャッシュレス対応による利便性の向上並びに職員の事務負担の軽減及び接触機会の低減による感染症の感染予防。		R4	R5	R6	R7	R8	
		●→ 市民課現金ドローア現新切替					
		●→ 共同利用型施設予約システムでのキャッシュレス決済対応					
		●→ 他課の窓口へ展開（市税以外）					

No	取組／目的・概要	これまでの取組内容と評価					
29	テレワーク環境整備 《目的・概要》 テレワーク端末を各課に配布することにより、自宅又は出先で職務を遂行できる環境を整備する。 担当部課：情報政策課、人事課	《これまでの取組内容》 テレワーク専用端末を各課に配布することにより、登庁することなく職務を遂行することができるようになった。	A	目的を達成したため、取組を完了			
			③	目的達成に向けて着実に進めており、取組を継続			
			C	目的達成にあたり課題があり、取組の内容を見直し			
			D	目的達成が困難であり、取組自体を見直し			
今後の取組計画と想定される効果（B・C評価のみ記載）							
《今後の取組計画》 テレワークの試行状況の評価をもとに改善を図ることにより、働き方改革や生活様式の多様化に対応した職場環境への転換を図る。		スケジュール（総計後半5年間）					
《想定される効果》 働き方の選択肢を増やすことによるWLB向上への寄与及び感染症の感染拡大の予防。 時間外勤務の削減に伴う人件費の削減。		R4	R5	R6	R7	R8	
		●→ テレワークの試行、試行評価					
		●→ テレワークの本運用					

No	取組／目的・概要	これまでの取組内容と評価					
30	電子決裁の導入 《目的・概要》 DX推進の観点から文書保存方式にファイリングシステムを導入。保存体系を構築した上で、電子決裁の導入を進める。 担当部課：行政課	《これまでの取組内容》 令和3年度に各部で先行導入課を選定の上、対象課において、ファイリングシステムを導入。 令和4年度に上記課にて電子決裁を導入。併せて、他の課においてファイリングシステムを導入実施。	A	目的を達成したため、取組を完了			
			③	目的達成に向けて着実に進めており、取組を継続			
			C	目的達成にあたり課題があり、取組の内容を見直し			
			D	目的達成が困難であり、取組自体を見直し			
今後の取組計画と想定される効果（B・C評価のみ記載）							
《今後の取組計画》 令和5年度から、電子決裁の全庁導入。		スケジュール（総計後半5年間）					
《想定される効果》 ファイリングシステムの導入により、公文書の共有化を徹底。文書の保存体系を見直し、所在の明確化を図る。 電子決裁の導入により、ペーパーレス化及び保存書庫の省スペース化を推進。		R4	R5	R6	R7	R8	
		●→ 電子決裁の導入（先行導入課）・課題整理					
		●→ ファイリングシステムの導入（その他の課）					
		●→ 電子決裁の導入（その他の課）					

⑧ ファシリティマネジメントの推進

No	取組／目的・概要	これまでの取組内容と評価				
31	小学校跡地整備に際しての官民連携手法による公共施設等の整備 《目的・概要》 近隣の老朽化施設等の集約・更新を図るとともに、整備・運営に民間資金の活用を検討することによって、経費の削減を図る。 担当部課：政策推進課	《これまでの取組内容》 地域と小学校跡地の活用方針について協議を行い、方針が決定した祖母懐小学校跡地、古瀬戸小学校跡地及び道泉小学校跡地については、官民連携手法による事業者の募集を行った。		A	目的を達成したため、取組を完了	
				②	目的達成に向けて着実に進めており、取組を継続	
				C	目的達成にあたり課題があり、取組の内容を見直し	
				D	目的達成が困難であり、取組自体を見直し	
今後の取組計画と想定される効果（B・C評価のみ記載）						
《今後の取組計画》 事業者の公募が不調となった古瀬戸小学校跡地活用事業については、令和4年度中に事業概要及び実施スケジュールの見直しを行い、事業者の再募集を行うとともに、協議中の小学校跡地については、令和5年度を目標に活用方針や整備内容を決定する。 《想定される効果》 官民連携手法を導入して小学校跡地整備を行うことで、効率的に地域のニーズやまちづくりに沿った跡地活用がされるとともに、貸付料など収入の確保が見込まれる。		スケジュール（総計後半5年間）				
		R4	R5	R6	R7	R8
		●→	道泉小学校跡地活用事業の事業者決定			
		●→	古瀬戸小学校跡地活用事業概要、実施スケジュールの見直し及び事業者の再募集			
			●→	協議中の小学校跡地の活用方針や整備内容決定		
			●→	活用方針や整備内容が決定次第、速やかに事業者募集及び整備		

No	取組／目的・概要	これまでの取組内容と評価				
32	遊休資産の活用 《目的・概要》 用途廃止済みとなった公共施設や遊休地を、民間事業者等に対して積極的に貸付又は売却することで、公共施設を改修・更新する財源の確保を図る。 担当部課：政策推進課	《これまでの取組内容》 取得の経緯・目的及び利用状況を踏まえて、貸付又は売却を進めてきた。		A	目的を達成したため、取組を完了	
				②	目的達成に向けて着実に進めており、取組を継続	
				C	目的達成にあたり課題があり、取組の内容を見直し	
				D	目的達成が困難であり、取組自体を見直し	
今後の取組計画と想定される効果（B・C評価のみ記載）						
《今後の取組計画》 取得の経緯・目的及び利用状況を確認して、活用可能な遊休資産を抽出し、速やかに貸付又は売却を行っていく。 《想定される効果》 公共施設を改修・更新する財源が確保されることで、計画的な施設管理が実施されるとともに、資産の保有量が適正化されることで、管理費の削減が見込まれる。		スケジュール（総計後半5年間）				
		R4	R5	R6	R7	R8
		●→	取得の経緯・目的及び利用状況の確認			
		●→	貸付又は売却可能な遊休資産の入札等			

(2) 公共施設等の総合管理

中期事業計画（令和5年度実施計画）における公共施設等の総合管理に関する取組は、以下のとおりです。第6次瀬戸市総合計画に併せて策定された「瀬戸市公共施設等総合管理計画」に示された「公共施設等の総量を減らすことで必要経費の縮減を図る一方で、市民サービス水準を保つ」という方針を具体化することとしています。

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設等の維持管理に係る必要経費の縮減 ・市民サービス水準の維持
----	---

必要な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の総量を減らし、長寿命化を図る。 ・個別施設の長寿命化計画を策定する。 ・市民サービス水準を維持するため、公共施設の総量を減らす場合でも、機能を維持する。 ・新規に公共施設を建設する場合は、施設の統廃合を進め、機能集約を積極的に図る。 ・事後保全から予防保全への転換を図る。
-------	--

主な実施内容	各施設等が定めた修繕計画等に沿って修繕を行うもの	令和5～7年度事業費
	市内公民館長寿命化工事	62,525千円
	パルティセと全熱交換機取替工事	42,547千円
	本庁舎上水・井水高架タンク更新工事	32,450千円
	瀬戸蔵本館及び駐車場棟外壁補修工事等	321,838千円
	文化センター変圧器更新工事等	61,449千円
	文化交流館エレベーター更新工事等	42,565千円
	文化ホール直流電源装置更新工事等	33,944千円
	市民公園弓道場耐震工事	30,000千円
	陸上競技場走路等舗装工事等	49,159千円
	市営十軒家住宅長寿命化工事	40,637千円
	斎苑共通煙道耐火物積替等	104,643千円
	クリーンセンター基幹改良工事等	2,055,900千円
	八幡保育園大規模改修工事	56,297千円
	幡山南保育園大規模改修工事	38,273千円
	福祉保健センター（やすらぎ会館）高圧電気修繕工事等	96,597千円
	のぞみ学園大規模改修工事等	45,020千円
	消防分団詰所改修工事	23,419千円
	水野小学校長寿命化改良工事	762,812千円
	幡山東小学校長寿命化改良工事	773,007千円
	幡山東小学校校舎増築工事	46,950千円
	效範小学校長寿命化改良工事	1,031,354千円
	水無瀬中学校トイレ改修工事	84,748千円
	図書館長寿命化・改装工事等	405,800千円

主な実施内容	施設使用等にあたり支障が生じていることから、必要最低限の修繕・解体を行うもの	令和5~7年度事業費
	瀬戸染付工芸館空調設備工事	1,505千円
	ノベルティ・こども創造館空調設備取替工事	3,047千円
	定光寺野外活動センター屋根修繕工事	1,405千円
	市営住宅解体工事	36,000千円
	シルバー人材センター空調機取替工事	1,495千円
	せとっ子ファミリー交流館高圧電気設備改修工事	600千円
	消防東分署訓練棟修繕工事	1,870千円
	施設の集約や機能強化を図るための整備を行うもの	令和5~7年度事業費
	小学校跡地整備	259,342千円
	旧山繁商店公開活用整備	327,477千円
	南公園グラウンド照明等LED化工事	212,172千円
	のぞみ学園LED照明取替工事	4,263千円
	消防新庁舎整備	151,086千円
	消防救急デジタル無線更新整備工事等	528,972千円
八幡小学校施設整備	1,208,565千円	
特別支援学校施設整備	14,663千円	
小中学校屋内運動場トイレ改修工事	186,644千円	
小中学校エアコン改修工事	81,781千円	
幡山東小学校法面保護工事	236,000千円	
水南小学校法面保護工事	236,000千円	
インフラ資産の将来の更新に係る経費削減を図るため、長寿命化に向けた取組を行うもの	令和5~7年度事業費	
道路維持修繕工事	824,034千円	
道路及び側溝修繕工事	246,000千円	
橋りょう補修工事・舗装整備工事等	827,180千円	

